

原田第1遺跡

—一般県道三重新殿線（牟礼前田工区）道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—

2018

大分県立埋蔵文化財センター

原田第1遺跡

—一般県道三重新殿線（牟礼前田工区）道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—

2018

大分県立埋蔵文化財センター

序 文

本書は、一般県道三重新殿線（牟礼前田工区）道路改良工事に伴い、大分県教育委員会が大分県土木建築部豊後大野土木事務所の依頼を受けて実施した、原田第1遺跡の発掘調査報告書です。

発掘調査では、旧石器時代の3つの文化層から多数の石器が出土しました。出土した石器には接合資料が多く確認され、石器の製作工程の復元や、出土した文化層の違いから石器の形態や製作技術等、年代的な変遷を知ることできる良好な資料となりました。また、礫群は近隣で採取した礫を使用しており、旧石器時代人のキャンプ跡と推定され、大野川流域における旧石器時代の生活の一端を明らかにすることができました。

本書が埋蔵文化財の保護・啓発とともに、学術研究の一助として活用されれば幸いです。

最後に、発掘調査の実施にあたり多大な御支援・御協力をいただいた関係各位に対し、衷心から感謝申し上げます。

平成30年3月30日

大分県立埋蔵文化財センター

所 長 阿 部 辰 也

例 言

- 1 本書は、大分県土木建築部豊後大野土木事務所から依頼を受けて、大分県教育委員会が実施した一般県道三重新殿線（牟礼前田工区）道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書である。
- 2 遺跡名について、大分県教育委員会が発行した2008年発行の大分県遺跡地図に表されていた原田第2（長田）遺跡という遺跡名を用いていたが、本書を刊行するにあたり、遺跡地図の表記に誤りがあることが確認されたため過去の調査事例をもとに今回の調査遺跡について原田第1遺跡として遺跡地図の修正を行った。
- 3 原田第1遺跡は、平成26年度に発掘調査、平成27年度から28年度に整理作業を実施した。
- 4 発掘調査は、株式会社九州文化財総合研究所に業務を委託し実施した。
- 5 整理作業及び報告書作成に伴う諸作業は、大分県教育庁埋蔵文化財センター職員が担当し、遺物洗浄、註記、接合、遺物実測、トレースについては株式会社九州文化財総合研究所に委託し実施した。
- 6 自然化学分析については、株式会社古環境研究所に委託し実施した。
- 7 出土遺物の写真撮影は、園田涼太（国東市教育委員会より派遣 大分県立埋蔵文化財センター）による。
- 8 出土遺物並びに図面・写真類は大分県立埋蔵文化財センターにおいて保管している。
- 9 本書で使用する方位は、いずれも座標北である。
- 10 本書の執筆は、綿貫俊一が行った。

凡 例

- 1 挿図番号の横に記載した番号は、取り上げ時の番号で、註記番号でもある。この番号は、遺物観察表の遺物番号と同一である。
- 2 遺物観察表で、器種名の前にFがついている例は、破損したものであることを示している。
- 3 遺物観察表で、備考に「接合A」などとあるのは、同一個体中の接合単位である。

目 次

序 文	
例 言	
凡 例	
第1章 はじめに	
第1節 調査に至る経過	1
第2節 調査組織の構成	1
第2章 遺跡の立地と環境	
第1節 地理的環境	2
第2節 歴史的環境	2
第3章 調査の概要	
第1節 遺跡の概要	5
第2節 調査の経過	5
第4章 旧石器時代後期の遺構と遺物	
第1節 地層堆積	8
第2節 1区V層・VI層の遺構・遺物	9
1. 遺構—磔群—	9
2. 遺物	9
第3節 1区VII層・VIII層の遺構・遺物	12
1. 遺構—磔群—	12
2. 遺物	16
第4節 2区VII層・VIII層の遺構・遺物	30
1. ブロック	30
2. 遺構—磔群—	30
3. 遺物	30
第5章 中世の遺物	
第1節 経緯	45
第2節 資料	45
第3節 小結	46
第6章 原田第1遺跡における自然科学分析	
I 自然科学分析の概要	48
II 放射性炭素年代測定	48
1. はじめに	48
2. 試料と方法	48
3. 測定結果	48
4. 所見	49
III 植物珪酸体分析	49
1. はじめに	49
2. 試料	49
3. 分析法	50
4. 分析結果	50
5. 植物珪酸体分析から推定される植生と環境	51
遺物観察表	58
写真図版	
報告書抄録	

挿 図 目 次

第1図	原田第1遺跡 周辺の遺跡 (1/25000)	3
第2図	原田第1遺跡 調査地点及び一般軌道三重新線路線図 (1/2000)	6
第3図	原田第1遺跡 調査区配置図 (1/150)	7
第4図	1区 北壁断面図 (1/80)	8
第5図	2区 西壁断面図 (1/80)	8
第6図	1区・2区 遺構配置図 (1/80)	10・11
第7図	1区 VI層 R1実測図 (1/20)	12
第8図	1区 V層実測図 (1/100)	13
第9図	1区 VI層実測図 (1/100)	14
第10図	1区 V層・VI層出土石器実測図	15
第11図	1区 V層出土石器実測図	16
第12図	1区 VI層実測図 (1/100)	17
第13図	1区 VII層実測図 (1/100)	18
第14図	1区 VII層・VIII層出土石器実測図	19
第15図	1区 VIII層出土石器実測図1	21
第16図	1区 VIII層出土石器実測図2	22
第17図	1区 VIII層出土石器実測図3	23
第18図	1区 VIII層 R2実測図2 (1/20)	23
第19図	1区 VII層・VIII層出土石器実測図1	24・25
第20図	1区 VII層・VIII層出土石器実測図2	26
第21図	1区 VIII層出土・表面採集石器実測図	27
第22図	1区 VII層・VIII層出土石器実測図3	28・29
第23図	2区 VI・VII層実測図 (1/100)	32
第24図	2区 VIII層 R1実測図 (1/30)	33
第25図	2区 VIII層 R2実測図 (1/30)	33
第26図	2区 VIII層 R3実測図 (1/30)	33
第27図	2区 VIII層出土石器実測図1	34
第28図	2区 VIII層出土石器実測図2	35
第29図	2区 VIII層出土石器実測図3	36
第30図	2区 VIII層出土石器実測図4	37
第31図	2区 VIII層出土石器実測図5	38
第32図	2区 VIII層出土石器実測図6	39
第33図	2区 VIII層出土石器実測図7	40
第34図	2区 VIII層出土石器実測図8	41
第35図	2区 VIII層出土石器実測図9	42
第36図	2区 VIII層出土石器実測図10	43
第37図	2区 VIII層出土石器実測図11	44
第38図	掘前他の小型壺(外容器)と人形実測図	46
第39図	内容器の上板(蓋)・下板(底)の実測図	47
第40図	暦年校正結果	54
第41図	原田第1遺跡1区における植物珣酸体分析結果	55

表 目 次

表1	原田第1遺跡における植物性珪酸体分析結果	53
表2	原田第1遺跡 1区遺物観察表	58
表3	原田第1遺跡 2区遺物観察表	62
表4	原田第1遺跡 1区1号礫群 (R1) 遺物観察表	68
表5	原田第1遺跡 1区2号礫群 (R2) 遺物観察表	68
表6	原田第1遺跡 2区1号礫群 (R1) 遺物観察表	68
表7	原田第1遺跡 2区2号礫群 (R2) 遺物観察表	69
表8	原田第1遺跡 2区3号礫群 (R3) 遺物観察表	69

写真図版目次

写真図版 1	70	写真図版 4	73
1区 調査区西壁土壌サンプル採取状況 (東から)		2区 VIII層出土状況 (北東から)	
1区 V・VI層出土状況 (南西から)		2区 VIII層出土状況 (北東から)	
		2区 R1出土状況 (南から)	
写真図版 2	71	2区 R2出土状況 (南から)	
1区 VI層出土状況 (南西から)		2区 R3出土状況 (北から)	
1区 R1出土状況 (南から)		2区 R3出土状況近景 (北から)	
1区 R1出土状況近景 (南から)		2区 調査区東壁土層断面 (西から)	
1区 R1出土状況近景 (南から)		2区 調査区南壁土層断面 (北から)	
1区 VII層出土状況近景 (南東から)			
1区 VII層出土状況近景 (南東から)		写真図版 5	74
1区 VII層出土状況 (南東から)		第10図-1 (表・裏)	
1区 R2出土状況 (北から)		第10図-2 (表・裏)	
		第10図-3 (表)	
写真図版 3	72	第10図-3 (裏)	
2区 調査区南壁土層断面 (深掘り部分)		第10図-4	
(北から)		第10図-5	
2区 VII層出土状況 (北東から)		第10図-6	
		第10図-7	

写真図版 6 75

第10図-8

第11図-9

第10図-10

第10図-11 (表・裏)

第14図-12 (表・裏)

第14図-13 (表)

第14図-13 (裏)

第14図-14

第15図-15

写真図版 7 76

第19図-30 (表)

第19図-30 (裏)

写真図版 8 77

第20図-41

第20図-42

第21図-43

第21図-44 (表・裏)

第22図-45 (左)

第22図-45 (右)

第22図-50

第22図-51

第22図-48・52

写真図版 9 78

第27図-53 (表・裏)

第27図-54 (表・裏)

第27図-55 (表・裏)

第27図-56 (表・裏)

第27図-57 (表・裏)

第27図-58 (表・裏)

第27図-59 (表・裏)

第27図-61

第27図-62

写真図版 10 79

第28図-63 (表・裏)

第28図-64 (表・裏)

第28図-66

第28図-67 (表・裏)

第28図-69

第29図-70 (表・裏)

写真図版 11 80

第29図-73 (表・裏)

第29図-74 (表・裏)

第29図-76 (表・裏)

第29図-77 (表・裏)

第30・31図-78

第30・31図-81

第30・31図-82

第30・31図-84

第30・31図-85

第30・31図-86

第30・31図-87

第30・31図-88

写真図版 12 81

第32図-99 (表)

第32図-99 (裏)

写真図版 13 82

第36図-104 (表・裏)

第37図-106 (表・裏)

第37図-107 (表・裏)

第37図-108 (表・裏)

第38図-111 備前焼小型壺

第38図-112 人形代 (表)

第38図-112 人形代 (裏)

写真図版 14 83

第39図-113 (表)

第39図-113 (裏)

写真図版 15 84

第39図-114 (表)

第39図-114 (裏)

第1章 はじめに

第1節 調査に至る経過

三重新幹線は、豊後大野市緒方町と朝地町を南北に結び、かつ中九州自動車道と豊後大野市の中心部である三重町を結ぶ豊後大野市の発展を担う重要路線であるが、幅員不足や路線に曲線が多いなど通行に支障をきたしていた。そこで平成10年度より7工区に分け工事を開始し、平成20年度以降、工事完了工区の一部供用を開始している。

今回調査を行った原田第1遺跡は、7つの工区のうち、牟礼前田工区にあたる。平成26年7月に遺跡の広がる段丘の上部で行った確認調査において工事予定範囲で、旧石器時代の石器・焼礫を確認した。そのため、本調査が必要となり、平成26年9月3日から10月2日までの間、本調査を実施した。

第2節 調査組織の構成

調査主体	大分県教育委員会		
調査機関	大分県教育庁埋蔵文化財センター（現 大分県立埋蔵文化財センター）		
発掘調査（平成26年度）			
○調査担当	松村洋一	大分県教育庁埋蔵文化財センター	所長
	後藤一重	同	次長兼県事業班参事（総括）
	綿貫俊一	同	資料管理班主幹（現場担当）
○調査事務	藤田幸三	同	管理予算班主幹（総括）
	椎原由美	同	管理予算班副主幹
	山村光広	同	管理予算班主査
整理作業（平成27年度）			
○整理担当	後藤一重	同	所長
	小柳和宏	同	次長兼県事業班参事（総括）
	江田 豊	同	資料管理班参事（総括）
	綿貫俊一	同	資料管理班主幹（整理担当）
○整理事務	安藤正廣	同	管理予算班主幹（総括）
	椎原由美	同	管理予算班副主幹
	田上 剛	同	管理予算班主査
整理作業（平成28年度）			
○整理担当	後藤一重	同	所長
	小柳和宏	同	次長兼県事業班参事（総括）
	江田 豊	同	資料管理班参事（総括）
	綿貫俊一	同	資料管理班主幹（整理担当）
○整理事務	安藤正廣	同	管理予算班主幹（総括）
	田上 剛	同	管理予算班主査
	志賀恵子	同	管理予算班主査

第2章 遺跡の立地と環境

第1節 地理的環境

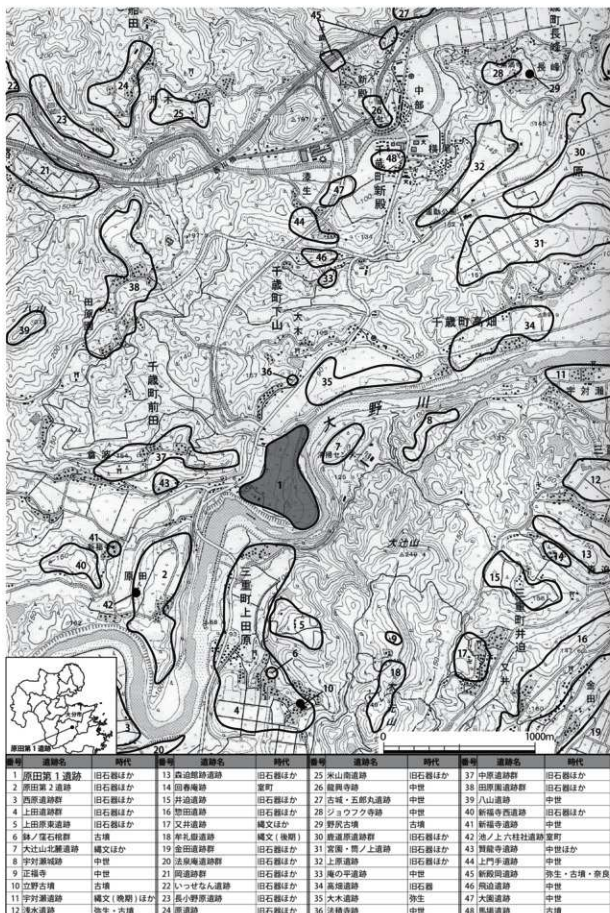
豊後大野市千歳町は、大分県の中南部に位置し（第1図）、南側を宮崎県境の祖母・傾山系、北側を霊山山系に挟まれた市域の東北部に位置している。西方の熊本県阿蘇市波野の付近を源流の一つとして発する大野川が竹田市を経て市域の中央を流れており、やがて大分市を通過して瀬戸内海に注いでいる。大野川の源流域は阿蘇の外輪山の東斜面に展開する高原地帯、霊山山系は大分川水系と大野川流域を分ける標高約800m級の分水嶺、祖母・傾山系は標高1800m級の山嶺が連なる九州の屋根とも称される。この霊山山系と祖母・傾山系に挟まれた地峡に、約9万年の阿蘇山の噴火により流出した火砕流が数十mの厚さで堆積した（Aso-IV）。この火砕流堆積物が大野川とその支流によって開析されてきたのが竹田市・豊後大野市を中心に広がる台地である。豊後大野市千歳町にある台地もその一角を占めている。遺跡のある千歳町大字前田字長田は、この台地に形成された河岸段丘の、下から二番目の段丘面上に立地していた。

第2節 歴史的環境

豊後大野市は、起伏に富んだ地形が展開しており、極めて遺跡の多い地域である。日本列島に人類がわたってきたのは、アジアに新人（ホモ・サピエンス・サピエンス）が到達してまもなくの4万年前と考えられ、日本の各所で当時の人々が使った石器類が見つかる。この頃の石器類が、豊後大野市三重町牟礼遺跡や同大野川町松山遺跡で下部黒色帯の下層から出土しており、人類が列島に渡来してまもなく大野川流域に現れたことになる。この時代の後出する遺跡は、豊後大野市千歳町でも、大迫遺跡の片島型ナイフ形石器を主体とする石器ブロック、原田第2遺跡では角錐状石器を主体とする石器ブロックと礫群が出土している（千歳町教育委員会1999）。原田第1遺跡の北東に隣接する大木遺跡や大野川の右岸側に位置する宮尾原遺跡で野居型細石刃核が出土しており、旧石器時代末期の文化が存在していたことが窺える。このほか旧石器時代の遺跡は豊後大野市内の各所で採集されており、九州でも有数の密集地として知られている。

縄文時代の遺跡も原田第1遺跡の周辺地域には多い。前述の大迫遺跡では、縄文時代草創期最古段階の槍先形尖頭器や船野型細石刃核も出土している。また大野川右岸の台地上に立地する豊後大野市大野町の市ノ久保遺跡では、縄文時代最古段階の細石刃と船野型細石刃核と石斧が出土したほか、未報告ながら上層に縄文時代早期前半の条底調整無紋土器を伴う穴が出土している。縄文時代早期中頃では、豊後大野市大野町の鳥穴遺跡があり、多量の押型文土器と集石が出土するなど、縄文時代の古相段階より遺跡が形成されている。縄文時代中期の遺跡については不明な部分が多いが、縄文時代後期から再び遺跡が増加しはじめる。豊後大野市千歳町の倉園遺跡や同市三重町の惣田遺跡では縄文時代後期後半西平式土器段階の遺物が住居跡の遺構から集中的に出土した事例がある（玉永1982）。その他、豊後大野市千歳町の上原遺跡では、縄文時代早期の押型文土器、縄文時代前期の縄糸土器、縄文時代後期後半の三万田式土器などの小破片が少量ながら出土している。

弥生時代の遺跡も各所で見つかる。原田第1遺跡では旧石器発掘地点の北東に位置するやや低い河岸段丘上で弥生時代中期から後期と推定される土器が採集され、南東に位置する原田第2遺跡では、かつて大分大学による調査で、弥生時代の竪穴建物跡が出土している（大分合同新聞1974）。原田第2遺跡では、その後、当時の千歳町教育委員会による調査で、弥生時代後期の竪穴建物跡と推定される遺構が検出されている。その他、北方の萬川流域の左岸（北岸）側では弥生時代各期の遺跡が見つかる。そのうち平石遺跡からは弥生時代前期の壺棺・甕棺墓が15基検出され、墓地の存在が明らかとなった。高添遺跡群の石五道地区と出口地区では90基の竪穴建物跡からなる集落跡も検出されている。萬川（大野川の支流）と大野川の間にある台地上で鹿道原遺跡が調査され、弥生時代後期から古墳時代前期の竪穴建物跡約230棟と高床式倉庫（並倉）約30棟が見つかるなど、ほぼ集落の全景観が明らかとなっている。鹿道原遺跡の西に隣接する上原遺跡からも古墳時代前期の小集落が見つかるなど、大野川中流域の古墳時代前期遺跡の特徴としては台地上に立地する例が多い。



第1図 原田第1遺跡 周辺の遺跡(1/25000)(国土地理院発行2万5千分1地形図(田中)に加筆)

その後、古墳時代中期以降の遺跡は沖積谷や沖積平野に移動したと考えられ、台地上から集落は消える。しかし沖積谷や沖積平野は水田地帯が多く、畑地と比べて遺跡が発見されることが少ない。ところが、古墳については沖積谷に囲まれた小丘陵に立地し、横穴墓については沖積谷を面する崖に造営されたりしている。前者については野尻古墳、後者については大迫岩の下横穴墓群・平原横穴墓群がある。岩の下横穴墓群からは、須恵器の坏、鉄鏝、刀子、金環が出土している。

飛鳥時代以降の古代遺跡については、良好な遺跡が見つかっていない。近隣では唯一、9世紀代の緑軸陶器碗の破片が豊後大野市犬飼町神宿遺跡で出土している（註）。豊後大野市千歳町は、奈良時代の8世紀に成立した豊後国風土記に「大野郡、郷四所」とあるものの郷名は記されていない。この「郷四所」に相当するものと考えられるのが『倭名類聚抄』にみえる「大野郡田口、大野、緒方、三重」であり、このうち千歳町は田口郷に相当する。その後、鎌倉時代になると「井田郷」と呼ばれ、「井田郷80町5段地頭職相模三郎入道殿女」（『豊後国因田帳』）と記されていた。また、井田郷の柴山付近は、1285年の豊後国因田帳には「国領柴山村 十町 地頭戸次三郎重頼」と記されている。その後、南北朝期の1334年（建武元）2月21日、後醍醐天皇が諭旨をもって鶴津上総入道貞久に井田郷地頭職を与えている。さらに南北朝の混乱の中で、1340年（暦應3）頃には戸次頼時、1360年（延文5）頃からは阿蘇氏が支配するなど、目まぐるしく変化する。この頃の石塔に、阿蘇惟村が建立したという黒松阿蘇社の石鳥居の他、平尾社の石鳥居、熊野神社の石鳥居がある。なお平尾社の石鳥居は、戦国時代の1509年（永正6）に修理されており、施主である森迫盛久の名前が陰刻されている。井田郷（現豊後大野市千歳町）に三重郷の方分（代官）であった森迫氏一族の進出を物語る記念物である。また原田第1遺跡の東方、大野川を越えた対岸側には標高249.4mの大辻山・牟礼岳山系が南北に展開している。この山系は頂上域が平坦であり遺跡が見つまっている。大辻山の山頂には中世森迫村の寺院である回春庵の僧が慶長年間に建てた角柱塔婆形の供養塔が数十基ある。また、そこからやや南方に高野山真言宗の正福寺があり、本尊は空海が彫った木彫仏が伝えられている。また境内には中世の石塔が点在している。

大野川の左岸側にある豊後大野市千歳町は、江戸時代になると岡城を拠点とする中川氏の岡藩領、右岸側は白杵を拠点とする白杵藩が成立し、江戸時代の末まで続いている。

（註）1988年に犬飼地区遺跡群（犬飼町教育委員会）の調査で出土。古文化談叢（第20集1988）に掲載

参考文献

- 玉永光洋1982「惣田遺跡」『昭和56年度 大分県内遺跡詳細分布調査概報』1 大分県教育委員会 18-21
玉永光洋1983「惣田遺跡」『三重地区遺跡群発掘調査概要』 三重町教育委員会

第3章 調査の概要

第1節 遺跡の概要

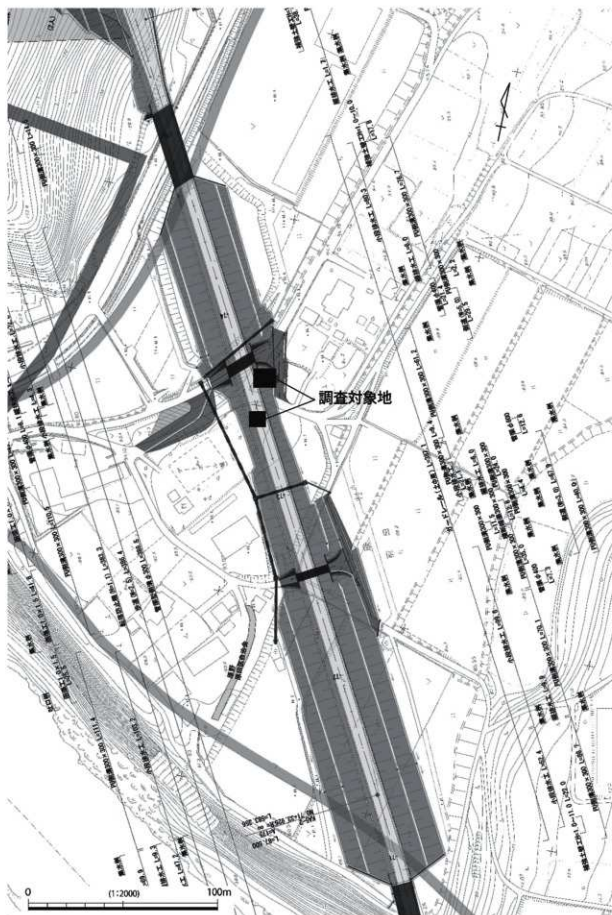
原田第1遺跡は、1970年代後半に発見された遺跡である。当時、ここは圃場整備事業等で重機による掘削・土地の整地作業が広範囲で行われており、遺跡のある台地の西縁部がその西に位置する水田等の圃場整備で削り落とされていた。その際、別府大学の学生によって結成されていた旧石器研究会や地元の高校生らによって水田部分や削り落とされた断面で旧石器時代の石器が大量に採取されている。とりわけ断面部分には、黄色系ロームやその下位に黒色帯が観察され、黄色系ローム中に石器類が含まれる状況がみられた。また、幅が狭い台地頂部から東側の段丘部に向かう傾斜面に弥生時代中・後期の土器片が散布していた。そして1989年2月に別府大学附属博物館によって試掘調査が実施され、旧石器時代遺物の包含層が良好な状況で確認されたことから、旧石器時代の遺跡として知られるようになった。(註)

採集された遺物には、ナイフ形石器、角錐状石器、細石刃核などがある。

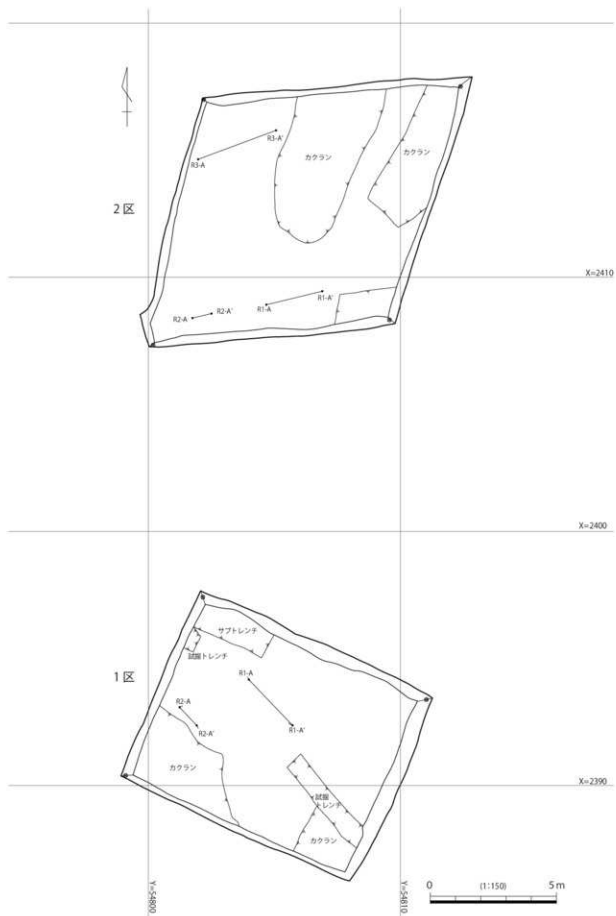
(註) 別府大学附属博物館だより No.33 大野川流域の基礎調査 1989.7

第2節 調査の経過

発掘調査予定地は、1区が80.5㎡、農道を隔てて隣接する2区が101㎡を対象に平成26年9月3日に表土掘削を開始した。可能な限り調査を短縮するため、表土下のローム層も包含層直上まで重機で掘削した。9月5日には、作業員を投入し調査区壁面の精査や確認調査時のトレンチ埋土、土地造成に伴う掘削埋土などの除去作業を行った。包含層の掘り下げは、9月8日から1区及び2区で開始した。1区ではソフトロームもしくはハードローム上面から散発的に遺物が出土しはじめ、2区では、西半部において黒色の色調がやや強いV・VI層に相当する深度で石器類がややまとまって出土しはじめた。9月10日には1区及び2区の地層堆積を検討し、層位ごとの出土遺物の取り上げを開始した。出土遺物として1区のVI層から片島型ナイフ形石器が出土し、2区ではVII層を主体に石器類が分布することが確認された。1区では大半の遺物がV層中位～下位を中心にVI層上部に分布することがわかった。9月17日には1区の礫群の出土層位がVI層であることが判明し、2区ではVIII層から配石や焼礫が出土しはじめた。またVIII層からATの結晶がブロック状に分布することがわかった。9月29日には、1区VIII層中で礫群・配石が存在することが分かった。2区では、西壁の断面図を作成した。9月30日には、掘削が終了し空撮を実施した。10月2日には調査区の埋め戻しを実施し、全工程を終了した。



第2図 原田第1遺跡 調査地点及び一般県道三重新設線路線図 (1/2000)



第3図 原田第1遺跡 調査区配置図 (1/150)

第4章 旧石器時代後期の遺構と遺物

第1節 地層堆積

原田第1遺跡の地層堆積について記載する。地層観察用の断面は、1区の北壁・西壁で行い、色調及び土質、大野川流域の地層堆積を勘案して0層からXIII層に分層した。色調は「新版標準土色帳」を用いた。本遺跡では、耕作地の開発等で本来の地層堆積のうち、アカホヤ下位の黒色土が著しく削平されている。そこで最上位にあり、極く近年に堆積した客土や工作土を0層とし、周辺地域の堆積状況から、本来II層の上に存在する層を(1)、(2)層と番号を付けた上で、III、IV層と番号を付けていく。なお、堆積状況はほぼ水平堆積を示すなど、安定している。

I層 黒色土系土 クロボク層である。

II層 黄色系土 アカホヤ層である。

0層 黒色土系の耕作土や、ローム質の黄色系土のブロック土の混土からなる。層厚は20cm～40cmである。

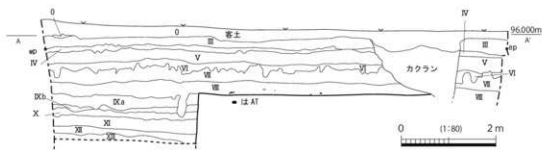
III層 黒色土 アカホヤ下位に位置するクロボク土の下半部と推定される。土質はやや柔らかい。層厚は10cm～25cmである。熊本県地域で、「クロニガ」と呼ばれる層にあたる。

IV層 にぶい黄橙色土 ややローム質であり、下位層への漸移層である。層厚は5cm～15cmである。

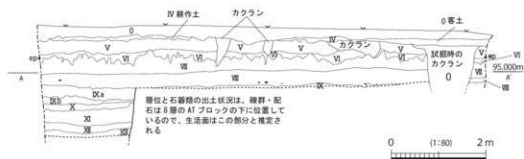
V層 黄橙色土 VI層に比べ、やや明るく締まるローム層である。2cm大の茶色ローム粒が多く混じる。層厚は20cm～30cmである。

VI層 明黄褐色土 層厚は20cm～30cmである。

VII層 明黄褐色土 上面が波状になっており、固く締まる。波状になっている部分の最大の数値



第4図 1区 北壁断面図 (1/80)



第5図 2区 西壁断面図 (1/80)

落差30cmである。層厚は10cm～38cmである。

Ⅷ層	にぶい黄褐色土	下半にAT(始良 Tn パミス)の結晶がブロック状に入る。 ATのブロックと黒色帯上面のレベル差は約10cm前後である。 またこの間は、微細な砂質であり、ATの風化層である。 土色的には暗く、黒色帯の漸移的な層と推定される。 Ⅶ層とともにハードロームである。
Ⅸa層	灰黄褐色土	黒色帯で、固く締まる。
Ⅸb層	にぶい黄褐色土	柔らかい。
X層	にぶい黄褐色土	Ⅸb層より明るく、スコリア粒を含む。
XI層	にぶい黄褐色土	粘質、固く締まる。
XII層	黄褐色土	粘質、固く締まる。
XIII層	黄褐色土	粘質、固く締まる。XII層より灰色が強い。

第2節 1区Ⅴ層・Ⅵ層の遺構・遺物

1. 遺構—磔群—

R1 Ⅵ層の堆積途上に構築された磔群である。標高95.17mから95.30mの間に分布し、垂直分布の中心は標高95.22m付近にある。磔は平面の最大幅15cmの大型磔2個、8cm～12cmまでの中型磔5個、3cm～8cmまでの小型磔15個、計22個からなる。連続的に出土しているが、磔が1cm以内に存在するのは4個だけで、多くは10cm以上の間が空いている。密集度の低い磔群といえる。平面分布はほぼ南北に長い。炭化物は3点だけで、平面的には大型磔付近と磔がやや集中する部分で、垂直分布的には磔の最下位付近に位置していた。

2. 遺物

V層は51点の遺物が出土し、ナイフ形石器4点、エンド・スクレーパー2点、使用痕ある石刃1点、石刃(破損)2点、剥片13点、剥片(破損)4点、チップ6点、チップ(破損)3点、石核2点、自然礫か1点、その他13点であった。Ⅵ層は21点の遺物が出土し、焼礫1点、剥片9点、ナイフ形石器1点、チップ2点、切断剥片1点、石核2点、石刃1点、使用痕ある剥片1点、サイド・スクレーパー1点、角錐状石器1点、剥片(破損)5点、チップ(破損)8点、その他21点からなる。V層とⅥ層の石器類は、自然層で区分したが、ナイフ形石器や石核等の特徴から概ね同一の文化層と推定している。しかし角錐状石器については、下層に由来する可能性が高い。ここでは一括して報告する。

石材は流紋岩、安山岩、サヌカイト、水晶、その他不明32点からなる。

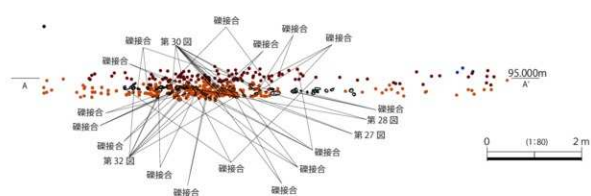
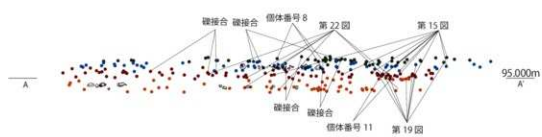
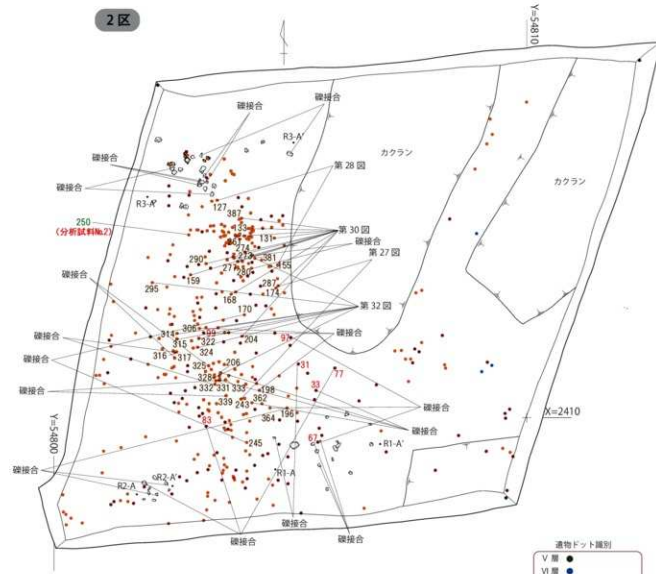
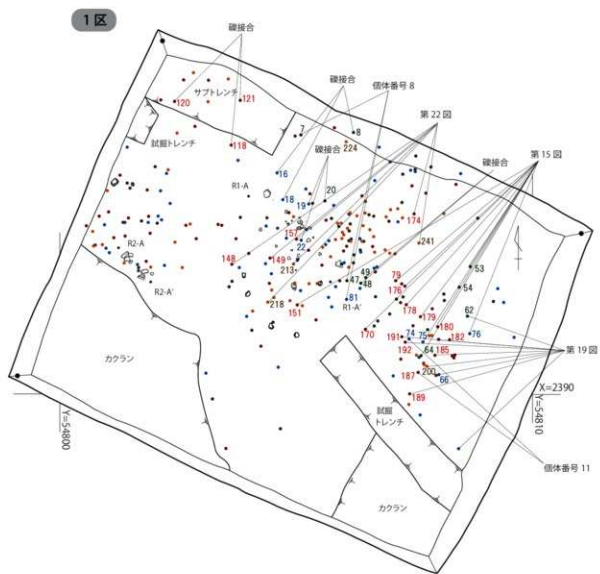
〈流紋岩を石材とする資料〉

ナイフ形石器 A類 先細りの石刃を用い、基部と先端部付近を加工した例(第10図1)、基部だけを加工した例(第10図2・3)があり、片島型ナイフ形石器の典型例である。B類 やや幅広い石刃の基部側を斜めに成形加工した例がある(第10図5)。

エンド・スクレーパー A類 縦に長い剥片を素材に用い、裏面のボジ面側に奥行きが小さい平坦剝離を加えて刃部を作り出した例である(第10図6)。B類 平面形がずんぐりした剥片素材を横位に用い、側縁から下端にかけて半円形に刃部を作出しているが、部分的に刃部が破損している(第10図7)。その後、右側縁上部に急角度の打面調整を行い上部部分で先細りの石刃を剝離している。

使用痕ある石刃 やや幅広く、右側縁の角度が緩い石刃の表面側右側縁に細かい刃こぼれが生じている(第11図8)。

破損した石刃 先細りの石刃で、上下両端部が破損している(第11図9)。



遺物ドット識別
 V層 ●
 VI層 ●
 VII層 ●
 VIII層 ●
 ● 埋は差で表示
 図中の番号は遺物番号
 (観察表参照)

第6図 1区・2区 遺構配置図 (1/80)

石刃 主軸が斜行する先細りの石刃（第11図10）。

石刃類は、片島型ナイフ形石器に伴う剥片素材の小口から剥離されたものと推定される。

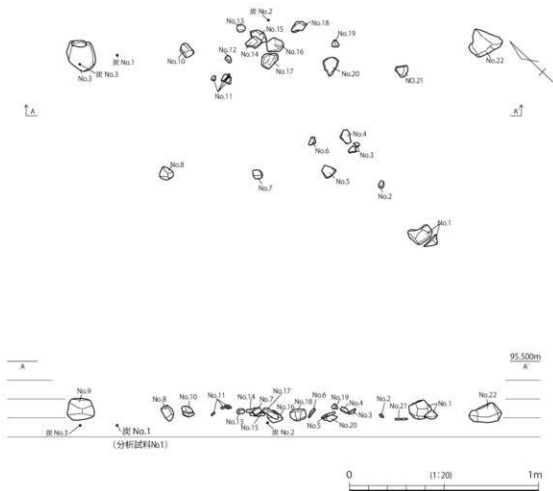
（水晶を石材とする資料）

ナイフ形石器 C類：縦長で、ステップが生じた剥片を素材とし、左側縁の下半に整形加工を施す（第10図4）。またボジ面側上半の縁部に細かい刃こぼれ状の剥離痕が観察される。

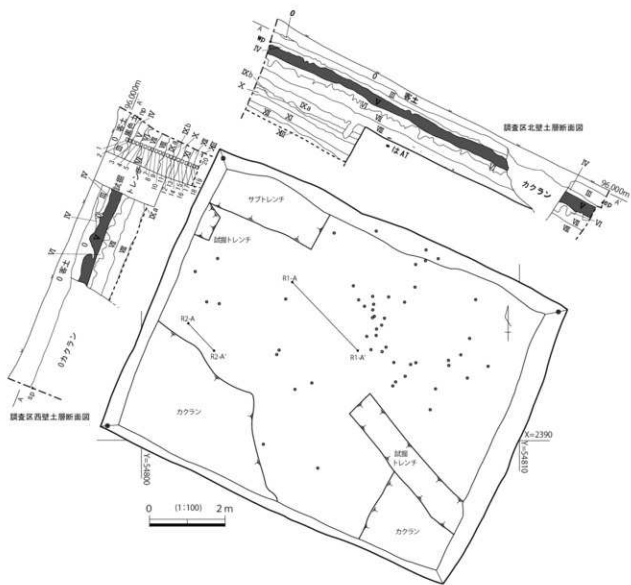
第3節 1区VII層・VIII層の遺構・遺物

1. 遺構—磔群—

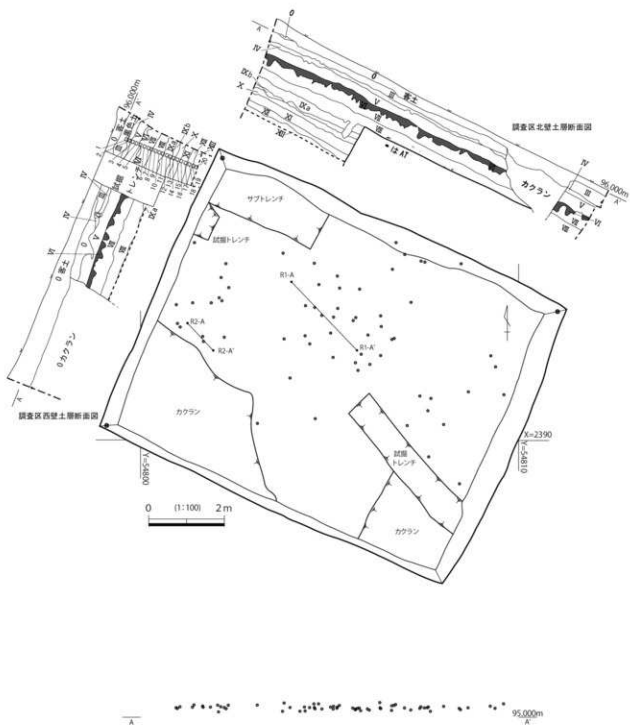
R2 VIII層の堆積途上に構築された磔群で、受熱により著しい赤化が認められる（第18図）。標高94.80mから94.90mの間に分布し、垂直分布の中心は標高94.85m付近にある。磔は平面の最大長12~20cmの大型磔5個、10cm程度の中型磔2個、計7個からなる。これらの磔は、A群は4個で、0.25mの間をあけてB群の3個が密集状態で位置し、密接状況にあるものの個数の少ない点が特徴である。炭化物は観察されていない。



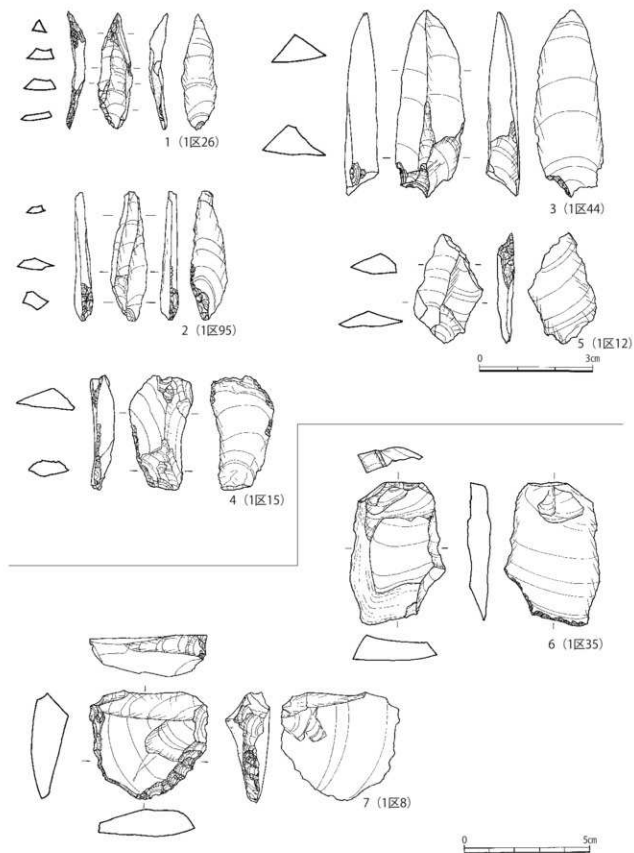
第7図 1区 VII層 R1実測図（1/20）



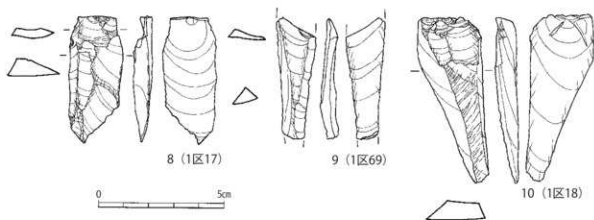
第8図 1区 V層実測図 (1/100)



第9図 1区 VI層実測図 (1/100)



第10图 1区 V层·VI层出土石器实测图



第11図 1区 V層出土石器実測図

2. 遺物

V層・VI層は148点の遺物が出土し、剥片41点、ナイフ形石器2点、チップ10点、敲石2点、石核4点、石刃1点、使用痕ある剥片1点、加工痕ある剥片1点、角錐状石器1点、石錐1点、剥片(破損)5点、ナイフ形石器(破損)2点、チップ(破損)10点であった。このほか、上位層から出土したものの、接合のため本来の出土層位がVII・VIII層と考えられる資料についてもここでは一括して報告する。

石材は流紋岩、サヌカイトで、そのほとんどが前者である。

〈流紋岩を石材とする資料〉

ナイフ形石器 D類：石刃素材の先端部・左側縁側と右側縁基部よりの約1/3を成形。

加工を加えた例(第14図11)。

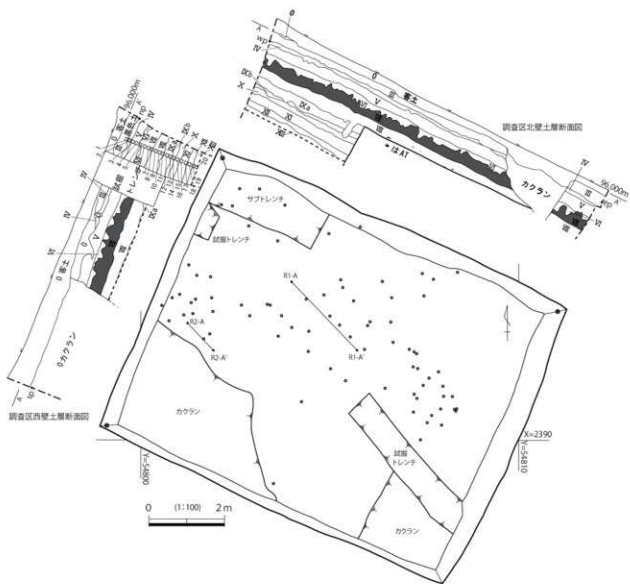
ナイフ形石器 E類：幅広剥片を用いた例(第14図14)。左面(表面)の左半よりの大きな剥離痕は、剥離軸が斜行し、ネガ面であることから瀬戸内技法による国府型ナイフ形石器の可能性は低いが、素材時の打面部側を成形することでは共通する。

石錐：幅広剥片の一端をボジ面側からの成形加工で、断面三角形の錐部を作出した例(第14図12)。

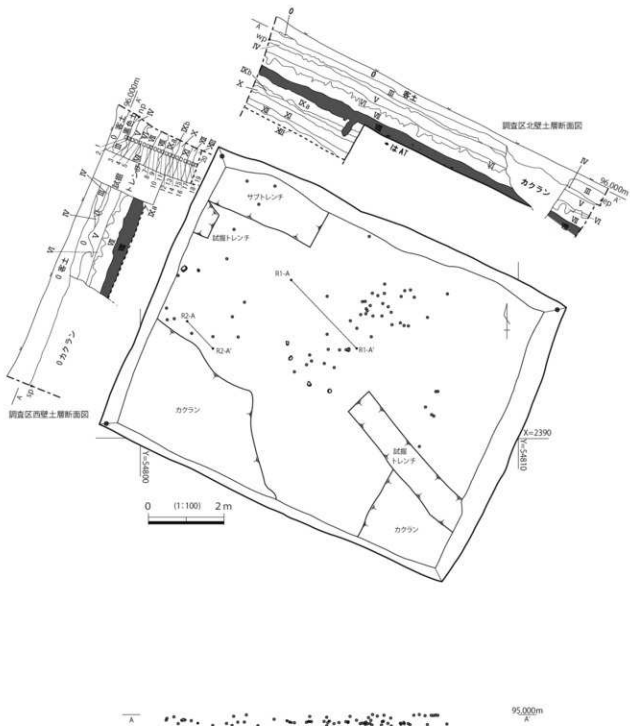
角錐状石器：左面(表面)側に礫面を残す幅広剥片を素材とし、ボジ面側(裏面)からの打撃による成形加工を左面側に施した例(第14図13)。なお基部よりの1/3が加工時に破損しており、これが接合した。

接合資料1：この接合資料は、V層1点、VI層2点、VII層10点の資料が接合した事例である(第15図15)。この接合資料の状況は、a面側に剥離痕がみられるものの、その他の面では広範囲に礫面が残存している。概ね長楕円形の平面形で、横断面形も長楕円形である。剥離方法は、横位に固定し、断面部の角部を利用して剥離作業を展開している。したがって、不定形・幅広の剥片の多くに礫面が残る。このため、石刃のような整然とした剥離ではなく、形が歪な剥片剥離を目的とした接合資料である(第16図16~25、第17図26~28)。この接合資料には、剥片の他に残核状態の石核(第17図26~28)と破損した角錐状石器(第17図29)が含まれている。

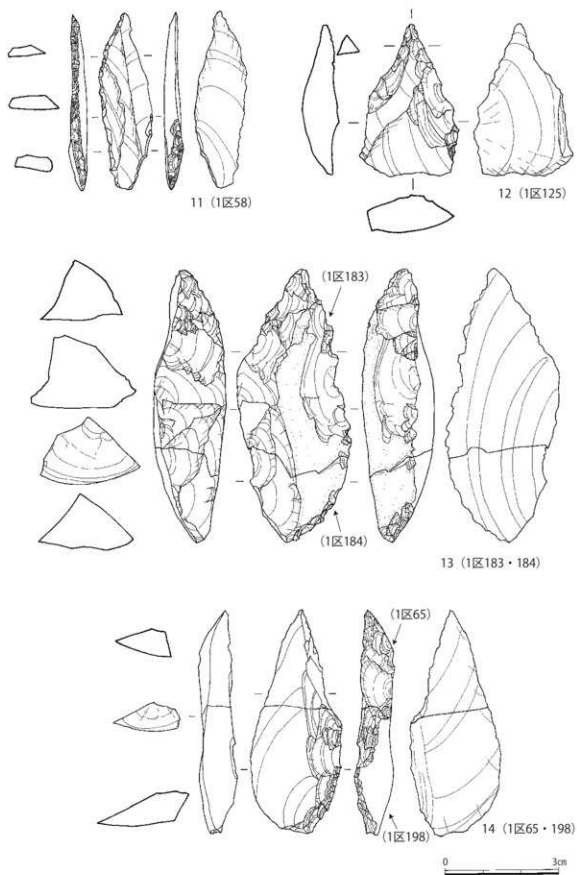
接合資料2：この接合資料は、V層1点、VI層2点、VII層5点、VIII層1点の資料が接合した事例である(第19図30)。この接合資料の状況は、接合によってほぼ原石の形が復元できている。それによると、平面形態は円形で、側面形は歪な凸レンズ状を呈しているといえる。基本的には、周縁部の凸部を打つ状態で礫中央部に向けて剥離を行っている。その結果、剥離された剥片は礫面の多いやや縦に長い例や幅広の不定形剥片が割り取られている(第19図31~36、第20図37~40)。したがって剥片が割り取られた石核は周縁から中央部に向けた剥離痕跡の残る円盤形石核を呈している。



第12図 1区 VII層実測図 (1/100)



第13図 1区 VIII層実測図 (1/100)



第14图 1区 VII层·VIII层出土石器实测图

接合資料3 この接合資料は、Ⅶ層4点、Ⅷ層3点の資料が接合した事例である（第22図45）。接合資料の状況は、接合によってほぼ原石の形が復元できている。それによると、体形は角の取れた角礫である。大きく三つに区分できる。大小の剥片を剥離することにより打面を作出後（第22図46）、再び剥片剥離を行う（第22図51・50・49）。接合図では、これらの剥片剥離の間に間隙があり、調査区外に持ち出されていることが分かる。その後、打面作出に伴う剥離された剥片を石核として剥離作業を行っている（第22図47）。

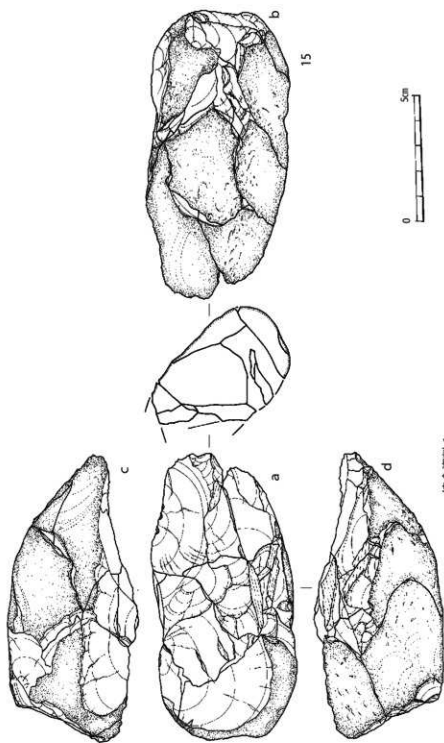
敲石 平面形状がやや細長い楕円形状を呈する砂岩を石材とした敲石である（第20図42）。

両端小口方向に潰れ状の敲打痕と小口から始まる剥離痕状の痕跡が側面に生じている。大きさから石器の二次加工用の敲石と考えられる。次の敲石は平面形は、ほぼ円形で、側面形は幅広い隅丸長方形に近い形状である（第21図43）。

側面部に潰れ状の打痕が残る。

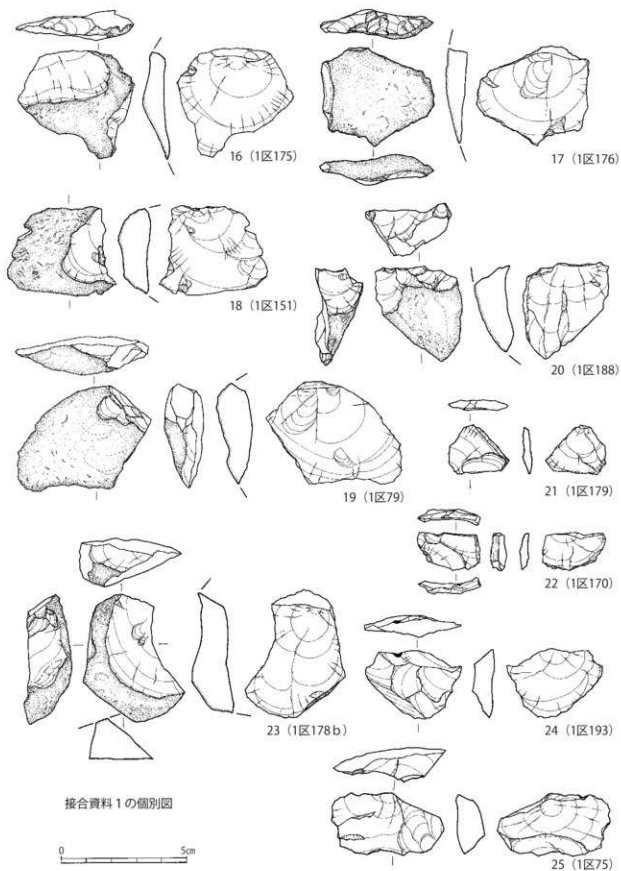
石刃 礫面と幅広い剥離面のなす稜線を取り込むようにして剥離された石刃である（第20図41）。上部付近を軽く剥離することで突出部を除去している。

石核 打面を頻繁に転移させて剥離を行った結果、体形が多面体となった残核である（第21図44）。表面採集品である。

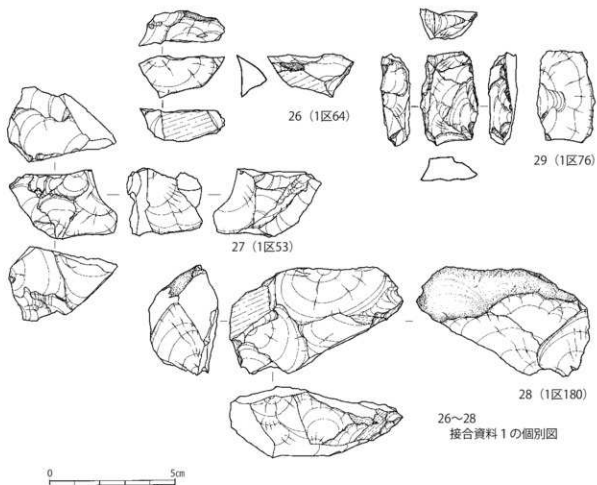


接合資料 1

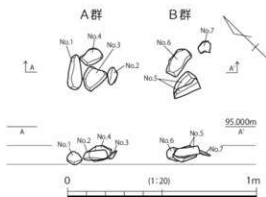
第15図 1区 VII層出土石器実測図 1



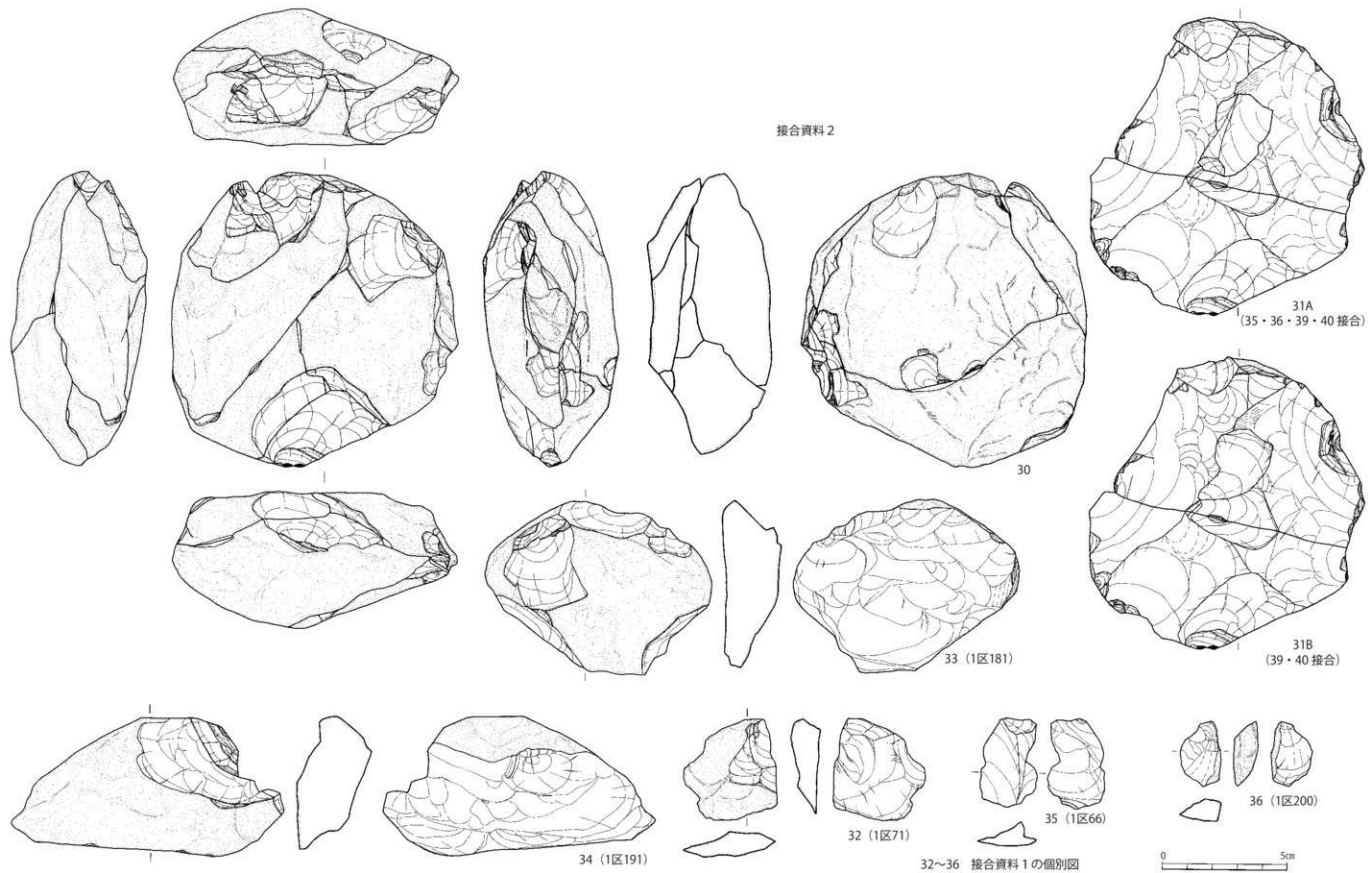
第16図 1区 VII層出土石器実測図2



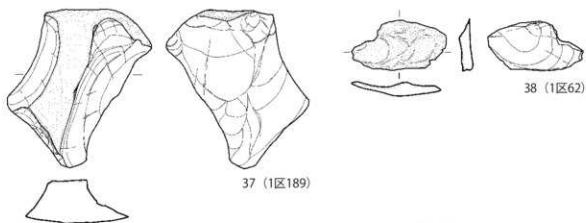
第17図 1区 VII層出土石器実測図3



第18図 1区 VIII層R2実測図(1/20)



第19図 1区 VII層・VIII層出土石器実測図1



37 (1区189)

38 (1区62)

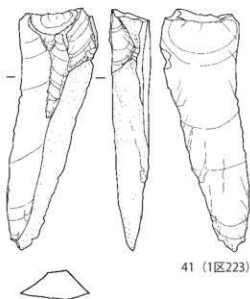
37~40
接合資料2の個別図



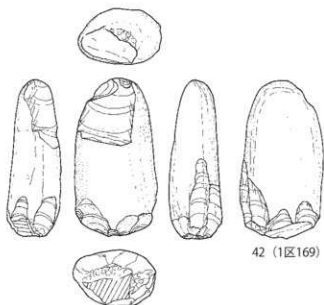
39 (1区185)



40 (1区192)



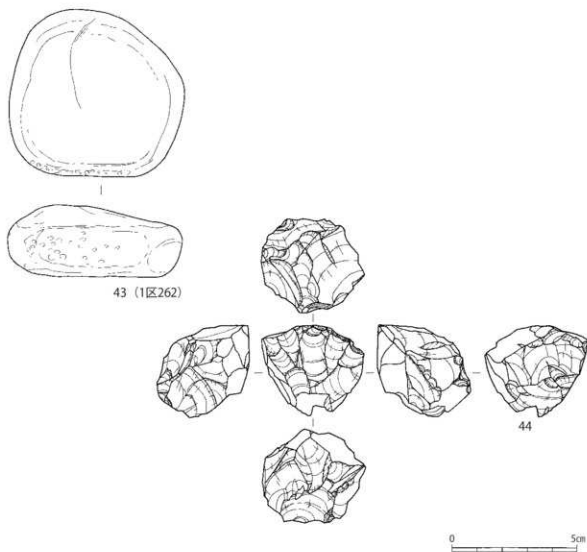
41 (1区223)



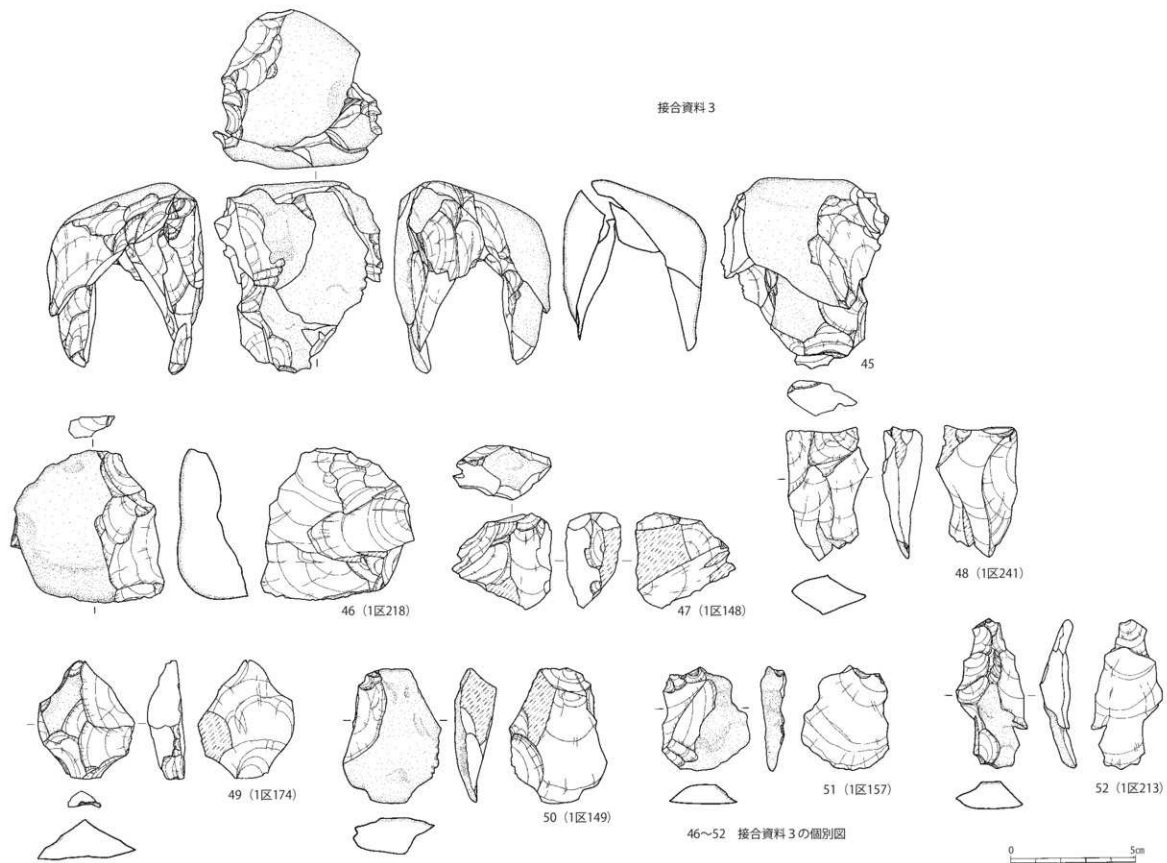
42 (1区169)



第20図 1区 VII層・VIII層出土石器実測図2



第21图 1区 VIII层出土·表面采集石器实测图



第22図 1区 VII層・VIII層出土石器実測図3

第4節 2区Ⅶ層・Ⅷ層の遺構・遺物

1. ブロック

2区の西半部を中心に分布する。出土層位はⅦ層とⅧ層にまたがるが、分布上は同じ範囲に纏まる傾向があるので、同一段階のブロックと推定される。

2. 遺構—礎群—

R1 Ⅷ層の堆積途上に構築された礎群で、受熱による著しい赤化が認められる(第24図)。標高94.80mから94.62mの間に分布し、垂直分布の中心は標高94.70m付近にある。礎は平面の最大長12~20cmの大型礎1個、10cm程度の中型礎3個、10cm以下の小型礎12個、計16個からなる。ごく一部を除き密接状況になく、一定の間を開けて分布している。No.12の礎は、突出して大きく、配石である可能性が高い。

R2 Ⅷ層の堆積途上に構築された礎群で、受熱による著しい赤化が認められる(第25図)。東西0.51m、南北0.56mの間に分布する小型の礎群である。またこの礎群は、標高94.65mから94.75mの間に分布し、その垂直分布の中心は標高94.70m付近にある。礎は平面の最大長12~20cmの大型礎1個、10cm程度の中型礎3個、10cm以下の小型礎5個、計9個からなる。密接状況になく、一定の間を開けて分布している。

R3 Ⅷ層の堆積途上に構築された礎群で、受熱による著しい赤化が認められる(第26図)。標高94.6mから94.8mの間に垂直分布し、垂直分布の中心は標高94.6m付近にある。礎は平面の最大長12~20cm大の大型礎5個、10cm大の中型礎5個、10cm以下の小型礎14個、不明1個、計25個からなる。ごく一部を除き密接状況になく、一定の間を開けて分布している。平面的に多いのが西部である。

3. 遺物

Ⅶ層・Ⅷ層は252点の遺物が出土し、ナイフ形石器17点、サイドスクレーパー1点、縦長剥片(破損)1点、加工痕ある剥片2点、使用痕ある剥片6点、使用痕ある石刃1点、縦長剥片4点、剥片(破損)72点、切断剥片3点、剥片109点、初期剥片1点、横長剥片1点、石刃2点、敲石2点、チップ25点、調整チップ1点、石核5点であった。このほか、上位層から出土したものの、接合のため本来の出土層位がⅦ・Ⅷ層と考えられる資料についてもここでは一括して報告する。石材は流紋岩、チャート、象ヶ鼻山黒曜岩で、そのほとんどが流紋岩である。

〈流紋岩を石材とする資料〉

ナイフ形石器 D類-左刃:石刃素材の先端部・右側縁側と左側縁基部よりの1/2~1/3を成形加工を加えた例(第27図53・54)。

ナイフ形石器 D類-右刃:石刃素材の先端部・左側縁側と右側縁基部よりの1/2~1/3を成形加工を加えた例(第27図55)。

ナイフ形石器 E類-左刃:石刃素材で、その上部から右側縁側を斜めに成形加工を施す(第27図59)。

使用痕ある石刃 正面に稜を一条残す末広がりの石刃で、裏面の右側縁に刃こぼれがある(第28図63)。打面部直下の表面側に頭部調整痕を残す。

石刃 表面に縦方向の石刃剥離痕を3面残し、末端部が厚い(第27図61)。正面に2面の剥離痕を残し、上端部が欠けている(第28図62)。

剥片 表面に礫面を広く残した剥片剥離時の初期剥片で、打面部に石核調整時の剥離痕が著しく残る(第28図64)。

石核 打面部を右から左方向へ剥離し、下面は表面方向から裏面方向へ剥離する。その後、それらを打面とし、上端及び下端方向からそれぞれ対極する方向へ、剥離を交互に行った石核(第28図65)。礫面を裏面に大きく残した分厚い剥片が石核素材である。裏面側の両サイドから表面側(ボジ面)に剥離を行っている。両側からの剥

離痕は、中央付近で交錯している（第33図90）。

接合資料4（個体21） この接合資料（第28図67）も、上述した石核とほぼ同様な剥離を行っている。すなわち打面を右から左方向へ剥離し、下面は表面方向から裏面方向へ剥離する。その後、上端・下端を打面とし、対極方向へ、剥離を行った石核である（第28図67・69）。接合する剥片は、最後に下端から剥離された剥片である（第28図68）。資料は、2区Ⅶ層出土の石核と剥片である。

接合資料5（個体20） 資料（第29図70）は、2区Ⅶ層出土の剥片2点である。この接合資料は剥離軸が斜行する縦に長い剥片が重なった例で、同じ打面から剥離されている（第29図71・72）。中央を横切る節理面があり、最初に剥離された剥片は折れている。またこの接合資料の表面の右半分にはボジ面が残されており大型剥片を石核として剥離していたことが読み取れる。

個体22 資料は、2区Ⅶ層出土の剥片・チップの5点である（第29図73～77）。

接合資料6（個体19） 資料（第32図89）は、2区Ⅶ層出土の剥片11点の接合例である（第30図78～第31図88）。この接合資料は、大型の楕円鏝を用い、打面を作出後に連続的に不定形剥片を連続的に同一方向から剥離し、最後に反対方向から剥離している。石核は調査区外に持ち出され、見つかっていない。

接合資料7（個体11） 資料は、2区Ⅶ層出土の剥片8点の接合例である（第35図99）。この接合資料自体は、求心的な剥離による接合状況を示す（第33図91～第34図98）。しかし剥離された剥片のボジ面と直交する剥離痕があり、打面を転移しながらの剥離作業を行っていることが分かる。

接合資料8（個体23） 資料（第36図105）は、2区Ⅶ層出土の剥片・チップ3点（第36図100～102）、破損し接合したナイフ形石器（第36図103）と、これが接合した石核1点である（第36図104）。石核の面は、打面部（上面）、両側面（作業面）、小口面からなる。まず石核の打面部が形成され、剥片・チップの剥離が行われる。その後、両側面から素材剥片（ナイフ形石器・第36図103）、剥片（第36図100）が剥離される。次に両側面方向から剥片・チップの剥離が行われる。これが凡その剥離工程である。

加工痕ある剥片 見かけ上、角錐状石器の未成品に類似した出入りのある資料である（第37図106）。a面は素材獲得時のボジ面で、その面を打面として剥離されたのがd面である。d面形成後に形成されたのがc面の破損面である。

サイド・スクレーパー 素材となる剥片は、ペン先状を呈している（第37図108）。素材剥離にかかる打面は最上部から左肩部にかけて複数の細かい剥離痕からなる。器体の表面側の上半部は上方からで、下半部は下方からの剥離痕が見られる。器体の下半部では、左側よりに稜が位置し中央の末端に延びる。稜の位置から、下半のうち左側が厚く、刃部加工は右側縁にある。

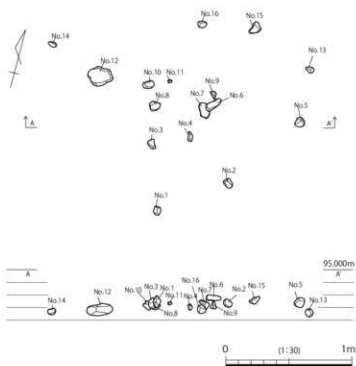
縦長剥片 資料は打面を細かく調整した薄い例と（第37図107）、平坦な打面から剥離された分厚い例がある（第37図109）。両例とも縁部が外側に突出している。

〈チャートを石材とする資料〉

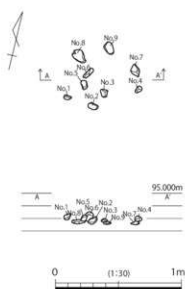
ナイフ形石器 D類・右刃：石刃素材の先端部・左側縁側と右側縁基部よりの $1/2 \sim 1/3$ を成形加工を加えた例（第27図55・57・58）。最後の例は、基部が破損している。

〈鏝を素材とする資料〉

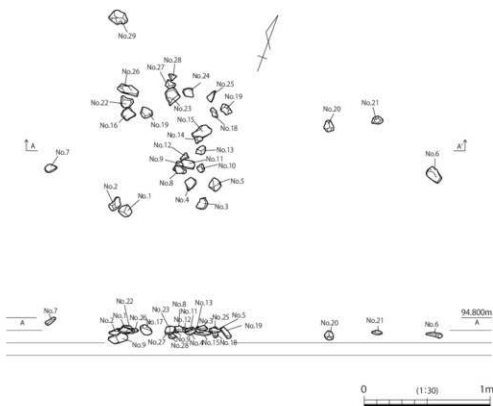
敲石 角のとれた角錐状の角鏝を素材とする。尖り気味の端部につぶれた打痕が残る（第28図66）。



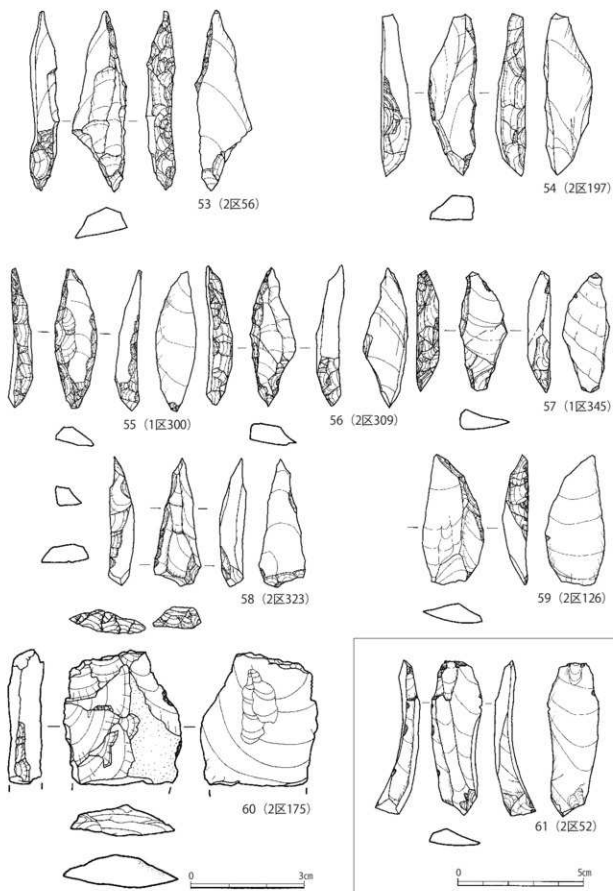
第24图 2区 VII层R1实测图(1/30)



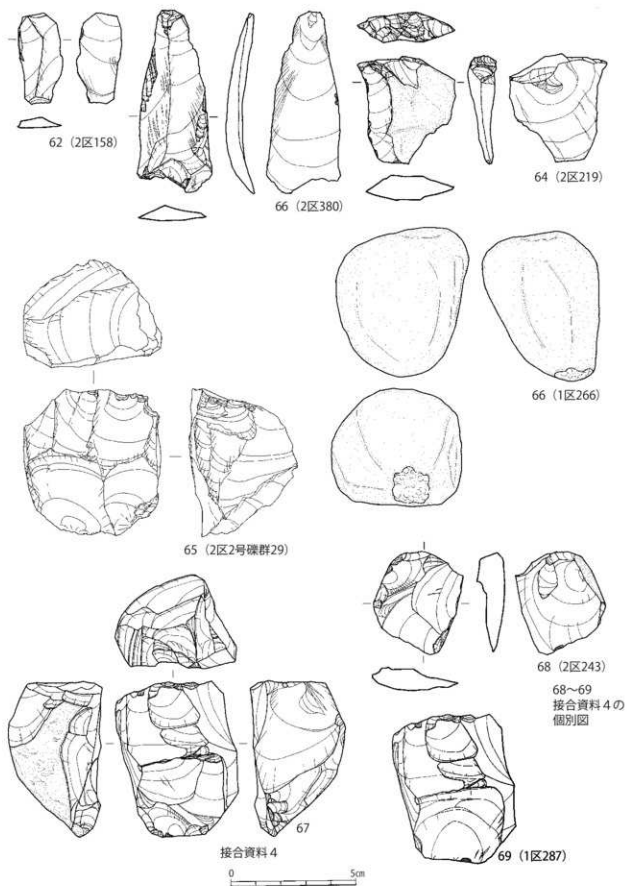
第25图 2区 VII层R2实测图(1/30)



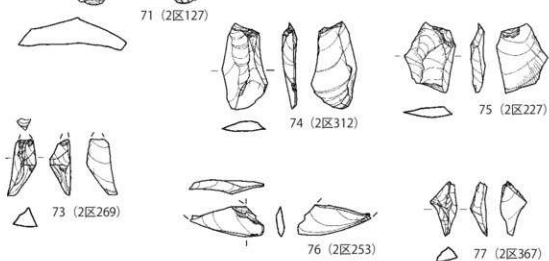
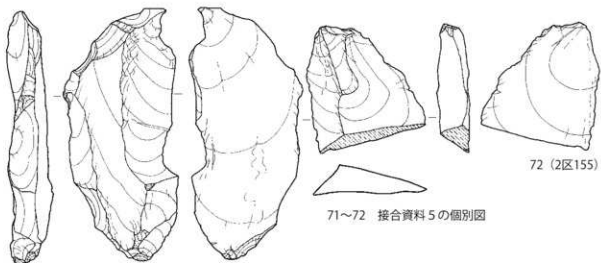
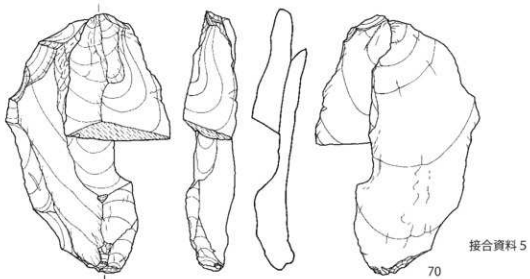
第26图 2区 VII层R3实测图(1/30)



第27图 2区 VIII层出土石器实测图1



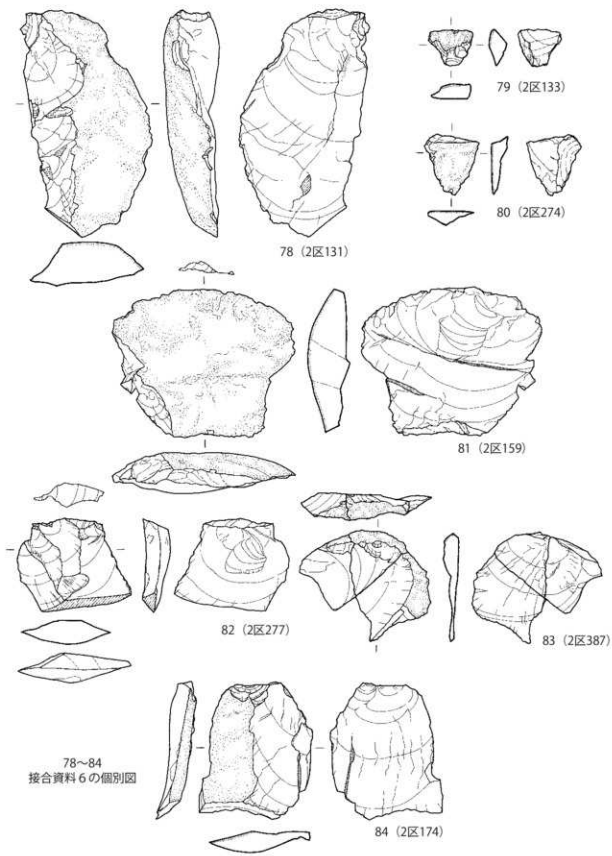
第28図 2区 VIII層出土石器実測図2



73~77 個体22の個別図

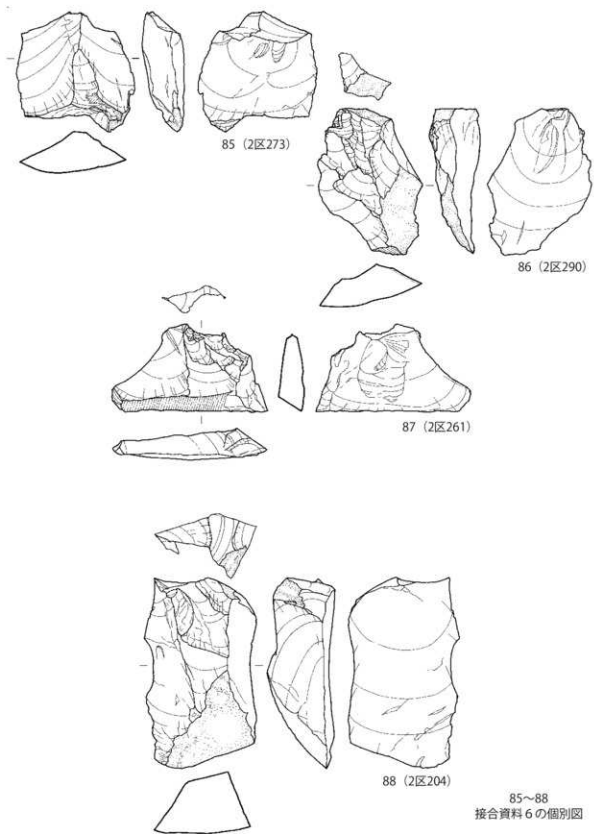


第29図 2区 VIII層出土石器実測図3

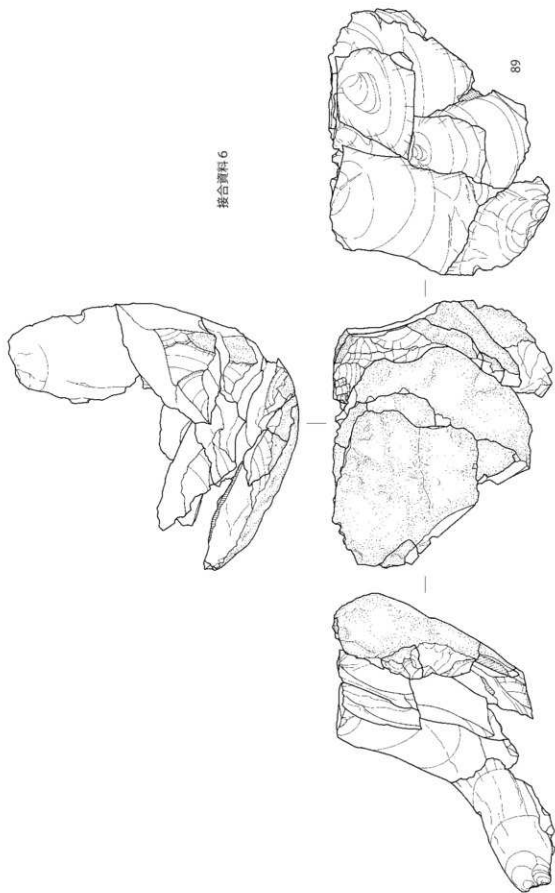


78~84
接合資料6の個別図

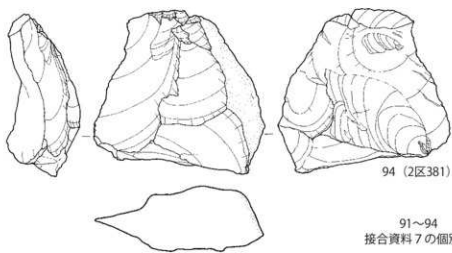
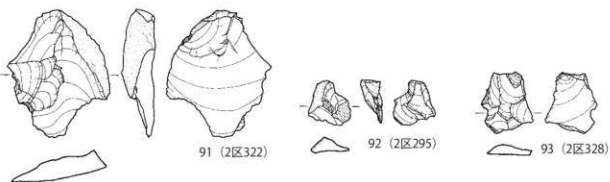
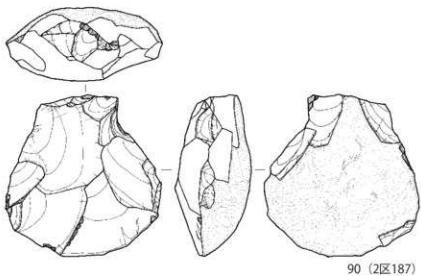
第30図 2区 VIII層出土石器実測図4



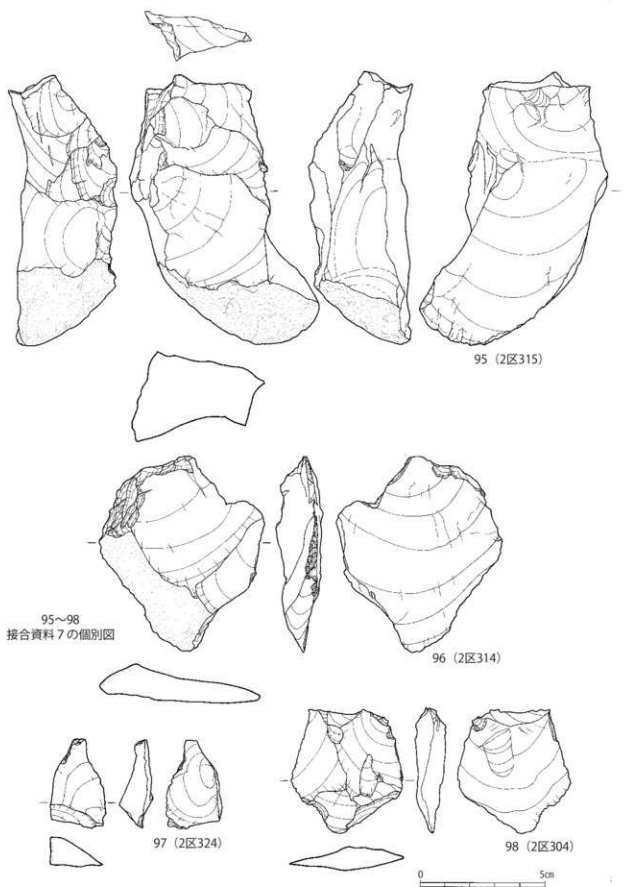
第31図 2区 VIII層出土石器実測図5



第32图 2区 VIII层出土石器实测图 6

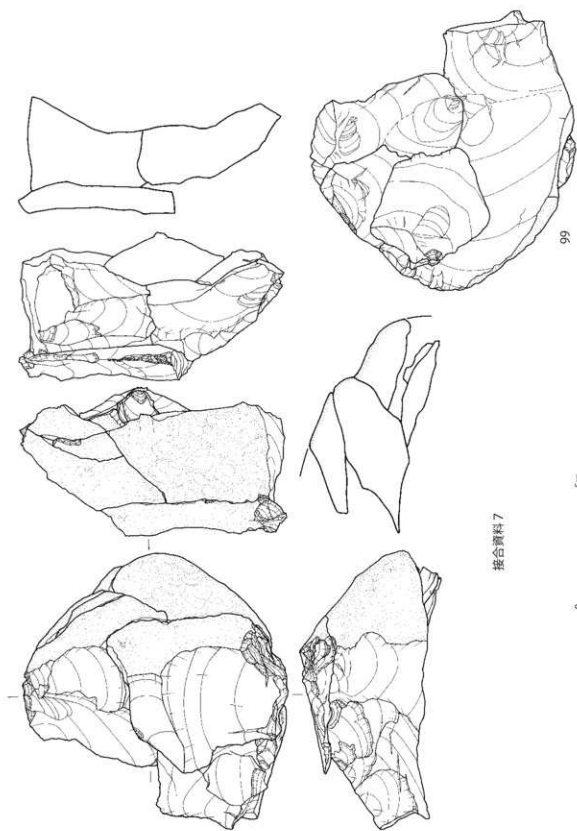


第33図 2区 VIII層出土石器実測図7

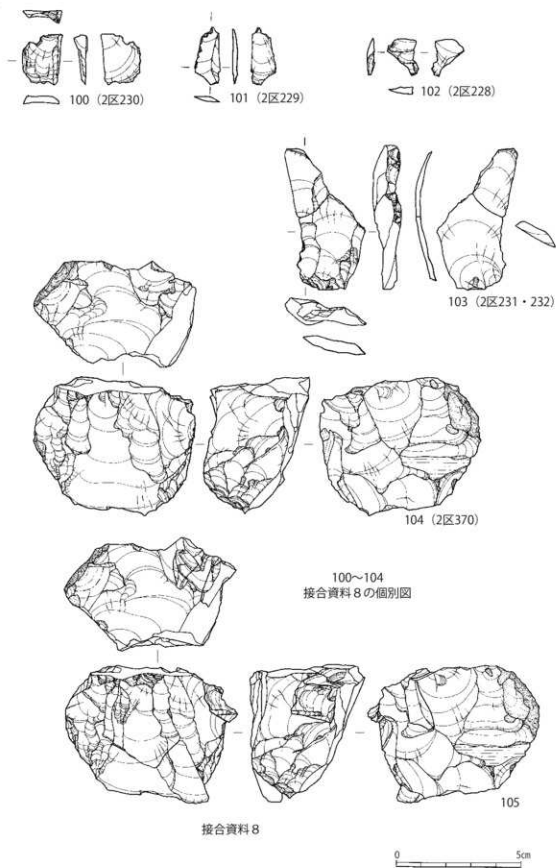


95~98
接合資料7の個別図

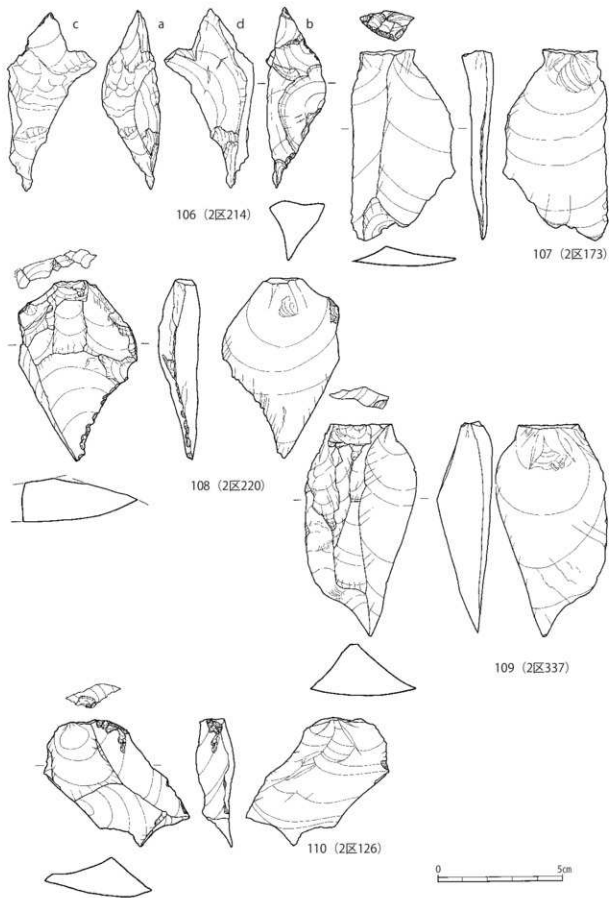
第34図 2区 VIII層出土石器実測図8



第35图 2区 VIII層出土石器実測図 9



第36図 2区 VIII層出土石器実測図10



第37图 2区 VIII层出土石器实测图11

第5章 中世の遺物

第1節 経緯

平成14年の試掘調査時において、近隣住民から寄贈された備前焼の壺と中に入っていた木製品からなる資料である。その当時、遺物を届けた住民からは、家の裏から出土したとのことであった。その後、寄贈された資料は、木製品を含むため、大分県立歴史博物館に持ち込まれていた。

今回の調査で出土したものではないが、調査区周辺の集落内のいずれかで採集された可能性が高いため、ここに関連資料として報告する。

第2節 資料

資料は、備前焼の壺1点、人形代（ひとかたしろ）1点、円札2点の計4点である。出土状況は、備前焼の壺内に人形と円札が入っていたとのことである。

備前焼の壺 器高21.8cm、口径13.0cm、頸部径12.2cm、胴径21cm、底径14.7cmの規模を有する小型の壺である（第38図111）。底部の上方約12cmのところに胴部最大径がある。ここは胴部の高さの中では約2/3を占めている。外傾しながら立ち上がる胴部下半は、最大径のところで緩やかに彎曲しながらすばまる。そして短く垂直に頸部が立ち上がり、その上に玉緑の口縁部がつく。外面胴部下半はへら削り後にナデ、胴部上半は工具による横方向のナデ、頸部と口縁部はナデである。内面側は、横方向のナデであるが、口頸部が丁寧であるのに対し、同部内は粗いナデであり、4条の輪積み接合痕がある。内外面の色調は、暗赤色で、外面胴部上半と口縁部の上半に灰白色の灰軸が降りかかっている。内面には、緑青が付着している。

人形代（ひとかたしろ） 樹皮、もしくは木の削片を材料に用いた人形である（第38図112）。上端を山形にカットし、ここから約1cm下の両側に棹かに抉りをいれ、下半は下端方向から潮いて脚を表現している。樹種は不明。長さ5.9cm、幅1.6cmの大きさで、横断面は弧状に彎曲し、側面は後方へエビ反り状に反る。

円札 円札は、緩やかな楕円形の板で大振りな例と小振りな例の2枚が出土している。大振りな例は、長軸で11.1cm、短軸10.1cm、厚さ0.8cmである（第39図113）。この例の木取は、柾目のなかでも天地柾と呼ばれる木目で、80度程度の角度で木目が傾斜している。また表裏両面の関係でいえば、文字を面一杯に書いた部分が表面（外面）で、文字の少ない部分が裏面（内面）であり、長軸方向の木目に沿うように記している。その外面には、直径1.4cmの円と、その円内に鬼窟を使ったとみられる一文字が墨書きされている。その上方に梵字のような文字が1、2文字あるが読み取れない。その円の両側に木目に沿って墨書きされているが、滲みから読み取れない。裏面（内面）には薄い墨書きが極わずか下端付近にあるが、意味が不明である。下板の平面形は、やや楕円形で、長軸で10.3cm、短軸9.15cm、厚さ0.4cmである（第39図114）。小振りな例の木取は、板目と呼ばれる木目で、木目が緩やかに傾斜している。この例の側面には、やや斜め方向に固定するための木釘穴がある。この円札は、表裏両面の関係でいえば、文字を面一杯に書いた部分が表面（外面）で、文字の少ない部分が裏面（内面）とすると、長軸方向の木目に沿うように記している。外面には、長軸3.7cm・短軸3.1cmの楕円と、その中には縦三行にわたって文字が墨書きされている。中央の文字列は、「三部口」と最も大きく墨書きされている。右側の上位には「天」の文字・呪文を含む梵字が墨書きされている。これは、天地逆方向から読むと考えられ、梵字の下に垂下する「丨」が記され、連続して「天」という文字が記されている。円内の左側にも文字が記されているが不明。円の外側は、上位と下位に5行と6行からなる「天」字状の記号・呪文が天地逆方向に記されている。これは最初に横に長い「一」を書き、これから垂下する「丨」線を書くとともに連続して「天」が書かれている。記号・呪文は、左側上位の区画内にも記されている。円の左脇には語順が乱れているが密教系の八字文殊法の「オン・ア・ビ・ラ・ウン・キャ・シャ・ラ」呪文が墨書きされている（註）。その他、円の右外側と円の左上方に文字が墨書きされているが不明である。

第3節 小結

今回報告した円札と同様の例は、広島県山崎遺跡や京都府矢谷遺跡にあり(河野編1994)、極めてよく似た形状から同一の呪術に関わる例と思われる。山崎遺跡・矢谷遺跡の円札は、その墨書内容から相手を調伏するための円符として使われ、和鏡と密接するように甕内に納入されていた。今回の資料も、備前焼の小型壺を外容器とし、その内部には緑青が付着していたので、和鏡、銅銭も納入されていた可能性が高いことから山崎遺跡や矢谷遺跡の類例と同一の納入物組成で、同一の呪術に伴う資料であったことになる。

人形代とは、お祓いやご祈祷をするときに使われる道具の1つで、奉書紙(和紙)を人の形に切ったものや、木を削って作っているが、依代(霊が憑依するもの)の一種で、人の身がわりである。人についた穢れ(不浄な状態のこと)や厄(災いや苦しみのこと)を、身代わりに人形代に移して、川に流したりお焚き上げ(燃やすこと)したりする場合がある。そうすると、身代わりが穢れや厄を背負ってくれたので、人は災いをさけることができるという呪いで、出土遺物としては7世紀後半から中世までみられる。上記の円札が調伏にかかる資料である可能性が強いことからすれば、今回報告した人形代もそれに関連する資料と考えられる。

これらの円札、人形代、備前焼の小型壺には、紀年銘が記されていないので埋納した絶対年代は不明である。しかし外容器である備前焼の小型壺の特徴から凡その時期が推定できる。頸部が短く立ち上がり、口縁が玉縁状の壺であることから間壁忠彦編年・伊藤晃編年に照らすと16世紀代の製品であることが推定される(間壁1991, 伊藤1995)。したがって、今回報告した資料の埋納時期は16世紀代と推定される。

(註)

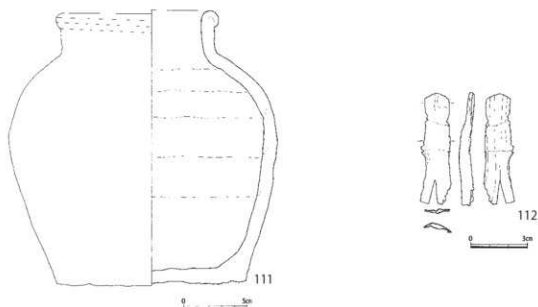
『仏像辞典』によれば、八字文殊は息災調伏等何れにも用いられ、天変地異にも請用されるようである。

参考文献

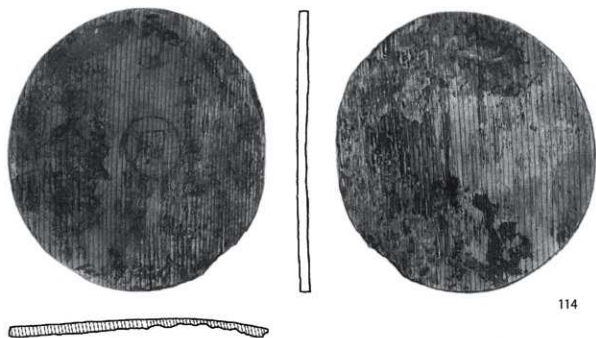
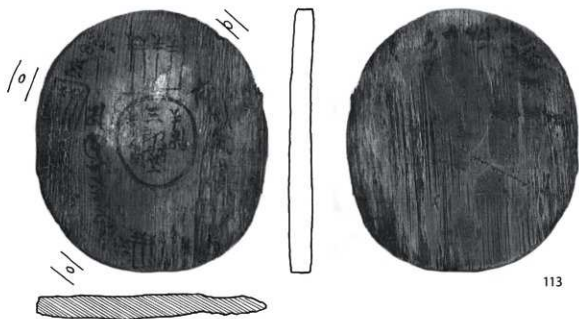
伊藤晃1995『備前』『概説 中世の土器・陶磁器』中世土器研究会編、真陽社、412~424

河野龍彦1994『山崎遺跡』広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書 第123集

間壁忠彦1991『考古学ライブラリー-備前焼』ニュー・サイエンス社



第38図 備前焼の小型壺(外容器)と人形代実測図



※斜線は木目の方向を表わしている。



第39図 内容器の上板（蓋）・下板（底）実測図

I. 自然科学分析の概要

原田第1遺跡から採取された試料について自然科学分析を行った。分析内容は、放射性炭素年代測定2点、植物珪酸体分析20点である。以下に、各分析項目ごとに試料の詳細、分析方法、分析結果および考察・所見を記載する。

II. 放射性炭素年代測定

1. はじめに

放射性炭素年代測定は、光合成や食物摂取などにより生物体内に取り込まれた放射性炭素 (^{14}C) の濃度が、放射性崩壊により時間とともに減少することを利用した年代測定法である。樹木や種実などの植物遺体、骨、貝殻、土壌、土器付着炭化物などが測定対象となり、約5万年前までの年代測定が可能である(中村, 2003)。

2. 試料と方法

次表に、測定試料の詳細と前処理・調整法および測定法を示す。

試料 No.	試料の詳細	種類	前処理・調整法	測定法	地点と層位
No.1	1区VI層R1付近, No.1	炭化物	超音波洗浄, 酸-アルカリ-酸処理	AMS	本文第7図
No.2	2区VIII層, No.250	炭化物	超音波洗浄, 酸-アルカリ-酸処理	AMS	本文第6図

3. 測定結果

加速器質量分析法 (AMS: Accelerator Mass Spectrometry) によって得られた ^{14}C 濃度について同位体分別効果の補正を行い、放射性炭素 (^{14}C) 年代および暦年代 (較正年代) を算出した。次表にこれらの結果を示し、第40図に暦年較正結果 (較正曲線) を示す。

試料 No.	測定No. (PED-)	$\delta^{13}\text{C}$ (%)	^{14}C 年代: 年BP (暦年較正用)	暦年代 (較正年代): cal-	
				1 σ (68.2%確率)	2 σ (95.4%確率)
No.1	31178	-26.28 \pm 0.21	18100 \pm 50 (18100 \pm 48)	BC 20069-19877 (68.2%)	BC 20221-19805 (95.4%)
No.2	31179	-28.60 \pm 0.19	24570 \pm 80 (24570 \pm 82)	BC 26785-26558 (68.2%)	BC 26874-26431 (95.4%)

BP: Before Physics (Present), cal: calibrated, BC: 紀元前

(1) $\delta^{13}\text{C}$ 測定値

試料の測定 $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比を補正するための炭素安定同位体比 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$)。この値は標準物質 (PDB) の同位体比からの千分偏差 (‰) で表す。試料の $\delta^{13}\text{C}$ 値を-25 (‰) に標準化することで同位体分別効果を補正している。

(2) 放射性炭素 (^{14}C) 年代測定値

試料の $^{14}\text{C}/^{12}\text{C}$ 比から、現在 (AD1950年基点) から何年前かを計算した値。 ^{14}C の半減期は5730年であるが、国際的慣例により Libby の5568年を用いている。統計誤差 (\pm) は 1σ ^{1 σ} (68.2%確率) である。 ^{14}C 年代値は下1桁を丸めて表記するのが慣例であるが、暦年較正曲線が更新された場合のために下1桁を丸めない暦年較正用年代値も併記した。

(3) 暦年代 (Calendar Years)

過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中 ^{14}C 濃度の変動および ^{14}C の半減期の違いを較正することで、放射性炭素 (^{14}C) 年代をより実際の年代値に近づけることができる。暦年代較正には、年代既知の樹木年輪の詳細な ^{14}C 測定値およびサンゴの U/Th (ウラン/トリウム) 年代と ^{14}C 年代の比較により作成された較正曲線を使用した。較正曲線のデータは IntCal 13、較正プログラムは OxCal 4.2である。

暦年代 (較正年代) は、 ^{14}C 年代値の偏差の幅を較正曲線に投影した暦年代の幅で表し、OxCal の確率法により 1σ ^{1 σ} (68.2%確率) と 2σ (95.4%確率) で示した。較正曲線が不安定な年代では、複数の $1\sigma \cdot 2\sigma$ 値が表記される場合もある。() 内の%表示は、その範囲内に暦年代が入る確率を示す。グラフ中の縦軸上の曲線は ^{14}C 年代の確率分布、二重曲線は暦年較正曲線を示す。

4. 所見

加速器質量分析法 (AMS) による放射性炭素年代測定の結果、No.1の炭化物では18,100±50年 BP (2σ の暦年代で BC 20,221~19,805年)、No.2の炭化物では24,570±80年 BP (BC 26,874~26,431年)の年代値が得られた。

文献

- 中村俊夫 (2000) 放射性炭素年代測定法の基礎。日本先史時代の ^{14}C 年代編集委員会編「日本先史時代の ^{14}C 年代」, 日本第四紀学会, p.3-20.
- 中村俊夫 (2003) 放射性炭素年代測定法と暦年代較正。環境考古学マニュアル, 同成社, p.301-322.
- Bronk Ramsey, C. (2009) Bayesian Analysis of Radiocarbon dates. Radiocarbon, 51 (1), 337-360.
- Paula J Reimer et al., (2013) IntCal 13 and Marine 13 Radiocarbon Age Calibration Curves, 0-50,000 Years cal BP. Radiocarbon, 55, p.1869-1887.

III. 植物珪酸体分析

1. はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内に珪酸 (SiO_2) が蓄積したもので、植物が枯れたあともガラス質の微化石 (プラント・オパール) となって土壤中に半永久的に残っている。植物珪酸体分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生・古環境の推定などに応用されている (杉山, 2000, 杉山, 2010)。

2. 試料

分析試料は、1区の基本土層断面においてIII層からXIII層までの層準から採取された試料1~試料20の計20点である。試料採取箇所を分析結果の柱状図 (第41図) に示す。

3. 分析法

植物珪酸体の抽出と定量は、ガラスビーズ法（藤原，1976）を用いて、次の手順で行った。

- 1) 試料を105℃で24時間乾燥（絶乾）
- 2) 試料約1gに対し直径約40μmのガラスビーズを約0.02g添加（0.1mgの精度で秤量）
- 3) 電気炉灰化法（550℃・6時間）による脱有機物処理
- 4) 超音波水中照射（300W・42KHz・10分間）による分散
- 5) 沈底法による20μm以下の微粒子除去
- 6) 封入剤（オイキット）中に分散してプレパラート作成
- 7) 検鏡・計数

同定は、400倍の偏光顕微鏡下で、おもにイネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体を対象として行った。計数は、ガラスビーズ個数が400以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。試料1gあたりのガラスビーズ個数に、計数された植物珪酸体とガラスビーズ個数の比率をかけて、試料1g中の植物珪酸体個数を求めた。

また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重（1.0と仮定）と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重）をかけて、単位面積で層厚1cmあたりの植物体生産量を算出した。これにより、各植物の繁茂状況や植物間の占有割合などを具体的にとらえることができる（杉山，2000）。タケ亜科については、植物体生産量の推定値から各分類群の比率およびメダケ率（メダケ属とササ属の比率）を求めた。

4. 分析結果

(1) 分類群

検出された植物珪酸体の分類群は以下のとおりである。これらの分類群について定量を行い、その結果を表1および第41図に示した。主要な分類群について顕微鏡写真を示す。

〔イネ科〕

ヨシ属、シバ属型、キビ族型、ススキ属型（おもにススキ属）、ウシクサ族A（チガヤ属など）、ジュズダマ属型、Bタイプ

〔イネ科-タケ亜科〕

メダケ節型（メダケ属メダケ節・リュウキュウチク節、ヤダケ属）、ネザサ節型（おもにメダケ属ネザサ節）、チマキザサ節型（ササ属チマキザサ節・チシマザサ節など）、ミヤコザサ節型（ササ属ミヤコザサ節など）、未分類等

〔イネ科-その他〕

表皮毛起源、棒状珪酸体（おもに結合組織細胞由来）、茎部起源、未分類等

〔樹木〕

ブナ科（シイ属）、その他

(2) 植物珪酸体の検出状況

下位のXIII層（試料20）では、ネザサ節型、ミヤコザサ節型が比較的多く検出され、シバ属型、キビ族型、ウシクサ族A、イネ科Bタイプ、メダケ節型、チマキザサ節型、および樹木（その他）なども認められた。樹木は一般に植物珪酸体の生産量が低いことから、少量が検出された場合でも過大に評価する必要がある（杉山，1999）。なお、すべての樹種で植物珪酸体が形成されるわけではなく、落葉樹では形成されないものも多い（近藤・佐瀬，1986）。

XII層（試料18、19）からXI層（試料16、17）にかけては、ネザサ節型が減少し、メダケ節型は見られなくなっている。X層（試料15）からIXa層下部（試料13）にかけては、チマキザサ節型、ミヤコザサ節型が増加し、

ススキ属型が出現しているが、シバ属型は見られなくなっている。Ⅷ層（試料9～11）からⅧ層（試料5～8）にかけては、チマキザサ節型、ミヤコザサ節型がさらに増加し、ススキ属型は見られなくなっている。Ⅴ層（試料3、4）では、チマキザサ節型が減少し、キビ族型、イネ科Bタイプは見られなくなっている。Ⅳ層（試料2）では、ミヤコザサ節型が大幅に減少し、ススキ属型、メダケ節型が再び出現している。Ⅲ層（試料1）では、ネザサ節型が大幅に増加し、ヨシ属、シバ属型、ジュズダマ属型、および樹木（照葉樹）のブナ科（シイ属）が出現している。

おもな分類群の推定生産量によると、Ⅴ層より下位ではおおむねチマキザサ節型やミヤコザサ節型が優勢であり、Ⅲ層ではネザサ節型も比較的多くなっている。また、Ⅳ層ではチマキザサ節型、Ⅲ層ではネザサ節型が優勢であり、Ⅲ層ではヨシ属も比較的多くなっている。

5. 植物珪酸体分析から推定される植生と環境

下位のⅢ層からⅩ層にかけては、メダケ属（ネザサ節）やササ属（チマキザサ節やミヤコザサ節）などの竹筴類、およびシバ属、ウシクサ族（チガヤ属など）、キビ族などのイネ科草本類が生ずる日当たりの良い比較的乾燥した環境であったと考えられ、周辺には何らかの樹木が生ずっていたと推定される。

Ⅹ層からⅨ層にかけては、ササ属（チマキザサ節やミヤコザサ節）が増加して、ススキ属も見られるようになり、シバ属は何らかの原因で見られなくなったと考えられる。始良Tn火山灰（AT、約2.9万年前）混のⅧ層からⅤ層にかけては、ササ属（チマキザサ節やミヤコザサ節）がさらに増加して繁茂するような状況になり、部分的にキビ族、ウシクサ族なども見られ、周辺には何らかの樹木が生ずっていたと推定される。

タケ亜科のうち、メダケ属は温暖、ササ属は寒冷な気候の指標とされており、メダケ率（両者の推定生産量の比率）の変遷は、地球規模の水期-間水期サイクルの変動と一致することが知られている（杉山、2001、2010）。Ⅹ層からⅤ層にかけては、ササ属が卓越しており、メダケ率が3～10%程度と低いことから、当時は比較的寒冷な気候であったと推定される。ATとの層位関係などから、この寒冷期は最終水期の最寒冷期（酸素同位体ステージ2）に対比されると考えられる。

なお、下位のⅢ層からⅩ層にかけては、メダケ率が20～50%程度とやや高いことから、当時は相対的に温暖な気候であったと推定される。この相対的な温暖期は、最終水期の亜間水期（酸素同位体ステージ3）の一部に対比されると考えられる。

ササ属のうち、ミヤコザサ節は太平洋側の積雪の少ないところに分布しており冬季の乾燥に適応しているが、チマキザサ節やチマキザサ節は日本海側の多雪地帯に分布しており冬季の乾燥に弱い（室井、1960、鈴木、1996）。Ⅷ層からⅦ層にかけては、後者が優勢であることから、当時は相対的に積雪（降水量）が多かった可能性が考えられる。

ササ属などの竹類は常緑であることから、大半の植物が落葉または枯死する秋から冬にかけてはシカ類などの草食動物の重要な食物となっている（高槻、1992）。遺跡周辺にこれらの竹類が豊富に存在したことは、当時の動物相を考える上でも重要と考えられる。

Ⅳ層の時期にはササ属が減少し、縄文時代早期とされるⅢ層ではメダケ属（おもにネザサ節）が大幅に増加して、シバ属、ススキ属、ウシクサ族、キビ族なども見られるようになり、周辺にはシイ属などの樹木（照葉樹）も生育していたと推定される。このような植生変化は、後水期における気候温暖化に対応していると考えられる。また、Ⅲ層の時期には部分的にヨシ属やジュズダマ属が生ずるような湿潤なところも見られるようになったと考えられる。

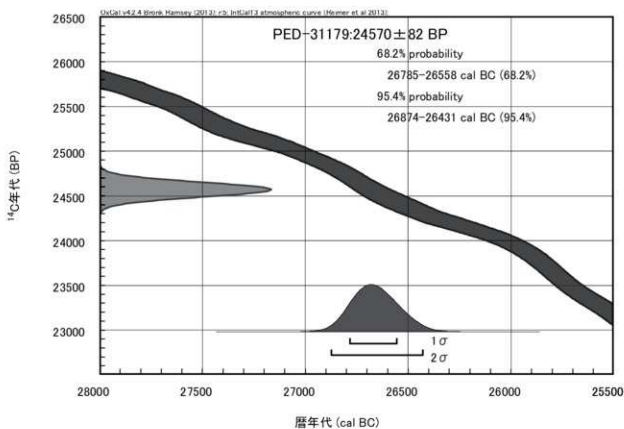
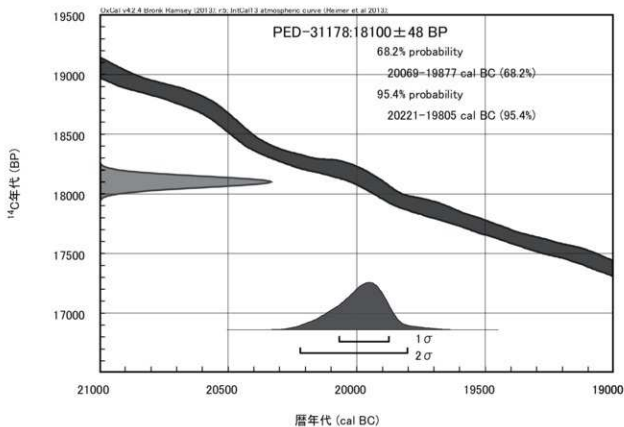
メダケ属（ネザサ節）、ススキ属、チガヤ属、シバ属などは日当たりの悪い林床では生育が困難であることから、当時の調査区周辺はおおむね日当たりの良い草原的な環境であったと推定される。このような草原的な植生環境下で土壌中に多量の有機物が供給され、炭素含量の高い黒色土壌（黒ボク土）が形成されたと考えられる（杉山ほか、2002）。

文献

- 近藤謙三・佐瀬隆 (1986) 植物珪酸体, その特性と応用, 第四紀研究, 25, p.31-63.
- 杉山真二・藤原宏志 (1986) 機動細胞珪酸体の形態によるタケ亜科植物の同定—古環境推定の基礎資料として—, 考古学と自然科学, 19, p.69-84.
- 杉山真二 (1987) タケ亜科植物の機動細胞珪酸体, 富士竹類植物園報告, 第31号, p.70-83.
- 杉山真二 (1999) 植物珪酸体分析からみた九州南部の照葉樹林発達史, 第四紀研究, 38 (2), p.109-123.
- 杉山真二 (2000) 植物珪酸体 (プラント・オパール), 考古学と植物学, 同成社, p.189-213.
- 杉山真二・渡邊眞紀子・山元希里 (2002) 最終氷期以降の九州南部における黒ボク土発達史, 第四紀研究, 41 (5) p.361-373.
- 杉山真二 (2001) テフラと植物珪酸体分析, 月刊地球, 23, p.645-650.
- 杉山真二 (2010) 更新世の植生と環境, 旧石器時代, 講座日本の考古学第1巻, 青木書店, p.156-177.
- 鈴木貞雄 (1996) タケ科植物の概説, 日本タケ科植物園鑑, 聚海書林, p.8-27.
- 高槻成紀 (1992) 北に生きるシカたち—シカ, ササそして雪をめぐる生態学—, どうぶつ社.
- 藤原宏志 (1976) プラント・オパール分析法の基礎的研究 (1) —数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法—, 考古学と自然科学, 9, p.15-29.
- 室井緯 (1960) 竹笹の生態を中心とした分布, 富士竹類植物園報告, 5, p.103-121.

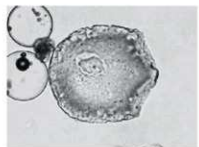
表1 原田第1遺跡における植物性圧痕体分析結果

分類群	地点・試料																				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
イネ科																					
Gramineae																					
ヨシ属	13																				
<i>Phragmites</i>	7																				
<i>Zizania</i> type	7																				
キビ根型						6	7	6	13	14	12	20	6	7	7		12	20	20	33	
Poaceae type											6	7	6	7	7						
ススキ属型	7	6																			
<i>Africanus</i> type																					
ウシタチ草A	13	6	7	7	13	6	7	12	19	21	59	40	55	47	14	14	19	60	7	13	
Antropogonum A type																					
Cist. type	7																				
Bタイプ						7	6	6	6	7	6	7	12	7	7	21	6	7	7	7	7
タケ亜科																					
Bambusoideae																					
メダケ根型	33	12					7	6													7
<i>Phaebastax</i> sect. <i>Nipponocollum</i>	348	20	14	7	13	19	20	6	19	27	41	33	25	20	20	28	19	27	33	73	
<i>Phaebastax</i> sect. <i>Nozama</i>	114	101	103	86	151	161	180	288	283	172	147	60	141	75	68	14	31	27	26	33	
Sea sect. <i>Sea</i> etc.	54	71	316	253	164	297	327	288	313	192	153	73	196	170	197	83	56	67	79	80	
<i>Sea</i> sect. <i>Cristinoid</i>	100	124	186	219	184	174	220	179	180	151	147	93	123	68	34	69	49	60	39	66	
Others																					
その他のイネ科																					
表皮毛起源	13	30	7	7	13	26	40	23	58	34	18	33	31	47	14	21	12	7	13	46	
Husk hair origin																					
棒状柱細胞	87	53	55	53	26	52	40	92	103	130	135	73	98	81	88	28	62	53	59	20	
Rod-shaped																					
茎節起源	6	7									6										
Stem origin																					
Others	40	124	124	100	79	97	53	40	32	62	100	113	67	95	54	97	99	47	66	60	
未分類等																					
樹木起源																					
Aboveground																					
ブナ科(シイ属)	7																				
<i>Castanopsis</i>																					
Others	40	6	7	6	7	6	7	6	6	7	6	7	6	7	7	7	6	7	7	7	
その他																					
(根節骨材)											6										7
植物圧痕体総数	891	568	825	732	651	852	908	951	1035	816	834	559	772	631	515	395	370	387	362	451	
Total																					
おもな分類群の推定生量(単位: $\text{kg} \cdot \text{m}^{-2} \cdot \text{cm}$) : 試料の収生量を1.0と仮定して算出																					
ヨシ属	0.35																				
<i>Phragmites</i>																					
ススキ属型	0.08	0.07																			
<i>Africanus</i> type																					
<i>Phaebastax</i> sect. <i>Nipponocollum</i>																					0.08
<i>Phaebastax</i> sect. <i>Nozama</i>	1.07	0.14	0.07	0.03	0.06	0.09	0.10	0.03	0.09	0.13	0.20	0.16	0.12	0.10	0.10	0.13	0.09	0.13	0.16	0.35	
Sea sect. <i>Sea</i> etc.	0.85	0.75	0.77	0.65	1.13	1.21	1.35	2.16	2.12	1.29	1.10	0.45	1.06	0.56	0.51	0.10	0.23	0.20	0.20	0.25	
<i>Sea</i> sect. <i>Cristinoid</i>	0.16	0.21	0.35	0.76	0.49	0.89	0.98	0.86	0.95	0.58	0.46	0.22	0.39	0.51	0.59	0.25	0.17	0.20	0.24	0.24	
Sea sect. <i>Sea</i> etc.																					
Sea sect. <i>Cristinoid</i>																					
タケ亜科の比率 (%)																					
<i>Phaebastax</i> sect. <i>Nipponocollum</i>	13	11					3	2													8
<i>Phaebastax</i> sect. <i>Nozama</i>	54	11	4	2	4	4	4	1	3	7	11	19	6	8	8	27	18	24	27	38	
Sea sect. <i>Sea</i> etc.	28	61	43	45	67	55	54	69	67	64	63	54	58	48	43	21	48	38	33	27	
Sea sect. <i>Cristinoid</i>	5	17	53	53	29	41	39	28	30	29	26	27	32	44	49	51	34	38	40	26	
未分類等	67	22	4	2	4	4	4	7	3	3	7	11	19	10	8	8	27	18	24	27	47
Mediate ratio																					

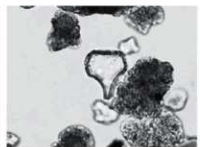


第40図 曆年較正結果

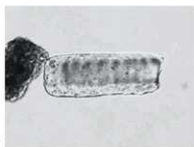
原田第1遺跡の植物珪酸体（プラント・オパール）



ヨシ属
試料1



シバ属型
試料20



キビ族型
試料11



ススキ属型
試料11



ウシクサ族A
試料17



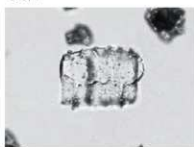
ジュズダマ属型
試料1



イネ科Bタイプ
試料9



メダケ節型
試料1



ネザサ節型
試料1



ナマキザサ節型
試料1



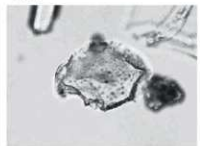
ミヤコザサ節型
試料6



表皮毛起源
試料1



棒状珪酸体
試料2



ブナ科（シイ属）
試料1



樹木（照葉樹）
試料6

50 μm

第7章 総括

第1節 遺構

原田第1遺跡では、遺構は礫群が出土している。礫群は、1区VI層のR1・1区VII層のR2・2区VIII層のR1～R3である。いずれも共通するのは密集性に欠け、垂直分布における積み重ねの度合いが極めて低いことである。礫自体は、被熱により赤化しているが、大型礫は少なく、割面が多いのが特徴である。礫群は、集積した礫に熱を加えた後、中に食材を入れて調理する施設として一般的に理解されることからすれば、本遺跡で出土した例は見かけ上そうした行為を窺わせる状況ではない。本遺跡の礫群は、礫群中の礫を何度も別地点で使用するために壊され、持ち去られた跡の言わば残骸といえる。今回の調査地点は、原田第1遺跡のなかでも東西に長い島状の段丘であるが、各所で石器類が出土していることから、こうした別地点へ礫群中の礫を持ち出したと考えられる。

第2節 遺物

今回の調査では、複数の文化層が確認されたが、個々の石器類をそれぞれの文化層へ明確に区分することはできなかった。おおよそ、その傾向ということで区分した。最上位の文化層は、1区のV層からVI層にまたがり岩戸遺跡のVI層上部の文化層と同じ片島型ナイフ形石器を特徴とする。このナイフ形石器は、先細りの小型石刃を素材とするが、その素材を剥離した石核も出土している。今回、報告した中では、スクレーパーと併用した石核で、小口から石刃を剥離した痕跡や石刃が確認されている。

その下位にある文化層として、1区のVI層～VII層にまたがる文化層で、VII層を出土の中心としている。主な遺物としては、二側縁加工のナイフ形石器、やや斜軸の幅広剥片を素材としたナイフ形石器、角錐状石器、幅広の基部を有する石錐などがある。こうした石器類の特徴から概ね岩戸遺跡のVI層下部に相当する文化層と推定される。

最下位にある文化層としては、2区のVIII層を主体にVII層にまたがる文化層である。主な遺物としては、二側縁加工のナイフ形石器を主体とし、石刃を斜めに成形加工を加えたナイフ形石器を特徴的に伴う。こうしたナイフ形石器の素材は石刃であり、石刃も伴っている。石刃の中には、両端方向から先行する石刃剥離痕があるが、これはナイフ形石器の表面にも観察されているほか、関連する石核も出土している。なお1区VIII層から出土した礫群（R3）や若干の剥片は、2区VIII層を中心に出土した文化層と関連するのかもしれない。

ATは本遺跡においてVIII層中にザラザラとした風化土壌で堆積している。その中に黄色のAT結晶が0.5cmから径5cmまでの大きさに標高94.75m～94.80mまでの間でブロック状に堆積している。この地層関係と文化層の関係は、VIII層の文化層にかかる2区の礫群（R1）の中心レベルもATのレベルよりやや低い標高94.60m付近にあるが、遺物の大半は標高94.70mを垂直分布の中心として上方へ広がっている。黄色のAT結晶レベルと遺物レベルの関係からするとAT降灰直前から直後にVIII層の文化層が形成されたと考えられる。石器文化の様相としては、黒色帯上半部から出土した百枝遺跡C地区第3文化層同様で、同文化層の石器群に後続することか層位からわかる。

遺物觀察表

表2 原田第1遺跡 1区遺物観察表

遺物番号	原田番号	X 軸	Y 軸	標高	躯体	注1	部 種	重量	長	幅	厚	石材	備 考
1		2395190	54801410	95.33	VI		湖片	2.23	2.063	2.618	0.477	炭灰石	
2		2394780	54802000	95.38	V			13	5.9	3.18	0.777		
3		2394430	54801410	95.36	V			6.7	3.61	1.92	1		
4		2393640	54801720	95.37	V			45.1	4.84	3.73	2.56		
5		2393600	54802050	95.37	V			13.4	2.99	3.12	2.2		
6		2395820	54804480	95.36	V		F湖片	5.06	3.378	1.421	1.38	炭灰石	
7		2395460	54805080	95.41	8	V	F湖片	9.04	3.274	5.188	0.816	炭灰石	47・81と接合
8	10	7	2395510	54806200	95.45	V	エンド・スタレーパー	35.22	4.212	4.727	1.685	炭灰石	
9			2395200	54806740	95.34	VI	湖片	12.74	3.423	4.61	1.08	炭灰石	
10			2394890	54806970	95.24	VI	Fチップ	0.93	1.607	1.416	0.411	炭灰石	
11			2394630	54807220	95.37	V	湖片	3.51	2.25	4.198	0.586	炭灰石	
12	10	5	2394740	54807500	95.36	V	ナイフ型石	1.89	2.896	1.846	0.422	炭灰石	
13			2395020	54807520	95.43	XIII	石核	56.6	5.181	5.061	2.355	炭灰石	
14			2394790	54807840	95.39	V	湖片	36.51	6.402	4.781	1.443	炭灰石	初期湖片
15	10	4	2394720	54807400	95.28	VI	湖片	1.75	2.591	1.869	0.517	炭灰石	
16			2394650	54804580	95.35	VI		4.1			0.47		
17	11	8	2393720	54803800	95.37	V	使用痕ある石刃	7.69	4.955	2.144	0.754	炭灰石	
18	11	10	2394090	54804700	95.36	VI	石刃	13.25	6.507	2.549	8.3	炭灰石	
19			2394000	54805250	95.32	VI	湖片	2.21	2.559	2.001	0.61	炭灰石	
20			2394070	54805600	95.45	V	石核	11.33	3.52	3.996	0.931		
21			2393500	54804600	95.25	VI	F湖片	2.37	1.327	2.485	0.86		
22			2393240	54805100	95.29	VI	Fチップ	0.22	1.008	0.711	0.237	炭灰石	
23			2393460	54805200	95.27	VI	湖片	7.1	3.63	2.92	1.29		
24			2393700	54805740	95.39	V	湖片	7.74	3.19	3.233	1.047	炭灰石	
25			2393900	54806110	94.73	V	湖片	1.8	1.431	3.024	0.444	炭灰石	
26	10	1	2393530	54805900	95.38	V	ナイフ型石	0.92	3.047	0.915	0.302	炭灰石	片島型
27			2393590	54806120	95.38	V	湖片	7.78	3.14	4.993	0.639	炭灰石	
28			2393440	54806100	95.35	V	湖片	4	3.35	3.342	0.686	炭灰石	
29			2393260	54806150	95.27	V	Fチップ	0.53	1.332	1.518	0.202	炭灰石	
30			2393210	54806410	95.38	V	F石刃	2.47	3.685	1.427	0.446	炭灰石	
31			2393780	54806520	95.39	V	湖片	2.55	2.042	2.475	0.646	炭灰石	
32			2393640	54806940	95.3	V	湖片	2.28	1.926	2.081	0.624	炭灰石	
33			2394040	54807220	95.29	V	F湖片	2.24	2.018	2.142	0.682	炭灰石	
34			2393710	54808820	95.4	V	Fチップ	0.91	2.446	0.888	0.408	炭灰石	
35	10	6	2393240	54806100	95.43	V	エンド・スタレーパー	25.39	5.649	3.839	1.152	炭灰石	
36			2393030	54806340	95.32	V	湖片	1.58	1.194	1.953	0.508	炭灰石	
37			2392260	54803580	95.42	V		13.3	3.35	2.14	1.55		
38			2392370	54803640	95.43	V	湖片	10.93	3.436	3.103	1.16	炭灰石	
39			2392660	54803790	95.37	VI	湖片	39.28	6.439	4.641	2.09	炭灰石	
40			2392740	54804340	95.27	VI		8.8	3.54	2.58	1.42		
41			2392820	54805100	95.27	VI		13.14	3.55	2.35	0.72		
42			2392940	54806210	95.41	V	チップ	0.49	1.635	1.532	0.208	炭灰石	
43			2392740	54805960	95.35	V		383.7	8.43	6.45	4.58		
44	10	3	2392760	54806200	75.38	V	ナイフ型石	6.98	4.904	1.769	0.777	炭灰石	片島型
45			2392650	54806640	95.3	VI	F湖片	2.01	2.377	2.953	0.511	炭灰石	
46			2392680	54806700	95.31	VI	Fチップ	0.48	1.123	1.773	0.3	炭灰石	
47			2392280	54806960	95.38	8	V	2.35	27.4	26.2	3.33		
48			2392340	54806360	95.38	V		29.12	11.21	687	3.83		
49			2392460	54806460	95.41	V		1.31			0.56		
50			2392050	54806660	95.36	V		396.8	8.58	5.63	5.9		
51			2392000	54807110	95.3	7	V湖片	23.82	5.385	3.354	2.023	炭灰石	
52			2388040	54807240	95.34	V	チップ	0.21	1.357	1.081	0.228	炭灰石	
53	17	27	2392690	54808670	95.44	3	V石核	27.21	4.511	2.836	2.781	炭灰石	
54			2392260	54808440	95.43	V	自然礫小	1.2	1.887	1.758	0.421	不明	
55			2392110	54808110	95.38	V	チップ	1.16	1.829	1.612	0.522	炭灰石	
56			2391970	54808120	92.37	V	チップ	0.52	1.603	0.859	0.342	炭灰石	
57			2391960	54809160	95.38	V	湖片	36.78	5.138	4.095	1.477	炭灰石	山石
58	14	11	2391440	54806640	95.27	V	ナイフ型石	2.71	4.626	1.319	0.433	炭灰石	
59			2391540	54806710	95.39	V	湖片	3.98	3.02	1.876	0.637	炭灰石	
60			2391690	54806960	95.35	V	チップ	1.44	1.693	1.477	0.647	炭灰石	
61			2391360	54807780	95.33	V	チップ	0.94	2.198	1.349	0.356	炭灰石	
62	20	38	2391640	54808610	95.34	1	V	3.28	35.7	18.7	0.49	炭灰石	
63			2391200	54809600	95.36	VI	湖片	8.98	3.664	4.467	0.776	炭灰石	
64	17	26	2390810	54807630	95.34	3	V石核					炭灰石	接合資料
65	14	14	2390390	54807050	95.27	5	VI ナイフ型石	3.1	2.764	1.835	0.784	炭灰石	接合資料
66	19	35	2390420	54808010	95.28	1	VI F湖片	6.35	3.465	2.363	1.104	炭灰石	接合資料

建物番号	棟号	X 軸	Y 軸	標高	躯体	出注	部 種	重量 kg	長 mm	幅 mm	厚 mm	石 材	備 考
67		2391340	54804050	95.37	V			140.5	5.15	5.15			
68		2391510	54804500	95.36	V	F	フリップ	0.72	1.876	1.138	0.315	現狀	
69	11	2389900	54803220	95.35	V	F	石片	3.23	4.774	1.622	0.516		
70		2389250	54804650	95.34	V		調片	9.49	4.761	2.722	0.81		
71	19	2388860	54808430	95.23	1	VI	調片	13.89	3.875	3.624	1.17	現狀	189・191他と接合
72		2389570	54807610	95.27	VI			0.46	1.268	1.563	0.232	現狀	
73		2390780	54807600	95.25	VI			3.69	2.57	1.7	0.96		
74		2391160	54807390	95.23	11	VI	調片	5.44	2.45	3.932	0.687	現狀	接合資料
75	16	2391100	54804670	95.16	3	VI	調片	11.87	2.418	4.555	1.271	現狀	
76	17	2391280	54808660	95.25	3	VI	角鋼状石部	10.58	3.477	2.368	1.005	現狀	
77		2391940	54809380	95.24	VI	F	フリップ	0.43	1.044	1.163	0.567		サマコトカ
78		2392230	54809260	95.29	VI		礎	1.5	3.86	2.19	1.46		
79	16	2392390	54807100	95.12	3	VB	調片	29.67	4.129	5.257	1.439	現狀	
80		2392230	54806340	95.25	VI		調片	14.78	3.862	3.18	1.409	不明	
81		2392900	54806650	95.19	8	VI		14.62	3.434	4.423	0.773	現狀	7・47と接合
82		2392260	54805620	95.77	VI		礎	0.8	1.15	0.72	0.71		
83		2392030	54805670	95.21	VI	F	フリップ	0.9	1.789	1.256	0.474	現狀	
84		2391840	54805740	95.23	VI	F	フリップ	0.42	1.212	1.889	0.346	現狀	
85		2390570	54804610	95.22	VI		礎	2.2	1.62	1.04	0.97		
86		2390440	54803080	85.31	VI		礎	0.6	1.5	1.1	0.55		
87		2391630	54803950	95.25	VI		礎	25.8	5.35	4.86	1.5		
88		2392190	54805090	95.22	VI		調片	3.76	1.909	3.061	0.867		
89		2392530	54804460	95.25	VI	サイド・スラレバー		119.91	8.588	8.051	1.920		
90		2392770	54806000	95.35	VI		礎	1.8	2.69	1.87	0.59		
91		2392990	54806350	95.23	7	VI	フリップ	0.5	1.355	1.39	0.299	現狀	
92		2393270	54806340	95.39	VI	フリップ		1.45	1.823	2.266	0.466	現狀	
93		2393150	54805610	95.24	VI	F	フリップ	24.22	1.809	0.81	0.485	現狀	
94		2393230	54805690	95.2	VI		調片	46.31	5.297	6.615	1.261	不明	
95	10	2393880	54805790	95.24	VI	ナイフ状石部		1.34	3.434	0.927	0.407	現狀	片島型
96		2394590	54806650	95.18	VI	切斷調片		25.1	2.114	2.165	0.626	現狀	
97		2394760	54807500	95.24	VI	F	調片	2.79	3.431	1.762	0.653	現狀	
98		2393630	54807140	95.19	VI		調片	3.25	20.05	28	0.57	不明	
99		2394640	54808440	95.2	VI		調片	12.82	4.251	3.889	1.163	現狀	
100		2393280	54804780	95.21	VI			27.54	6.193	3.401	1.332		
101		2393540	54802340	95.16	VI		礎	1.4	2.24	1.49	0.85		
102		2394320	54805200	95.24	VI	石橋		61.49	4.712	6.05	2.359	現狀	
103		2395840	54804200	95.15	VI		調片	32.33	6.123	4.294	1.73		
104		2394910	54803760	95.15	VI		礎	7.3	2.69	1.57	1.5		
105		2392700	54802200	95.25	VI	F	フリップ	1.28	2.215	1.186	0.549	現狀	
106		2392590	54801650	95.26	VI		礎	5.1	2.98	2.26	1.35		
107		2392720	54801630	95.29	VI	換礎		11.32	3.062	3.78	1.174		
108		2392970	54801030	95.27	VI		礎	3.2	2.34	1.46	0.99		
109		2393060	54800980	95.23	VI		礎	0.7	1.52	1.71	0.29		
110		2393560	54800930	95.25	VI	F	調片	6.54	4.795	1.362	1.176	現狀	
111		2393610	54801370	95.26	VI		調片	3.72	4.125	1.387	0.78	現狀	
112		2393600	54801860	95.27	VI	石橋		27.55	2.857	6.42	2.823	現狀	
113		2393660	54802140	95.32	VI			0.23	0.57	1	0.28		
114		2393740	54802060	95.29	VI		調片	1.13	3.059	0.992	0.542	現狀	
115		2394010	54802320	95.31	VI	使用痕ある調片		2.85	2.985	1.713	0.529	未品	
116		2394260	54802110	95.27	VI		調片	8.78	3.14	1.741	1.089	安山石	
117		2394630	54802150	95.22	VI		礎	2.9	2.38	1.25	1.11		
118		2395240	54803610	95.11	VB		礎	51.2	5.68	3.9	2.57		
119		2395620	54802840	95.14	VB		調片	7.7	3.161	2.752	1.197	現狀	
120		2396140	54802400	95.14	VB		礎	10.9	3.44	2.3	1.13		
121		2396170	54803790	95.11	VB		礎	24.3	4.66	2.69	1.68		
122		2396590	54803120	95.06	VB		調片	9.4	3.476	3.937	0.859	現狀	
123		2396600	54802960	95.12	VB		調片	42.76	6.571	2.946	2.792	現狀	
124		2396180	54802100	95.03	VB		礎	4.1	1.91	1.75	0.69		
125	14	2394660	54801260	95.15	VB	石橋		8.54	4.039	2.636	0.959	現狀	
126		2394330	54801470	95.03	VB		礎	1.8	2.13	1.36	0.64		
127		2394290	54801830	95.15	VB		調片	27.17	5.012	5.175	1.496		
128		2393740	54801860	95.12	VB		礎	151.3	7.51	5.7	3.51		
129		2393760	54801440	95.19	VB		礎	5.5	3.5	2.75	0.65		
130		2393610	54801330	95.12	VB		礎	98	7.1	3.75	3.41		
131		2393830	54801020	95.11	VB		礎	82.7	87	47.9	1.71		
132		2393740	54800820	95.02	VB	調片		107.44	9.754	6.413	2.362	現狀	
133		2393540	54800550	95.11	VB		礎	14.2	4.12	3.9	1.4		
134		2393130	54800740	95.2	VB	F	調片	2.39	3.029	1.647	0.392	現狀	

建物番号	納付番号	X 軸	Y 軸	標高	躯体	出注	部 種	重量 t	長 m	幅 m	厚 mm	石 材	備 考	
135		2303290	54801130	95.21	Ⅴ	Ⅴ	壁	2.6	1.86	1.79	0.01			
136		2303320	54801370	95.13	Ⅴ	Ⅴ	壁	12.9	4.57	4.95	2.63			
137		2303380	54801900	95.1	Ⅴ	Ⅴ	壁	0.6	1.58	1.32	0.42			
138		2302790	54801810	95.12	Ⅴ	Ⅴ	壁	5.88	3.267	2.222	1.053	現狀計		
139		2302660	54801640	95.01	Ⅴ	Ⅴ	壁	2.5	2.85	1.81	0.56			
140		2303550	54802650	95.07	Ⅴ	Ⅴ	床フラグメント	12.11	4.054	1.962	1.378	不明		
141		2303270	54802670	95.11	Ⅴ	Ⅴ	壁	1.5	1.65	1.59	0.5			
142		2301010	54804240	95.03	9	Ⅴ	調片	15.72	3.597	3.572	1.31	現狀計	159・165と接合	
143		2388860	54803510	95.22	Ⅴ	Ⅴ	壁	1.87	2.14	1.62	0.5			
144		2303560	54803340	94.88	Ⅴ	Ⅴ	壁	3.5	2.5	1.4	0.91			
145		2303550	54803410	95.05	Ⅴ	Ⅴ	調片	1.87	1.099	2.137	0.506	現狀計	初期調片	
146		2303270	54803710	95.06	Ⅴ	Ⅴ	壁	2	2.47	1.9	0.38			
147		2302960	54803990	95.05	Ⅴ	Ⅴ	壁	5.1	2.7	2.31	0.81			
148	22	47	2302790	54803630	95.09	2	Ⅴ	石積		3.588	3.573	1.244	現狀計	
149	22	50	2303570	54803340	95.01	2	Ⅴ	石積	28.7	5.24	3.75	1.27	現狀計	
150		2302330	54804420	95.07	Ⅴ	Ⅴ	調片	2.47	2.183	2.982	0.99	現狀計		
151	16	18	2301860	54805020	95.07	3	Ⅴ	調片	16.85	3.538	4.266	1.138	現狀計	
152		2301580	54805410	94.99	Ⅴ	Ⅴ	調片		2.259	2.594	0.981	現狀計		
153		2305430	54804960	95.06	Ⅴ	Ⅴ	調片	7.28	3.346	3.524	1.061	不明		
154		2306610	54805790	95.04	Ⅴ	Ⅴ	調片	2.52	3.068	1.208	0.613	現狀計		
155		2303710	54804380	95.02	Ⅴ	Ⅴ	調片	4.6	3.294	2.306	0.817	現狀計		
156		2303820	54804830	95.1	Ⅴ	Ⅴ	壁	10	3.37	3.13	0.83			
157	22	51	2303260	54805000	95.17	2	Ⅴ	調片	10.52	3.64	4.3	0.81	現狀計	
158		2303020	54805150	95.17	Ⅴ	Ⅴ	調片	2.88	2.407	2.365	0.613	サカイトか		
159		2302710	54805530	95.11	9	Ⅴ	調片	5.47	1.847	3.598	0.962	現狀計	142・165と接合	
160		2302390	54805910	95.05	Ⅴ	Ⅴ	F調片	2.43	3.145	2.061	0.451	現狀計		
161		2304210	54805280	95.13	Ⅴ	Ⅴ	壁	3.1	2.64	2.29	0.8			
162		2304000	54805250	95.32	Ⅴ	Ⅴ	調片	1.3	2.991	1.404	0.481	現狀計		
163		2303660	54805610	95.07	Ⅴ	Ⅴ	調片	7.47	2.565	3.454	0.826	現狀計		
164		2303110	54806060	95.12	Ⅴ	Ⅴ	壁	1.9						
165		2303010	54806000	95.11	Ⅴ	Ⅴ	調片	15.22	3.891	4.659	1.091	現狀計	142・159と接合	
166		2304180	54806390	95.13	Ⅴ	Ⅴ	調片	1.13	1.787	2.135	0.392	現狀計か		
167		2303760	54806630	95.02	Ⅴ	Ⅴ	壁	0.42	1.48	1.7	0.22			
168		2303100	54806660	95.02	Ⅴ	Ⅴ	Fナップ	0.25	1.385	0.982	0.253	現狀計		
169	20	42	2302570	54806660	95.07	Ⅴ	壁	60.15	6.177	3.32	2.157	砂石		
170	16	22	2301360	54806460	95.09	3	Ⅴ	調片	1.9	1.46	2.487	0.441	現狀計	
171		2304380	54807430	95.07	Ⅴ	Ⅴ	調片	1.06	2.001	1.891	0.301	現狀計		
172		2304410	54808360	95.1	Ⅴ	Ⅴ	調片	6.91	3.16	3.441	0.506	現狀計		
173		2304240	54807730	94.96	Ⅴ	Ⅴ	調片	14.05	4.059	3.296	1.013	現狀計		
174	22	49	2303800	54807480	95.04	2	Ⅴ	スクレーパー	23.52	4.75	3.862	1.517	現狀計	
175	16	16	2302320	54807220	95.08	3	Ⅴ	調片	16.07	4.413	4.707	0.993	現狀計	
176	16	17	2302280	54807280	95.05	3	Ⅴ	調片	15.4	3.903	4.475	1.103	現狀計	
177		2301940	54807290	95.1	Ⅴ	Ⅴ	ナップ	0.55	1.291	1.221	0.463	現狀計		
178a		2301890	54807320	95.09	Ⅴ	Ⅴ	Fナイフ形石器		3.254	2.53	0.854	現狀計		
178b	16	23			3	Ⅴ	調片	31.58	5.178	3.894	1.665	現狀計		
179	16	21	2302630	54807610	95.04	3	Ⅴ	調片	0.34	1.023	2.384	0.443	現狀計	
180	17	28	2301420	54807990	95.06	3	Ⅴ	石積	100.84	4.252	6.886	2.823	現狀計	
181	19	33	2301160	54808000	95.03	1	Ⅴ		146.5				現狀計	
182		2301150	54808240	95.07	Ⅴ	Ⅴ	加工痕ある調片	10.05	2.956	4.028	1.171	現狀計		
183	14	13	2300810	54808290	95.17	10	Ⅴ	角削伏石器	25.46	5.353	3.036	1.905	現狀計	184と接合
184	14	13	2300770	54808320	95.1	10	Ⅴ	角削伏石器	7.85	2.83	2.55	1.66	現狀計	183と接合
185	20	39	2300820	54807930	95.05	1	Ⅴ	石積	197.8	5.216	10.474	3.795	現狀計	66・192・200と接合
186		2300650	54807700	95.09	Ⅴ	Ⅴ	調片	13.05	3.252	4.331	1.511	現狀計		
187		2300460	54807570	95.06	11	Ⅴ	Ⅴ	3	2.364	2.868	0.51	現狀計	74と接合	
188	16	20	2300400	54807950	95.09	3	Ⅴ	F調片	30.07	3.765	3.374	1.703	現狀計	
189	20	37	2300000	54807400	95.05	1	Ⅴ	調片	51.41	6.254	4.26	1.768	現狀計	62・71・191他と接合
190		2300740	54807290	95.09	Ⅴ	Ⅴ	使用痕ある調片	9.85	3.375	4.076	1.379	現狀計か		
191	19	34	2301200	54807220	95.07	1	Ⅴ	調片	148.4	5.749	10.93	2.636	現狀計	71・189他と接合
192	20	40	2301100	54807300	95.07	1	Ⅴ	石積	252.61	8.175	9.491	2.935	現狀計	
193	16	24	2300830	54808350	94.99	3	Ⅴ	Ⅴ	6.9	2.71	3.79	0.812	現狀計	
194		2301800	54807860	95.01	Ⅴ	Ⅴ	Fナップ	1.11	2.22	1.44	0.47			
195		2301440	54807460	94.99	Ⅴ	Ⅴ	Fナップ	0.1	1.031	0.761	0.208	現狀計		
196		2301240	54807860	94.99	Ⅴ	Ⅴ	ナップ	0.37	1.153	1.338	0.229	現狀計		
197		2301240	54807860	94.98	Ⅴ	Ⅴ	調片	2.89	2.167	2.191	0.84	現狀計		
198	14	14	2300820	54807530	94.07	5	Ⅴ	Fナイフ形石器	7.9	3.27	2.514	0.872	現狀計	65と接合
199		2300620	54807700	94.98	Ⅴ	Ⅴ	壁	0.34	1.23	0.94	0.25			
200	19	36	2300590	54807760	94.97	1	Ⅴ	F調片	3.4	2.607	1.491	0.808	現狀計	66・192・185と接合
201		2300790	54807390	95	Ⅴ	Ⅴ	Fナップ	0.31	1.904	0.815	0.489	現狀計		

建物番号	棟号	X 軸	Y 軸	標高	躯体	出仕	部 種	重量 kg	長 mm	幅 mm	厚 mm	石 材	備 考	
202		2303710	54807230	94.98	Ⅴ		チップ	0.21	0.597	1.553	0.21	現狀		
203		2303220	54806620	94.92	Ⅴ			1.35	1.574	2.644	0.689	現狀		
204		2303220	54806140	95	4	Ⅴ	調片	7.09	3.616	3.809	0.778	現狀		
205		2303760	548060270	94.96	Ⅴ		調片	3.81	2.055	3.087	0.686	サマライト合		
206		2304060	54806450	94.98	Ⅴ		調片	4.87	3.737	2.209	0.678	現狀		
207		2303690	54805540	94.95	Ⅴ		チップ	0.94	2.555	1.08	0.222	現狀		
208		2302900	54805720	94.85	Ⅴ		チップ	0.59	1.145	1.646	0.3	現狀		
209		2302680	54806100	94.85	Ⅴ		Fチップ	0.94	1.975	0.975	0.59	現狀		
210		2302340	54805440	94.81	Ⅴ			12.3	4.6	27.5	0.79			
211		2302320	54805260	94.79	Ⅴ		調片	139.28	0.358	6.19	2.822	現狀		
212		2302340	54804980	98.98	Ⅴ			1.33						
213	22	52	2302740	54804940	94.93	2	縦長調片	12.27	5.89	2.71	1.2	現狀		
214			2301960	54804860	94.82	Ⅴ	Fチップ	0.55	0.999	1.579	0.408	現狀		
215			2301860	54805120	94.76	Ⅴ	Fチップ	0.33	0.973	1	0.535	現狀		
216			2302190	54804470	94.95	Ⅴ	調片	5.8	2.502	2.382	0.603	現狀		
217			2302020	54804510	94.81	Ⅴ		16.5						
218	22	46	2301940	54804390	94.8	2	石橋	94.95	6.55	6.24	2.5	現狀		
219			2301730	54804070	94.78	Ⅴ	調片	16.67	4.903	3.07	1.053	現狀		
220			2302660	54802580	94.8	Ⅴ	礎	4.4	3.97	2.18	0.6			
221			2303580	54802740	94.8	Ⅴ	礎	4.5	1.2	1.94	1.26			
222			2304710	54802280	94.76	Ⅴ	礎	1.5	1.38	0.99	0.97			
223	20	41	2305490	54802470	94.95	Ⅴ	石方	37.74	9.608	3.279	1.397	不明		
224			2305310	54806030	94.92	Ⅴ	礎	5.5	2.69	1.89	1.34			
225			2306620	54803540	94.87	Ⅴ	礎	6.2	2.49	2.12	0.78			
226			2306740	54802800	94.99	Ⅴ								
227			2304260	54801000	94.76	Ⅴ	礎	9.8	3.13	1.81	1.61			
228			2303420	54800680	94.85	Ⅴ	チップ	0.38	1.898	1.248	0.425	現狀		
229			2303110	54800700	94.8	Ⅴ	礎	13.6	3.9	2.21	1.73			
230			2303140	54800890	94.94	Ⅴ	礎	23.8	5.73	4.3	1.52			
231			2302750	54801340	94.84	Ⅴ	礎	11.6	3.44	2.98	1.24			
232			2302670	54801910	94.71	Ⅴ	礎	0.76	1.48	1.11	0.41			
233			2304440	54801160	94.82	Ⅴ	礎	55	10.5	7.71	5.9			
234			2304420	54801530	94.75	Ⅴ	礎	121.5	6.89	5.78	2.88			
235			2302500	54803880	94.81	Ⅴ	礎	20	9.47	6.62	2.41			
236			2302100	54803960	94.76	Ⅴ	礎	50	11.11	7.61	4.16			
237			2301440	54804460	94.78	Ⅴ	礎	35	1.68	6.45	4.95			
238			2301240	54805000	94.81	Ⅴ	礎	114.6	8.77	6.53	1.64			
239			2302340	54805500	94.76	Ⅴ	礎	65	10.6	8.2	6.2			
240			2303800	54808110	94.75	Ⅴ	調片	14	6.287	3.198	0.896	現狀		
241	22	48	2303190	54807590	94.74	2	調片	20.55	5.28	3.22	1.41	現狀		
242			2302950	54807080	94.76	Ⅴ	ナイフ形石器	4.46	2.294	2.547	0.729	現狀		
243			2302970	54806960	94.79	Ⅴ	Fチップ	0.11	0.824	0.978	0.146	現狀		
244			2303040	54806670	94.72	4	調片	8.98	4.328	3.105	0.946			
245			2302960	54806640	94.7	Ⅴ	礎	1.4	1.49	1.39	0.7			
246			2303220	54806390	94.72	Ⅴ	チップ	0.83	1.535	1.41	0.302	現狀		
247			2303460	54806540	94.77	Ⅴ	礎	0.4	1.34	0.64	0.5			
248			2303550	54806400	94.81	Ⅴ	チップ	0.23	1.142	1.199	0.219	現狀		
249			2303820	54806130	95.39	Ⅴ	Fチップ	0.37	0.992	1.175	0.453	現狀		
250			2303810	54806450	94.82	Ⅴ								
251			2303740	54806890	94.75	Ⅴ		80.67	7	58	1.67			
252			2303890	54806990	94.76	Ⅴ	Fチップ	1.29	1.752	1.326	0.601	現狀		
253			2303900	54807130	94.73	Ⅴ	チップ	0.17	1.126	1.08	0.16	現狀		
254			2303250	54805810	94.76	Ⅴ	F調片	1.96	2.322	1.664	0.403	現狀		
255			2303280	54805950	94.73	6	Ⅴ	石橋	53.67	5.029	4.353	2.715		259と接合
256			2303360	54806000	94.76	Ⅴ	調片	5.16	2.655	3.355	0.919			
257			2303400	54805970	94.48	4	Ⅴ	Fチップ	0.12	0.652	0.961	0.202	現狀	
258			2303590	54805860	94.77	Ⅴ	チップ	0.19	0.729	1.467	0.138	現狀		
259			2303600	54805940	94.72	6	Ⅴ	ナイフ形石器	2.078	1.737	0.315		現狀	255と接合
260			2303740	54804940	94.7	Ⅴ	礎	0.3	1.1	0.8	0.29			
261			2303190	54802430	94.71	Ⅴ	礎	6.4	2.93	2.16	1.9			
262	21	43	2306140	54803110	94.7	Ⅴ	縦石	210.35	6.807	6.794	2.881	不明		
263			2303480	54806060	94.76	Ⅴ	調片	1.69	2.224	2.009	0.63	現狀		
264						Ⅴ	調片			3.372	4.834	2.412	現狀	
265	21	44				Ⅴ	石橋	53.5	3.6	4.1	3.7	現狀		

総合 (集)	R1No.6 + R1No.16 + R1No.18	総合	No.7 + No.81 + No.47
	R1No.19 + R1No.22 + R1No.20		No.188 + No.151 + No.79 + No.178 + No.176 + No.180 + No.175 + No.8 + 103 + No.170
総合	No.74 + No.187		
	No.120 + No.121 + No.118 + No.6		
	No.48 + No.49		

表3 原田第1遺跡 2区遺物観察表

遺物番号	検出番号	文 相	Y 軸	標高	編年	出 土 層	器 種	重量 g	長 mm	幅 mm	厚 mm	石 材	備 考
1		2413870	54808940	95.33	VI	剥片		16.43	4.202	4.366	0.902	流紋岩	
2		2411100	54809260	95.38	VI	鏢		15.00	8.38	5.32	3.69		
3		2410960	54809040	95.21	VI	板長剥片		15.87	5.068	2.365	0.918	流紋岩	
4		2414170	54808380	95.03	VI	剥片		10.65	2.633	3.473	1.013	流紋岩	
5		2414240	54804640	95.02	VI	F剥片		1.52	1.441	2.679	0.328	流紋岩	
6		2414230	54804600	95.01	VI	F剥片		0.48	1.291	2.253	0.194	流紋岩	
7		2414620	54803900	94.95	VI	F剥片		2.57	1.346	3.2	0.49	流紋岩	
8		2415030	54803240	94.87	VI			1.05	2.09	1.58	0.517	流紋岩	
9		2417200	54802420	94.82	VI	チップ		0.37	1	1.278	0.308	流紋岩	
10		2414860	54802420	94.85	18	VI	F剥片	1.70	3.672	2.326	0.324	流紋岩	総合A
11		2414650	54802440	94.84	VI			3.53	4.44	0.9	0.52		
12		2414450	54802430	94.84	VI	横長剥片		9.29	2.83	4.954	0.523	流紋岩	
13		2413960	54803140	94.93	VI			0.31	1.948	1.092	0.225	S15流紋岩	
14		2413290	54802410	94.97	VI	F剥片		0.91	1.56	2.363	0.265	流紋岩	
15		2413310	54803070	95.01	VI	ナイフ形石器		0.53	1.662	1.147	0.256	流紋岩	
16		2413030	54803320	95.03	VI	チップ		282.44	0.79	1.119	0.172	流紋岩	
17		2412970	54804100	95.04	16	VI	F剥片	11.19	3.583	3.431	1.175	流紋岩	210・216と総合
18		2413070	54804610	95.04	VI			3.00	9.97	0.9	3.55		
19		2412750	54804370	95.06	VI			0.15	1.116	0.812	0.103	流紋岩	
20		2412590	54804160	95.07	VI	剥片		12.05	4.358	4.164	0.941	流紋岩	
21		2412600	54804340	95.05	VI	剥片		7.68	3.523	2.399	1.265	流紋岩	
22		2412400	54803050	95.03	VI	鏢		50.00	8.71	0.9	5.45		
23		2412300	54801950	94.99	VI			0.20	1.276	0.906	0.193	流紋岩	
24		2412100	54803090	95.09	VI	剥片		5.47	3.085	2.64	1.044	流紋岩	
25		2412030	54803870	95.07	18	VI		4.50	4.41	1.586	0.547	流紋岩	総合B
26		2412340	54804480	95.1	VI	鏢		7.00	162	0.9	3.8		
27		2411760	54804660	95.12	VI	剥片		15.40	3.808	3.827	0.965	流紋岩	
28		2411580	54803580	95.06	VI			143.02					
29		2411220	54801620	95.03	VI	鏢		8.32	2.015	2.03	1.236		
30		2410510	54802460	95.07	VI	鏢		1.00	1.64	1.55	0.32		
31		2411120	54805160	95.1	VI	鏢		21.10	5.61	3.28	1.3		
32		2410630	54805390	95.16	VI			0.93	1.384	1.554	0.405	流紋岩	
33		2410560	54805540	95.18	VI	鏢		4.20	3.1	2.56	0.56		
34		2411160	54809160	95.02	VI	鏢		1.60	1.58	1.2	1.12		
35		2409960	54809550	95.04	VI	U剥片		9.96	4.954	2.887	1.011	流紋岩	
36		2409620	54808550	95.05	VI	剥片		21.42	4.082	3.907	1.307	流紋岩	
37		2409280	54809140	95.1	VI			0.40	1.043	1.022	0.319	流紋岩	
38		2409170	54809700	95.03	VI	剥片		10.92	4.284	4.511	0.848	流紋岩	
39		2408880	54808600	95.13	VI	鏢		80.00	18	4.45	4.33		
40		2408460	54809580	95.16	VI	鏢		2.50	1.932	2.858	0.44	不明	
41		2409920	54805150	95.05	VI	剥片		13.14	3.087	2.968	1.697	チップ	
42		2409770	54805690	95.09	VI	F剥片		7.88	3.889	3.911	0.751	流紋岩	
43		2409620	54805660	95.05	VI	剥片		3.49	2.414	3.289	0.747	流紋岩	
44		2409430	54804750	95.19	VI	剥片		1.40	3.094	2.941	0.234	流紋岩	
45		2409230	54804510	95.2	VI			1.90	2.2	1.5	0.55		
46		2408990	54804240	95.17	VI			1.20	2.12	1.65	0.37		
47		2408890	54803850	95.15	VI	剥片		2.36	2.618	2.8	0.371	流紋岩	7・81と総合
48		2408710	54804080	95.15	VI			0.70	1.26	1.32	0.63		
49		2408680	54804740	95.08	13	VI		7.84	1.319	2.44	0.553	流紋岩	377と総合
50		2407980	54805220	95.08	VI			0.50	1.44	0.79	0.45		
51		2408900	54803250	95.13	VI	ナイフ形石器		0.60	2.078	0.79	0.547	流紋岩	破損
52	27	61	2409660	54802800	95.14	VI	石刃	11.37	6.137	2.019	0.945		
53			2408750	54802600	95.15	VI	剥片	2.62	2.259	2.017	0.823	流紋岩	
54			2408540	54801900	95.11	VI	鏢	5.20	2.7	2.24	1.14		
55			2408190	54801670	95.1	VI	F剥片	1.11	1.638	1.421	0.522	流紋岩	
56	27	53	2408230	54801260	95.08	VI	ナイフ形石器	4.00	4.676	1.379	0.602	流紋岩	
57			2408160	54801200	95.07	VI	石殻	0.07					

建物の番号	納品番号	X 軸	Y 軸	標高	部材	出注	部 種	重量 kg	長 mm	幅 mm	厚 mm	石 材	備 考
58		2408390	54802490	94.99	Ⅴ	Ⅴ	F 調片	1.66	1.151	1.646	0.774	現成石	
59		2408840	54803020	95.02	Ⅴ	Ⅴ	調片	1.04	1.661	1.762	0.405	現成石	
60		2408680	54803040	94.99	Ⅴ	Ⅴ	縦長調片	1.17	2.016	1.429	0.228	現成石	
61		2408720	54803800	94.78	Ⅴ	Ⅴ	トップ	0.18	1.021	1.027	0.208	現成石	
62		2408510	54804040	94.96	Ⅴ	Ⅴ	調片	7.58	4.826	3.488	0.601	現成石	
63		2408600	54804040	94.98	Ⅴ	Ⅴ	調片	2.12	1.505	2.288	0.766	現成石	接合
64		2409260	54803450	94.96	Ⅴ	Ⅴ	調片						
65		2409280	54804400	95.11	Ⅴ	Ⅴ	トップ	0.06	1.242	0.43	0.112	現成石	
66		2409170	54804040	95.03	Ⅴ	Ⅴ	トップ	0.98	2.236	1.773	0.417	現成石	
67		2409480	54805570	94.97	Ⅴ	Ⅴ	調片		5.32	3.75	1.09		
68		2409270	54806020	94.98	Ⅴ	Ⅴ	F 調片	3.84	2.229	2.12	1.489	現成石	
69		2410090	54809540	94.9	Ⅴ	Ⅴ	調片	19.79	4.604	3.146	1.726	現成石	
70		2410180	54809630	94.85	Ⅴ	Ⅴ	石笄	3.36	3.739	1.26	0.709	現成石	
71		2411720	54808290	94.86	Ⅴ	Ⅴ	調片	4.82	3.841	1.833	0.835	現成石	
72		2411440	54807020	94.88	Ⅴ	Ⅴ	トップ	0.93	1.877	1.868	0.445	現成石	
73		2411380	54807710	94.88	Ⅴ	Ⅴ	縦長調片	2.81	3.125	1.956	0.487	現成石	
74		2411150	54807580	94.9	Ⅴ	Ⅴ	調片	9.35	4.642	2.327	0.933	現成石	
75		2410690	54806810	94.96	Ⅴ	Ⅴ	調片	4.04	1.819	3.257	1.026	現成石	
76		2410350	54806450	95.07	Ⅴ	Ⅴ	調片						
77		2411040	54805940	95.01	Ⅴ	Ⅴ	調片	2.00	1.74	1.77	0.46		
78		2410380	54805500	94.97	Ⅴ	Ⅴ	F 調片	0.89	1.547	1.636	0.37	現成石	
79		2409940	54804770	94.94	Ⅴ	Ⅴ	調片						
80		2410160	54804240	94.99	Ⅴ	Ⅴ	トップ	0.11	0.997	0.92	0.208	現成石	
81		2409750	54803680	95	Ⅴ	Ⅴ	調片		12.30				
82		2409900	54803600	95.01	Ⅴ	Ⅴ	調片	0.19	1.265	1.065	0.154	現成石	
83		2409810	54803210	95.01	Ⅴ	Ⅴ	調片	2.7	2.9	1.4	0.99		
84		2409790	54802860	94.95	Ⅴ	Ⅴ	切揃調片	6.77	2.824	2.996	0.603	現成石	
85		2410020	54803070	95.06	Ⅴ	Ⅴ	調片						
86		2410080	54803140	95.02	Ⅴ	Ⅴ	縦割準調片	6.02	3.203	1.695	1.16	不明	
87		2410390	54803050	94.92	Ⅴ	Ⅴ	トップ	2.42	1.858	1.861	1.082	現成石	
88		2410310	54802540	94.97	Ⅴ	Ⅴ	トップ	0.27	1.229	1.418	0.19	現成石	
89		2410480	54802700	94.97	Ⅴ	Ⅴ	調片	14.27	3.626	4.411	1.143	現成石	+
90		2410560	54802270	94.99	Ⅴ	Ⅴ	調片						
91		2410630	54802970	95.08	Ⅴ	Ⅴ	調片						
92		2410960	54802820	94.92	Ⅴ	Ⅴ	調片						
93		2411080	54802810	94.93	Ⅴ	Ⅴ	調片	24.22	5.368	4.301	1.116	現成石	+
94		2410800	54804250	95.09	Ⅴ	Ⅴ	調片	0.25	1.776	0.671	0.215	現成石	
95		2411350	54804270	94.98	Ⅴ	Ⅴ	トップ	0.45	1.408	0.869	0.378	現成石	
96		2411510	54804990	94.93	Ⅴ	Ⅴ	縦長調片	7.57	4.58	2.283	0.724	現成石	
97		2411680	54805000	95.05	Ⅴ	Ⅴ	調片						
98		2411560	54803940	94.91	Ⅴ	Ⅴ	調片	6.55	3.401	2.835	0.877	現成石	
99		2411770	54803150	94.97	Ⅴ	Ⅴ	調片	5.40	3.58	1.99	0.72		
100		2411950	54802490	95.02	Ⅴ	Ⅴ	調片						
101		2411690	54802030	94.97	Ⅴ	Ⅴ	調片	1.83	1.038	3.167	0.679	現成石	
102		2411610	54801160	94.96	Ⅴ	Ⅴ	調片	26.60	3.54	1.927	3.056	現成石	
103		2410930	54801130	94.98	Ⅴ	Ⅴ	調片	31.69	5.141	3.124	1.917	現成石	
104		2412300	54803430	95.04	Ⅴ	Ⅴ	調整トップ	0.29	1.012	0.997	0.25	現成石	
105		2412350	54804280	94.95	Ⅴ	Ⅴ	調片	0.07	0.74	0.72	0.13		
106		2412940	54802760	95	Ⅴ	Ⅴ	F 調片	0.72	1.632	1.916	0.236	現成石	
107		2413160	54802820	94.91	Ⅴ	Ⅴ	調片	4.57	2.393	2.824	0.74	現成石	
108		2412870	54803800	94.99	Ⅴ	Ⅴ	ナイフ形石部	1.59	2.041	1.592	0.593	現成石	縦割
109		2413040	54804210	94.97	Ⅴ	Ⅴ	調片	28.40	5.549	5.179	1.635	現成石	
110		2413250	54804200	94.96	Ⅴ	Ⅴ	調片	0.18	1.236	1.228	0.098	現成石	
111		2413560	54804340	94.99	Ⅴ	Ⅴ	F 調片	0.32	1.163	1.821	0.19	現成石	
112		2413460	54803670	94.95	Ⅴ	Ⅴ	調片	5.93	5.133	2.219	0.771	現成石	
113		2413490	54803290	94.95	Ⅴ	Ⅴ	F 調片	1.29	2.22	1.28	0.683	現成石	
114		2413800	54803860	94.96	Ⅴ	Ⅴ	ナイフ形石部	0.72	2.225	0.892	0.393	現成石	
115		2414160	54804380	94.93	Ⅴ	Ⅴ	調片						
116		2414420	54803990	94.94	Ⅴ	Ⅴ	トップ	0.47	1.258	1.829	0.173	現成石	
117		2414670	54802860	94.83	Ⅴ	Ⅴ	トップ	0.22	1.931	0.611	0.45	現成石	
118		2417560	54804680	94.73	Ⅴ	Ⅴ	調片	17.46	5.889	4.658	0.788	現成石	接合 A
119		2417180	54804590	94.67	Ⅴ	Ⅴ	調片	11.62	3.817	3.142	0.912	現成石	接合 A
120		2415430	54803300	94.68	Ⅴ	Ⅴ	F 調片	17.44	4.868	3.438	1.219	現成石	接合 B
121		2415180	54803740	94.79	Ⅴ	Ⅴ	調片	2.91	3.213	1.51	0.437	現成石	
122	37	110	2415120	54803760	94.8	Ⅴ	調片	28.02	4.766	5.816	1.477	現成石	
123		2414980	54803620	94.86	Ⅴ	Ⅴ	調片	9.10	2.89	1.56	1.3		
124		2414750	54802870	94.79	Ⅴ	Ⅴ	トップ	0.70	1.63	1.85	0.2		接合 A
125		2414250	54802850	94.78	Ⅴ	Ⅴ	トップ	0.36	1.089	1.478	0.281	現成石	

建物番号	棟号	X 軸	Y 軸	標高	躯体	出注	部 種	重量 kg	長 mm	幅 mm	厚 mm	石 材	備 考
126	27	59	2414430	54803140	94.82	Ⅷ	ナイフ形石部	2.45	3.395	1.574	0.538	現狀	
127	29	71	2414560	54803460	94.74	20	Ⅷ 調片	82.04	99.3	4.342	1.31	現狀	接合
128			2414600	54804100	94.72	Ⅷ	F 調片	1.02	2.023	1.774	0.318	現狀	
129			2414290	54804160	94.72	Ⅷ	調片	4.07	3.112	1.594	0.85	現狀	
130			2414160	54803920	94.74	17	Ⅷ	38.85	5.945	5.349	1.633	現狀	148と接合
131	30	78	2413770	54804660	94.75	19	Ⅷ 調片	82.71	8.865	4.816	1.746	現狀	初期調片
132			2413960	54804120	94.69	Ⅷ	調片	18.19	3.423	4.687	1.003	現狀	
133	30	79	2413780	54804140	94.8	19	F 調片	1.69	1.557	1.74	0.691	現狀	接合 A
134			2413770	54804100	94.71	Ⅷ	トップ	1.52	2.412	1.62	0.405	現狀	
135			2413810	54804040	94.72	Ⅷ	F 調片	3.01	2.398	2.451	0.503	現狀	
136			2413740	54803940	94.71	Ⅷ	F 調片	1.35	1.377	1.916	0.479	現狀	
137			2413800	54803880	94.74	Ⅷ	調片	2.84	2.319	2.885	0.511		
138			2413880	54803690	94.73	Ⅷ	調片	1.06	2.539	1.615	0.267	現狀	
139			2413810	54803630	94.73	15	F 調片	8.99	3.492	4.302	0.782	現狀	接合
140			2413720	54803700	94.75	Ⅷ	F 調片	3.57	2.047	2.847	0.616	現狀	
141			2413690	54803610	94.75	Ⅷ	F 調片	1.04	2.208	2.004	0.229	現狀	
142			2413910	54803560	94.81	Ⅷ	調片	15.72	5.259	4.981	0.816	現狀	
143/1			2414020	54803390	94.77	Ⅷ	調片	5.08	3.952	3.374	0.637	現狀	
143/2			2414020	54803390	94.77	Ⅷ	F 調片		1.208	2.013	0.282	現狀	
144			2413910	54803390	94.72	Ⅷ	調片	10.02	4.03	3.8	0.996	現狀	
145			2413920	54803250	94.72	Ⅷ	加工鉄ある調片	22.99	4.925	4.577	1.038	現狀	
146			2413940	54803030	94.79	Ⅷ	トップ	0.63	1.793	0.979	0.368	現狀	
147			2413940	54802990	94.76	Ⅷ	調片	3.99	2.647	2.785	0.567	現狀	
148			2413620	54802520	94.72	17	Ⅷ 調片	11.87	4.177	3.991	1.181	現狀	130と接合
149			2413420	54802460	94.76	Ⅷ		11.00	3.1	2.2	1.71		
150			2413360	54803290	94.73	18	Ⅷ	32.36	7.026	3.46	1.758	現狀	接合 B
151			2413310	54803670	94.85	Ⅷ		0.60			0.5		
152			2413140	54803840	94.72	Ⅷ		0.50	1.71	1.6	0.33		
153/1			2413270	54803990	94.76	Ⅷ	F 調片	0.74	1.802	1.873	0.319	現狀	
153/2			2413270	54803990	94.76	Ⅷ	F 調片	1.509	1.329	0.401	現狀		
						Ⅷ	F 調片	0.29	1.04	0.983	0.317	現狀	
154			2413310	54804390	94.73	Ⅷ	調片	29.94	6.107	4.881	1.671	現狀	
155	29	72	2413290	54804740	94.74	20	Ⅷ 調片	24.67	5.002	4.445	1.129	現狀	127と接合
156			2413180	54804590	94.85	Ⅷ	調片	15.90	4.763	4.117	1.76	現狀	
157			2413160	54804550	94.85	Ⅷ	F 調片	0.85	1.472	1.505	0.294	現狀	
158	28	62	2412950	54803960	94.83	Ⅷ	石方	2.47	3.507	1.705	0.385	現狀	
159	30	81	2412990	54802890	94.73	19	Ⅷ トップ	73.45	5.875	7.235	1.762	現狀	接合 A
160			2412960	54802560	94.73	Ⅷ	調片	17.28	4.501	4.336	0.942	現狀	
161			2412800	54801200	94.78	Ⅷ	石橋	50.88	4.67	5.098	2.662	現狀	
162			2412420	54801260	94.69	Ⅷ	礎	75.00	11.01	8.18	7.83		
163			2412280	54802460	94.78	Ⅷ	調片	1.97	2.464	2.495	0.322	現狀	
164			2412120	54802550	94.8	Ⅷ	F 調片	11.90	3.653	3.541	1.377	現狀	
165			2412510	54803030	94.69	Ⅷ	調片	13.61	5.088	2.531	1.247	現狀	
166			2412260	54803100	94.8	Ⅷ	加工鉄ある調片	4.08	3.168	2.22	0.740	現狀	
167			2412640	54803560	94.84	Ⅷ	F 調片	38.82	5.449	4.408	1.447	現狀	
168	30	83	2412590	54803750	94.82	19	Ⅷ F 調片	5.21	2.431	3.469	0.588	現狀	接合 A
169			2412630	54803850	94.82	Ⅷ	調片	7.53	2.978	4.015	1.383	現狀	
170			2412150	54804630	94.73	Ⅷ	礎	10.00	4.65	4.59	3.59		
171			2412160	54804660	94.63	Ⅷ	段石	400.80	9.081	8.418	3.372		
172			2412280	54804690	94.89	Ⅷ	F 調片	6.38	2.431	3.114	0.972	現狀	
173	37	107	2412620	54804890	94.68	Ⅷ	縦長調片	23.35	7.523	4.128	1.138	現狀	
174	30	84	2412710	54804700	94.76	19	Ⅷ 調片	23.62	5.465	4.467	0.992	現狀	
175	27	60	2412910	54804740	94.83	Ⅷ	ナイフ形石部	10.51	3.56	3.032	0.818	取手兼床	
176			2416590	54810230	94.96	Ⅷ	調片	0.73	2.392	1.322	0.203	現狀	
177			2416260	54809230	94.74	Ⅷ	ナイフ形石部	3.80	3.299	1.7	0.69	現狀	
178			2415950	54909260	94.66	Ⅷ	調片	1.22	2.502	1.112	0.445	現狀	
179			2415750	54809160	94.76	Ⅷ	F 調片	2.42	2.671	1.579	0.873	現狀	
180			2415220	54808900	94.64	Ⅷ	F 調片	1.62	2.489	1.18	0.641	現狀	
181			2412670	54807790	94.62	Ⅷ	礎	30.70	3.39	2.96	1.78		
182			2412620	54807670	94.69	Ⅷ	U-調片	82.13	6.787	7.589	1.925		
183			2411570	54807770	94.77	Ⅷ	調片	5.88	3.06	2.798	1.027	現狀	
184			2411410	54807340	94.68	Ⅷ	調片	10.44	3.072	3.708	1.214	現狀	
185			2411400	54807290	94.77	Ⅷ	調片	1.17	1.932	1.15	0.462	現狀	
186			2411230	54807430	94.75	Ⅷ	調片	2.01	2.474	1.319	0.552	現狀	
187	33	90	2411220	54807540	94.76	Ⅷ	石橋	119.94	6.017	6.628	2.953	現狀	
188			2411110	54808260	94.7	Ⅷ	調片	8.66	3.431	2.728	1.161	現狀	
189			2411040	54808280	94.71	Ⅷ	礎	4.50	2.24	1.6	1.13		
190			2410760	54807490	94.85	Ⅷ	U-調片	29.60	4.357	4.305	1.274	現狀	

建物番号	棟号	X 軸	Y 軸	標高	躯体	出注	部 種	重量	長 径	幅 径	厚 径	石 材	備 考	
191		2400350	5480430	94.76	Ⅴ		調片	9.33	3.848	2.442	0.865	流紋岩		
192		2400260	5480640	94.76	Ⅴ		調片	34.61	2.223	1.763	0.254	流紋岩		
193		2408570	54804620	94.87	Ⅴ		F調片	26.21	3.475	1.765	0.774	流紋岩		
194		2408700	54804530	94.77	Ⅴ	12	F調片	2.75	2.442	2.332	0.575	流紋岩	63・342と接合	
195		2410100	54805140	94.71	Ⅴ		Ⅴ	146.40	6.9	5.3	3.18	凝石・		
196		2410200	54804920	94.75	Ⅴ		Ⅴ							
197	27	54	2410610	54805130	94.77	Ⅴ	ナイフ形石器	4.03	4.155	1.214	0.692	流紋岩	先端破損	
198		2410570	54804340	94.74	Ⅴ		Ⅴ							
199		2410710	54804280	94.6	Ⅴ		Ⅴ	0.34	1.23	1.94	0.25			
200		2410700	54804050	94.83	Ⅴ		調片	0.84	1.45	1.977	0.491	流紋岩		
201		2410840	54804200	94.82	Ⅴ		Ⅴ	7.20	2.91	2.62	0.82			
202		2411070	54804200	94.71	Ⅴ		調片	1.22	1.799	1.816	0.502	流紋岩		
203		2411360	54803820	94.68	Ⅴ		Ⅴ	10.50	5.26	2.92	0.77			
204	31	88	2411700	54803960	94.68	19	Ⅴ	96.57	7.574	4.334	2.479	流紋岩		
205		2411160	54803280	94.82	Ⅴ		Ⅴ	9.40	3.43	2.61	0.74			
206		2410940	54803490	94.71	Ⅴ		Ⅴ	7.20	4.6	2.18	0.65			
207		2410770	54803430	94.69	Ⅴ		調片	7.89	2.794	3.536	1.07	流紋岩		
208		2411000	54803320	94.8	Ⅴ		調片	1.22	2.068	1.594	0.377	流紋岩		
209		2410960	54803200	94.88	Ⅴ		Ⅴ	2.20	2.57	1.76	0.69			
210		2411960	54803030	94.78	16	Ⅴ	F調片	12.30	3.585	4.419	0.920	流紋岩	17・216と接合	
211		2411760	54801720	94.72	Ⅴ		調片	17.82	4.636	2.428	1.285	流紋岩		
212		2411440	54802290	95.86	14	Ⅴ	調片	1.33	2.33	1.653	0.533	流紋岩	302と接合	
213		2411360	54802540	94.66	Ⅴ		Ⅴ	5.18	3.449	2.303	0.784	流紋岩		
214	37	106	2411060	54802540	94.8	Ⅴ	加工部ある調片	21.73	7.073	4.012	1.882	流紋岩		
215		2410900	54802360	94.67	Ⅴ		Ⅴ	156.30	8.78	4.7	3.68			
216		2410830	54802570	94.7	16	Ⅴ	F調片	25.31	5.322	3.736	1.21	流紋岩	17・210と接合	
217.1		2410700	54801060	94.8	Ⅴ		調片	4.01	2.3	3.137	0.607	流紋岩		
217.2		2410700	54801060	94.8	Ⅴ		調片		1.928	2.672	0.976	流紋岩		
218		2400360	54801220	94.79	Ⅴ		ナイフ形石器	1.50	2.81	1.123	0.636	流紋岩		
219	28	64	2400290	54801040	94.77	Ⅴ	調片	12.69	4.328	4.047	1.027	チャート		
220	37	108	2408830	54801010	94.84	Ⅴ	サイド・スタレーパー	47.61	7.168	4.817	1.586	流紋岩		
221		2408370	54800190	94.79	Ⅴ		調片	4.87	3.702	2.431	0.846	流紋岩		
222		2407740	54800250	94.94	Ⅴ		調片	2.80	1.096	2.84	0.506	流紋岩		
223		2407770	54800590	94.97	Ⅴ		調片	11.59	4.521	2.366	1.454	流紋岩		
224		2408050	54803220	94.9	Ⅴ		Ⅴ							
225		2408340	54803250	94.81	Ⅴ		U調片	14.89	5.774	3.194	1.115	流紋岩		
226		2408260	54803400	94.91	Ⅴ		F調片	1.64	2.934	2.358	0.25	流紋岩		
227	29	75	2408210	54803700	94.77	22	F調片	2.08	2.43	1.915	0.396	流紋岩		
228	36	102	2408640	54803990	94.77	23	Ⅴ	ナップ	0.37	1.598	1.182	0.288	流紋岩	
229	36	101	2408680	54803810	94.77	23	F調片	0.41	2.227	0.993	0.19	流紋岩		
230	36	100	2408760	54803790	94.86	23	Ⅴ	調片	1.06	1.947	1.639	0.523	流紋岩	
231	36	103	2408830	54803560	94.91	23	Fナイフ形石器	2.82	2.76	1.658	0.566	流紋岩	接合	
232	36	103	2408940	54803650	94.9	23	Fナイフ形石器	6.55	3.87	2.793	0.488	流紋岩		
233		2408980	54803290	94.78	Ⅴ		調片	6.19	2.76	3.92	0.812	流紋岩		
234		2409120	54802960	94.92	Ⅴ		調片	14.21	5.014	2.926	0.808	流紋岩		
235		2410110	54802640	94.89	Ⅴ		F調片	1.29	2.057	1.383	0.457	流紋岩		
236		2410290	54802630	94.7	Ⅴ		Ⅴ	173.10	9.52	5.83	3.64			
237		2410260	54802800	94.67	Ⅴ		Ⅴ	277.80	6.93	7	4.19			
238		2410370	54803160	94.82	Ⅴ		Ⅴ	19.70	4.26	2.84	1.46			
239		2410130	54803270	94.74	Ⅴ		Ⅴ	7.69	2.531	3.788	0.793	流紋岩		
240		2410100	54803470	94.74	Ⅴ		Ⅴ	36.40	4.68	3.97	1.59			
241		2410000	54803550	94.74	15	Ⅴ	F調片	2.81	1.945	3.128	0.441	流紋岩	接合	
242		2409770	54803590	94.94	Ⅴ		Ⅴ	4.46			0.74			
243	28	68	2410380	54803950	94.78	21	Ⅴ	調片	13.71	3.45	3.65	1.092	流紋岩	287と接合
244		2409920	54804130	94.9	Ⅴ		Ⅴ	0.65	1.845	1.503	0.248	流紋岩		
245		2409470	54804070	94.9	Ⅴ		Ⅴ	19.80	3.6	3.09	1.33			
246		2415100	54803300	94.62	Ⅴ		Ⅴ	0.19	1.08	0.56	0.18			
247		2415100	54802800	94.69	Ⅴ		Ⅴ	2.80	2.841	2.483	0.407	流紋岩		
248		2414540	54803340	94.64	Ⅴ		F調片	3.84	3.667	1.399	0.679	流紋岩		
249		2413350	54801960	94.65	Ⅴ		調片	2.25	2.009	2.223	0.624	流紋岩		
250		2413840	54802860	94.65	Ⅴ		切断調片	4.28	3.793	1.276	0.607	流紋岩		
251		2413930	54803050	94.73	Ⅴ		F調片	0.18	1.397	0.643	0.185	流紋岩		
					Ⅴ		石核		6.036	6.975	1.812	流紋岩		
252		2414020	54803310	94.67	Ⅴ		Ⅴ							
253	29	76	2414050	54803550	94.64	22	F調片	1.15	2.919	2.77	0.645	流紋岩		
254		2414010	54803610	94.67	Ⅴ		ナップ	0.11	0.798	0.96	0.14	流紋岩		
255		2413890	54803600	74.71	Ⅴ		調片	3.79	3.037	4.167	0.274	流紋岩		
256		2413810	54803600	94.7	Ⅴ		Ⅴ	4.28	2.84	2.64	0.69			

建物番号	棟号	X 軸	Y 軸	標高	躯体	出注	部 種	重量 g	長 m	幅 m	厚 mm	石 材	備 考	
257		2413790	54803520	94.66	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	0.27	1.421	1.309	0.15	現成石		
258		2413660	54803640	94.73	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	1.49	1.864	1.746	0.812	現成石		
259		2413660	54803850	94.68	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	0.38	1.355	1.519	0.301	現成石		
260		2413820	54803840	94.68	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	3.09	2.95	2.548	0.523	現成石		
261	31	87	2413810	54803910	94.72	19	Ⅲ	横筋鋼片	23.63	4.021	6.205	1.354	現成石	接合 B
262			2413850	54803940	94.64	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	210.35	1.12	1.457	0.41	現成石	
263			2413990	54803780	94.66	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	0.32	1.06	1.218	0.322	現成石	
264			2414090	54803990	94.7	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	18.36	4.518	5.091	1.186	現成石	
265			2413860	54804180	94.69	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	4.36	3.631	3.103	0.621	現成石	
266	28	66	2414000	54804300	94.62	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	194.30	6.012	5.225	4.604	角閃石(東山石)	
267			2413880	54804180	94.8	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	0.41	1.096	1.587	0.248	現成石	
268			2413790	54804190	94.64	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	1.56	3.007	1.651	0.392	現成石	
269	29	73	2413790	54804120	94.69	22	Ⅲ	Ⅰ	1.08	2.296	0.89	0.783	現成石	
270			2413740	54804120	94.7	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	0.32	1.537	0.832	0.235	現成石	
271			2413660	54804200	94.65	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	0.36	0.803	1.512	0.329	現成石	
272			2413990	54804260	94.66	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	2.43	2.475	2.707	0.612	現成石	
273	31	85	2413400	54804200	94.64	19	Ⅲ	Ⅰ	32.23	4.849	4.731	1.664	現成石	
274	30	80	2413470	54804040	94.68	19	Ⅲ	Ⅰ	2.20	0.605	2.244	0.692	現成石	
275			2413430	54803800	94.63	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	1.48	2.932	1.037	0.603	現成石	
276			2413350	54803720	94.59	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ						
277	30	82	2416270	54803890	94.62	19	Ⅲ	Ⅰ	15.41	3.76	4.581	1.306	現成石	接合 B
278			2413150	54803800	94.7	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	0.19	1.723	0.404	0.274	現成石	
279			2413160	54804010	94.66	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	0.16	1.185	0.702	0.21	現成石	
280			2413130	54804190	94.61	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	172.70	7.2	5.9	2.7		
281			2413230	54804110	94.61	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	0.17	0.757	1.489	0.181	現成石	
282			2413970	54804420	94.62	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	0.45	1.023	1.757	0.295	現成石	
283			2413990	54804610	94.61	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	0.45	1.495	0.892	0.356	現成石	
284			2414140	54804760	94.62	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	0.55	1.544	1.342	0.354	現成石	
285			2414040	54804840	94.61	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	0.59	1.43	0.83	0.61		
286			2413610	54804880	94.61	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	0.60	1.29	0.84	0.7		
287	28	69	2412760	54804750	94.67	21	Ⅲ	Ⅰ	106.87	6.118	4.823	3.766	現成石	243と接合
288			2412590	54804430	94.62	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	380.80	7.92	5.31	4.54		
289			2412870	54804000	94.82	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	0.35	1.771	1.145	0.205	現成石	
290	31	86	2413230	54803220	94.6	19	Ⅲ	Ⅰ	35.30	6.067	4.229	1.472	現成石	
291			2413030	54803550	94.65	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	0.52	1.376	1.227	0.325	現成石	
292			2412820	54803450	94.67	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	15.29	4.465	3.561	1.335	現成石	
293			2412520	54803130	94.63	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	0.64	2.862	1.27	0.27	現成石	
294			2412730	54802390	94.66	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	8.10	3.78	1.72	1.09		
295	33	92	2412830	54802080	94.7	11	Ⅲ	Ⅰ	1.36	1.807	1.65	0.775	現成石	
296			2412250	54802290	94.69	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	4.11					
297			2412170	54802440	94.65	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	15.47	4.952	3.259	1.566	現成石	
298			2412220	54802940	94.57	18	Ⅲ	Ⅰ	10.76	4.099	4.344	0.731	現成石	接合 A
299			2412140	54802970	94.64	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	1.02	1.672	1.566	0.485	現成石	
300	27	55	2412030	54802990	94.66	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	1.89	3.636	1.059	0.468	現成石	
301			2412040	54803590	94.62	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	0.39	1.568	0.969	0.407	現成石	
302			2411770	54803690	94.54	14	Ⅲ	Ⅰ	4.47	2.13	3.021	0.988	現成石	212と接合
303			2411770	54803660	94.56	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	8.00	3.5	2.2	1.12		
304	34	98	2411880	54803460	94.59	11	Ⅲ	Ⅰ	20.97	4.863	4.418	1.183	現成石	
305			2411890	54803210	94.57	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	25.64	5.029	3.28	1.026	現成石	
306			2411860	54803070	94.55	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	5.60	3.51	1.2	0.9		
307			2411950	54802460	94.66	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	1.00	1.62	1.36	0.66		
308			2411720	54801210	94.69	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	0.70	1.53	0.99	0.36	チャート	
309	27	56	2411490	54801200	94.89	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	2.21	3.598	1.158	0.532	チャート	
310			2418960	54808790	94.62	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	13.14	2.82	2.869	1.38	現成石	
311			2410880	54808080	94.69	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	15.00	8.32	5.77	2.91		
312	29	74	2411650	54802220	94.69	22	Ⅲ	Ⅰ	2.65	3.333	1.735	0.485	現成石	367接合
313			2411110	54801990	94.68	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	6.10	3.41	2.61	0.83		
314	34	96	2411750	54802690	94.65	11	Ⅲ	Ⅰ	64.29	6.792	6.307	1.502	現成石	
315	34	95	2411640	54802660	94.58	11	Ⅲ	Ⅰ	261.83	5.446	11.382	3.509	現成石	
316			2411370	54802660	94.66	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ					0.47	
317			2411240	54802540	94.62	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	70.50	5.46	4.4	3.24		
318			2411030	54802490	94.6	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	1.49	1.99	2.47	0.433	現成石	
319			2410900	54802330	94.67	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	11.17	4.565	2.906	0.815	現成石	
320			2410840	54802200	94.63	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	5.36	3.913	2.113	0.569	現成石	
321			2411600	54802900	94.69	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ						
322	33	91	2411650	54803050	94.53	11	Ⅲ	Ⅰ	16.75	4.241	4.223	1.118	現成石	
323	27	58	2411460	54802940	94.62	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	1.86	3.289	1.195	0.489	現成石	
324	34	97	2411470	54803030	94.55	11	Ⅲ	Ⅰ	6.71	2.186	3.418	1.186	現成石	

建物番号	棟号	X 軸	Y 軸	標高	躯体	出仕	部 種	重量 kg	長 mm	幅 mm	厚 mm	石 材	備 考
325		241080	54803270	94.67	現 産		現 産	40.00	4.66	3.65	2.12		
326		241130	54803370	94.66	現 産		現 産	60.3 (5)	6.96	4.9	2.4		
327		241080	54803390	94.63	現 産		現 産	1.01	1.511	2.13	0.413	現 産	
328	33	93	2410840	54803380	94.67	11	現 産	1.99	2.378	1.986	0.415	現 産	
329		2410870	54803490	94.61	現 産		現 産	331.40	10.5	6.24	3.37	現 産	
330		2410810	54803500	94.69	現 産		現 産	28.90	4.38	3.48	2.1		
331		2410780	54803480	94.69	現 産		現 産	8.90	4.5	2.66	0.63		
332		2410700	54803400	94.7	現 産		現 産	135.80	5.91	5.84	3.4		
333		2410780	54803620	94.65	現 産		現 産	59.90	5.69	5.28	1.68		
334		2411110	54803500	94.63	現 産		現 産	23.68	6.545	3.7	1.415	現 産	
335		2411010	54803820	94.59	現 産		現 産	40.50	5.39	3.64	1.59		
336		2410900	54803960	94.62	現 産		現 産	54.80	5.32	3.08	2.47		
337	37	109	2410870	54803670	94.48	現 産	縦長現 産	63.40	8.42	4.381	2.14	現 産	
338		2410750	54803880	94.66	現 産		現 産	82.40	7.33	4.36	2.5		
339		2410450	54803640	94.65	現 産		現 産	2.00	2.57	1.33	0.73		
340		2410280	54803420	94.66	現 産		現 産	9.28	3.177	2.003	1.022	現 産	
341		2410280	54803280	94.66	現 産		現 産	1.01	1.797	1.713	0.355	現 産	
342		2410150	54803260	94.73	12	現 産	現 産	10.66	4.27	2.794	0.749	現 産	63・194と接合
343		2409500	54802580	94.67	現 産		現 産	2.02	2.913	1.844	0.368	現 産	
344		2409580	54801930	94.64	現 産		現 産	123.00	6.99	3.65	3.1		
345	27	57	2408010	54800190	94.67	現 産	ナイフ型石部	1.97	3.095	1.216	0.548	チャート	
346		2407960	54800240	94.68	現 産		現 産	5.74	4.67	1.92	0.59		
347		2407860	54800350	94.74	現 産		現 産	3.81	3.811	2.254	0.734	現 産	
348		2408390	54801550	94.73	現 産		現 産	10.85	4.88	3.255	0.923	現 産	
349		2408230	54801550	94.66	現 産		現 産	37.90	6.89	2.75	1.57		
350		2408250	54801400	94.67	現 産		現 産	2.30	2.1	1.24	0.72		
351		2408410	54803260	94.72	現 産		現 産	13.50	3.81	2.72	1.7		
352		2408880	54803580	94.7	現 産		現 産	0.30	1.4	0.64	0.052		
353		2409000	54803600	94.70	現 産		現 産	21.92	3.286	4.666	1.334	現 産	
354		2409290	54803380	94.75	現 産		現 産	0.10	0.83	0.82	0.59		
355		2409220	54803040	94.59	現 産		現 産	0.50	1.26	0.94	0.68		
356		2409570	54803770	94.69	現 産		現 産	60.59	6.275	5.007	1.504	現 産	
357		2409730	54803620	94.67	現 産		現 産	0.40	1.03	0.81	0.48		
358		2409730	54803740	94.67	現 産		現 産	0.44	0.949	1.8	0.249	現 産	
359		2409840	54803730	94.64	現 産		現 産	0.10	0.98	0.91	0.39		
360		2409930	54803700	94.58	現 産		現 産	12.29	2.936	4.73	1.265	現 産	
361		2410400	54804020	94.7	現 産		現 産	6.30	4	2.59	0.64		
362		2410300	54804180	94.64	現 産		現 産	2.10	2.51	1.59	0.62		
363		2410280	54804390	94.69	現 産		現 産	1.43	1.757	2.444	0.334	現 産	
364		2410200	54804560	94.61	現 産		現 産						
365		2410050	54804000	94.69	現 産		現 産	42.60	6.65	5.31	1.12		
366		2410070	54804070	94.65	現 産		ナイフ型石部	3.39	3.331	2.23	0.405	現 産	縦割
367	29	77	2409670	54804070	94.73	22	現 産	0.71	2.045	1.611	0.467	現 産	312組合
368		2409290	54804050	94.71	現 産		現 産	0.90	2.7	1.36	0.43		
369		2409210	54804130	94.7	現 産		現 産	0.80	2	0.85	0.67		
370	36	104	2408870	54804070	94.65	23	現 産	155.46	4.97	6.483	3.722	現 産	
371		2408280	54804290	94.62	現 産		現 産	40.00	9.24	7.34	5		
372		2408150	54804630	94.75	現 産		現 産	0.30	1.36	0.87	0.41		
373		2410870	54804760	94.69	現 産		現 産	1.60	1.64	1.25	0.59		
374		2410450	54804950	94.63	現 産		現 産	8.28	3.807	3.193	0.916	現 産	
375		2409720	54806920	94.7	現 産		現 産	1.30	1.97	1.5	0.51		
376		2408080	54806560	94.72	現 産		現 産	0.60	1.25	1.2	0.53		
377		2409130	54803590	94.6	13	現 産	現 産	6.53	4.655	2.023	0.645	現 産	49と接合
378		2407830	54803160	94.67	現 産		現 産	3.00	9.38	6.87	4.33		
379		2407760	54802420	94.66	現 産		現 産	8.00	11	9.6	4.98		
380	28	63	2410880	54800960	94.59	現 産	使用版石方	11.11	7.251	2・938	0.615	現 産	
381		2411400	54802530	94.62	11	現 産	現 産	111.36	6.771	6.807	2.555	現 産	
382		2413270	54802800	94.56	現 産		現 産	15.00	6.86	4.54	4.39		
383		2413640	54803710	94.68	現 産		現 産	0.14	1.239	0.912	0.123	現 産	
384		2413660	54803680	94.71	現 産		現 産	0.10	0.93	0.54	0.14		
385		2413750	54804080	94.66	現 産		現 産	9.59	3.702	3.706	0.736	現 産	
386		2413920	54804110	94.8	現 産		現 産	1.46	1.602	2.241	0.459	現 産	
387	30	83	2414180	54803980	94.69	19	現 産	5.96	2.479	2.607	1.261	現 産	接合 A
388		2415440	54803240	94.62	現 産		現 産	0.29	1.258	1.813	0.148	現 産	
3号棟群	29	65	2415870	54802210	93.69	18	現 産	14.5	5.725	5.341	4.208	現 産	接合 A
煙丸							煙丸 石方	25.36	0.999	3.853	1.105	現 産	

検 合 意	No.316 + No.332	検 合 意	No.325 + No.317
	No.198 + No.306 + No.99		No.170 + No.245
	R1No.3 + R1No.10 + R1No.11		R2No.8 + No.83 + No.77
	R1No.14 + No.31		R3No.12 + R3No.8 + R3No.11
	R2No.3 + R2No.7 + No.196		No.33 + No.206 + No.331 + No.262
	No.97 + No.97 + No.364		No.333 + No.339
R3No.10 + R3No.13	R3No.3 + R3No.27		
R3No.6 + R3No.25	No.276 + No.290		

※「凡」のついてる番号は検群 No. と検番号、それ以外は、通常の遺物番号

検 合 意 (右記)	No.261 + No.277 + No.294 + No.273 + No.174 + No.290 + No.131 + No.133a + No.133b + No.159 + No.274 + No.168 + No.387
	No.295 + No.304 + No.314 + No.315 + No.322 + No.324 + No.328 + No.381
	No.127 + No.155
	No.267 + No.243

表4 原田第1遺跡 1区1号検群 (R1) 遺物観察表

遺物番号	X軸	Y軸	レベル	出土層	重量 g	長 cm	幅 cm	厚 cm	備 考
1	2392270	54804940	94.89	VI	1270	13.4	11.55	7.66	
2	2392610	54804980	94.9	VI	3.6	3.61	2.58	0.61	
3	2392850	54805030	94.94	VI	13.9	3.99	3.51	0.99	
4	2392920	54805030	94.95	VI	19.5	6.12	5.8	1.5	
5	2392870	54804830	94.9	VI	43	6.39	5.65	1.51	
6	2393030	54804890	94.9	VI	10.9	14.6	8.41	5.56	
7	2393120	54804560	94.92	VI	18.5	5.6	4.35	1.7	
8	2393470	54804230	94.88	VI	295.2				
9	2394220	54804350	94.89	VI	11.1	7.5	6.1	2.44	
10	2393850	54804760	94.91	VI	208.4	6.5	7.4	2.21	
11	2393600	54804800	94.93	VI	13.8	4.38	2.33	0.73	
12	2393660	54804880		VI	6.4	3.75	1.99	1.31	
13	2393720	54805040	94.94	VI	15.2	3.2	2.18	2.1	銀石か
14	2393620	54805040	94.96	VI	51.8	7.98	5.46	1.72	
15	2393620	54805080	94.91	VI	36.8	9.2	5.5	4.52	
16	2393530	54805100	94.96	VI	216.2	2.69	2.29	1.1	
17	2393490	54805040	94.86	VI	241.5				
18	2393510	54805260	94.87	VI	285.1				
19	2393300	54805340	95	VI	21.9	3.4	3.11	2.41	
20	2393240	54805240	94.87	VI	168.8				
21	2392940	54805480	94.89	VI	16.9	6.6	3.41	1.29	
22	2392780	54805900	94.86	VI	1195				
検 合 意	No.3 + No.11 + No.10、No.14 + 附No.31								

表5 原田第1遺跡 1区2号検群 (R2) 遺物観察表

遺物番号	X軸	Y軸	レベル	出土層	重量 g	長 cm	幅 cm	厚 cm	備 考
1	2392920	54801350	94.8	8	900	19.3	6.12	0.14	
2	2392850	54801410	94.84	8	1000	13.45	8.91	4.46	
3	2392780	54801480	94.86	8	165	10.9	7.53	2.34	銀石
4	2392920	54801480	94.84	8	0.75	10.26	6.59	6.54	
5	2392490	54801730	94.84	8	1015	14.2	6.43	3.2	
6	2392580	54801810	94.84	8	1001	14.6	8.41	5.56	
7	2392520	54801950	94.89	8	94.85	13.93	9.6	2.6	

表6 原田第1遺跡 2区1号検群 (R1) 遺物観察表

遺物番号	X軸	Y軸	レベル	出土層	重量 g	長 cm	幅 cm	厚 cm	備 考
1	2408490	54805770	94.7	VI	5.68	5000	10.6	5.76	
2	2408830	54806270	94.7	VI	304.5	3000	8.37	5.48	
3	2409000	54805610	94.68	VII	212.3	2000	7.99	5.8	

遺物番号	X軸	Y軸	レヴェル	出土層	重量 g	長 cm	幅 cm	厚 cm	備 考
4	2409120	54805800	94.67	Ⅷ	139.8	1000	7.22	4.37	
5	2409430	54806700	94.7	Ⅷ		4000	8.6	7.35	
6	2409400	54806010	94.76	Ⅷ	321.1	3000	13.49	13.5	
7	2409350	54805950	94.68	Ⅷ	20.3				
8	2409290	54805560	94.68	Ⅷ	217.7	2000	7.79	5.76	
9	2409490	54805900	94.69	Ⅷ	15.7	2000	7.71	7.55	
10	2409440	54805480	94.72	Ⅷ	209.8	1570	3.15	3.15	
11	2409510	54805630	94.73	Ⅷ	5.9	2000	6.37	4.92	
12	2409430	54805080	94.64	Ⅷ	6.3	4250	18.6	15.36	
13	2409860	54806690	94.63	Ⅷ		0.15	5.98	5.42	
14	2409590	54804650	94.64	Ⅷ	148.4	900	14.35	9.28	
15	2410000	54806180	94.73	Ⅷ		0.35	8.8	5.71	
16	2410000	54805770	94.65	Ⅷ		7.26	6.495	4.652	

表7 原田第1遺跡 2区2号礫群(R2) 遺物観察表

遺物番号	X軸	Y軸	レヴェル	出土層	重量 g	長 cm	幅 cm	厚 cm	備 考
1	2408260	54801880	94.68	Ⅷ	96.4	12.55	6.48	3.17	
2	2408250	54802090	94.65	Ⅷ	170.9	8.63	5.17	4.36	
3	2408370	54802150	94.66	Ⅷ	386.9	11.18	6.34	3.2	
4	2408470	54802410	94.7	Ⅷ	116.8	5.5	4.23	4.9	
5	2408400	54801990	94.67	Ⅷ	122.2	6.37	5.41	2.82	
6	2408500	54802000	94.67	Ⅷ	319.6				
7	2408610	54802350	94.69	Ⅷ	10.8	8.13	3.58	3.34	
8	2408600	54801900	94.65	Ⅷ	5000	13	8.1	3.52	
9	2408720	54802120	94.65	Ⅷ	2500	8.86	5.08	2.44	磁石

表8 原田第1遺跡 2区3号礫群(R3) 遺物観察表

遺物番号	X軸	Y軸	レヴェル	出土層	重量 g	長 cm	幅 cm	厚 cm	備 考
1	2413430	54802790	94.68	Ⅷ	4000	7.5	7.25	5.79	
2	2413450	54802700	94.67	Ⅷ	0.35	11.37	6.73	3.95	
3	2413680	54803350	94.70	Ⅷ	2000	5.26	4.38	4.3	
4	2413800	54803200	94.64	Ⅷ	3500	9.76	9.17	4.82	
5	2413860	54803400	94.66	Ⅷ	0.3	8.7	7.1	2.94	
6	2415510	54804900	94.65	Ⅷ	0.5	13.63	8.21	2.77	
7	2414500	54802110	94.78	Ⅷ	200	7.12	7.2	2.54	
8	2414880	54803080	94.69	Ⅷ	0.5	11.86	7.12	3.4	
9	2414900	54803060	94.63	Ⅷ	3000	10.28	4.73	4.38	
10	2414950	54803230	94.70	Ⅷ	1000	5.26	4.38	4.3	
11	2414950	54803130	94.69	Ⅷ	21.1	10.5	6.99	1.33	
12	2415000	54803070	94.69	Ⅷ	1000	5.97	4.65	5.43	
13	2415070	54802190	94.68	Ⅷ	2000	5.59	3.59	4.28	
14	2415150	54802140	64.00	Ⅷ	106.9	5.3	5.58	4.38	
15	2415220	54803140	94.66	Ⅷ	9000	15.5	4.38	4.12	
16	2415160	54802550	94.66	Ⅷ	3500	9.14	4.19	3.1	
17	2415220	54802980	94.66	Ⅷ	5500	9.43	8.64	5.59	
18	2415200	54803130	94.64	Ⅷ	3000	9.97	5.31	3.55	
19	2415220	54802960	94.64	Ⅷ	3000	9.76	4.93	4.57	
20	2415200	54804070	94.63	Ⅷ	5000	9.15	7.2	5.47	
21	2415750	54804420	94.64	Ⅷ	1500	7.11	5.46	2.55	
22	2415240	54802500	94.69	Ⅷ	5000	8.92	6.28	5.9	
23	2415420	54802380	94.68	Ⅷ	9000	10.46	4.6	4.14	
24	2415480	54802940	94.7	Ⅷ	2000	8.17	6.96	2.32	
25	2415000	54803120	94.68	Ⅷ	1000	16	4.14	4.8	
26	2415340	54802490	94.67	Ⅷ	7000	16.1	7.81	4.1	
27	2415450	54802780	94.67	Ⅷ	1000	8.55	8.1	3.21	
28	2415590	54802780	94.64	Ⅷ					
29	2415870	54802210	93.69	Ⅷ	14.5	17.5	10.98	6.53	石橋 第28965

写真図版



1区 調査区西壁土壌サンプル採取状況（東から）



1区 V・VI層出土状況（南西から）



1区 VI層出土状況 (南西から)



1区 R1出土状況 (南から)



1区 R1出土状況近景 (南から)



1区 R1出土状況近景 (南から)



1区 VII層出土状況近景 (南東から)



1区 VII層出土状況近景 (南東から)



1区 VII層出土状況 (南東から)



1区 R2出土状況 (北から)



2区 調査区南壁土層断面 (深堀り部分) (北から)



2区 VII層出土状況 (北東から)



2区 VIII層出土状況（北東から）



2区 VIII層出土状況（北東から）



2区 R1出土状況（南から）



2区 R2出土状況（南から）



2区 R3出土状況（北から）



2区 R3出土状況近景（北から）



2区 調査区東壁土層断面（西から）



2区 調査区南壁土層断面（北から）



第10図-1 (表・裏)



第10図-2 (表・裏)



第10図-3 (表)



第10図-3 (裏)



第10図-4



第10図-5



第10図-6



第10図-7



第10図-8



第11図-9



第10図-10



第10図-11 (表・裏)



第14図-12 (表・裏)



第14図-13 (表)



第14図-13 (裏)



第14図-14



第15図-15



第19図-30 (表)



第19図-30 (裏)



第20図-41



第20図-42



第21図-43



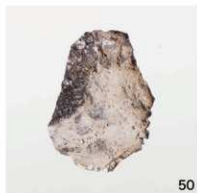
第21図-44 (表・裏)



45 (左)



45 (右)



50



51



48・52

第22図



第27図-53 (表・裏)



第27図-54 (表・裏)



第27図-55 (表・裏)



第27図-56 (表・裏)



第27図-57 (表・裏)



第27図-58 (表・裏)



第27図-59 (表・裏)



第27図-61

第27図-62



第28図-63 (表・裏)



第28図-64 (表・裏)



第28図-66



第28図-67 (表・裏)



第28図-69



第29図-70 (表・裏)



第29図-73 (表・裏)



第29図-74 (表・裏)



第29図-76 (表・裏)



第29図-77 (表・裏)



78



81



82



84



85



86



87



88

第30・31図



第32図-99 (表)



第32図-99 (裏)



第36図-104 (表・裏)



第37図-106 (表・裏)



第37図-107 (表・裏)



第37図-108 (表・裏)



第38図-111 備前焼小型壺



第38図-112 人形代(表)



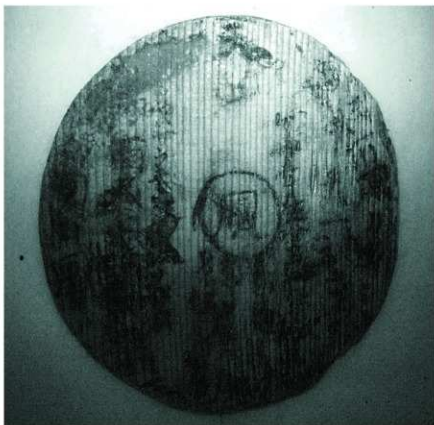
第38図-112 人形代(裏)



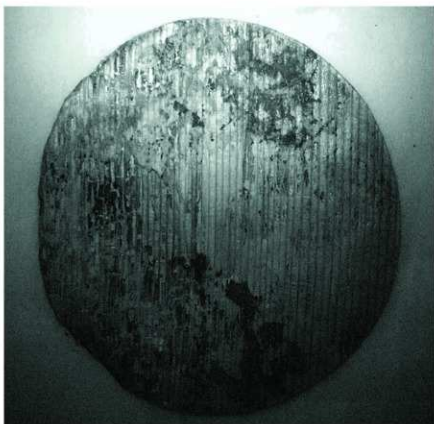
第39図-113 (表)



第39図-113 (裏)



第39図-114 (表)



第39図-114 (裏)

報 告 書 抄 録

ふりがな	はらだいいちいせき
書名	原田第1遺跡
副書名	一般県道三重新殿線(牟礼前田工区)道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	大分県立埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第3集
編著者名	綿貫俊一
編集機関	大分県立埋蔵文化財センター
所在地	〒870-0152 大分市牧緑町1番61号 TEL. 097-552-0077
発行年月日	西暦2018年3月30日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯 °' "	東経 °' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
原田第1遺跡	豊後大野市大字 前田字 長田 板屋 妙光寺	44212	212617	33°1'13"	131°35'9"	2014.9.3 ～ 2014.10.2	181.5㎡	一般県道三重新殿線(牟礼前田工区)道路改良事業に伴う

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
原田第1遺跡	包含層	旧石器	礫群	ナイフ形石器 石刃 石核 角錐状石器	

要約	A T降下直前もしくは直後の文化層が確認された。
----	--------------------------

原田第1遺跡

一般県道三重新殿線(牟礼前田工区)道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
大分県立埋蔵文化財センター調査報告書 第3集

平成30年3月30日

編集・発行 大分県立埋蔵文化財センター
〒870-0152 大分市牧録町1-61
TEL 097 (552) 0077

印刷 いづみ印刷株式会社
〒870-1117 大分市高江西1丁目4323番25
TEL 097-535-8655
